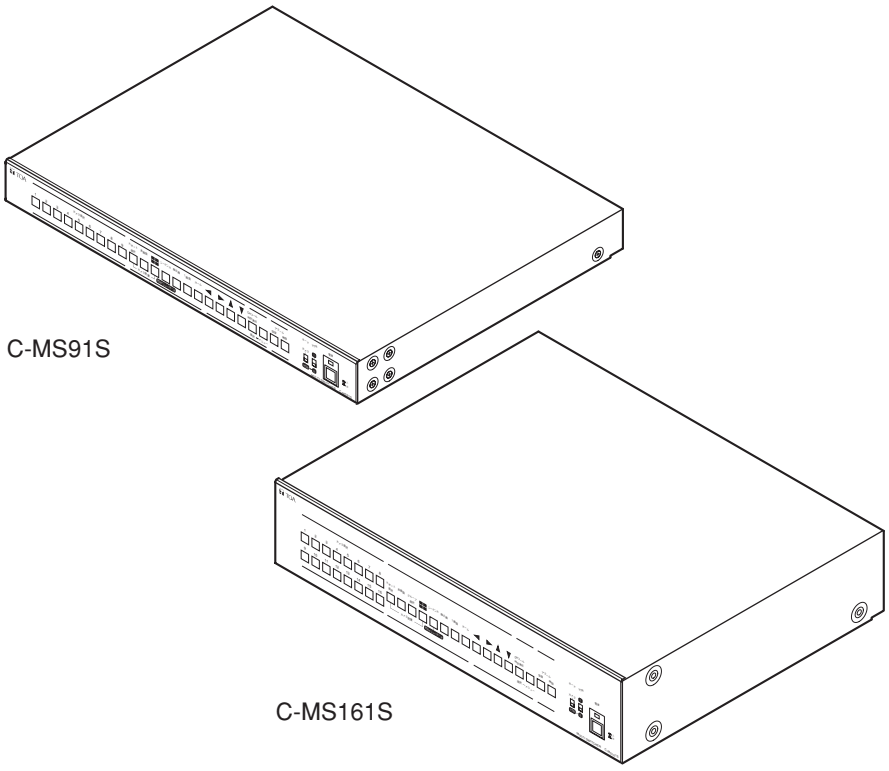
TOA

取扱説明書

マルチスイッチャー

C-MS91S
C-MS161S



C-MS91S

C-MS161S

本機にはマルチスイッチャー機能とマルチチャンネルビューアー機能がありますので、いずれかの機能（タイプ）を選択してご使用ください。
本機の電源を最初に投入したときに、まず機器タイプを設定してください。
機能および設定方法の詳細はP. 10「機器タイプの設定」をお読みください。

このたびは、TOA マルチスイッチャーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

目　次

安全上のご注意 …… 6

この機器の概要

概　要 …… 8
特　長 …… 8
使用上のご注意 …… 9
機器タイプの設定
　最初に使用するとき …… 10
　機器タイプを変更するとき …… 11
各部の名称とはたらき
　前　面 スイッチャー機能時 …… 12
　前　面 ビューアー機能時 …… 14
　後　面 …… 16
画面への文字表示
　カメラ映像の出力画面への表示
　　カメラタイトル表示 …… 18
　　その他の文字表示 …… 19
　VTR録画映像への表示 スイッチャー機能時のみ …… 20

設定のしかた

設定する前に
　設定前の準備 …… 21
　設定に使用するキー …… 21
設定項目の一覧と設定の手順
　　設定項目の一覧 スイッチャー機能時 …… 22
　　設定の基本手順 …… 22
　　設定の項目の一覧 ビューアー機能時 …… 24
メニューを選択する
　メニュー初期画面 …… 25
ユーザーメニュー画面で設定する
　ユーザーメニュー …… 25
　時刻設定 …… 25
　文字表示（モニター） …… 26
　アラーム情報 …… 26
　録画／動きパターン選択 スイッチャー機能時のみ …… 27
トータルメニュー画面で設定する
　トータルメニュー …… 28
　時刻設定 …… 28
　タイトル設定
　　タイトル設定カメラ選択画面 …… 29
　　タイトル設定画面 …… 29
　　漢字コード表 …… 32
　録画／アラーム設定 スイッチャー機能時のみ …… 33

録画設定 スイッチャー機能時のみ …… 33
アラーム設定 …… 34
アラーム入力端子設定 …… 35
オプション1設定 …… 36
オプション2設定 …… 37
ブザー／文字表示設定 …… 38
その他の設定 …… 39
リモート設定 …… 40
シーケンススキップ設定 …… 41
モニター出力シーケンススキップ設定 …… 41
スポット出力シーケンススキップ設定 …… 41
アラーム情報 …… 42
録画パターン設定 スイッチャー機能時のみ
録画パターン設定画面 …… 42
各録画パターン設定画面 …… 43
動き検出パターン設定 スイッチャー機能時のみ
動き検出パターン設定画面 …… 43
動き検出パターンカメラ設定画面 …… 43
動き検出パターン（各カメラ）設定画面 …… 44
エリア設定／テスト画面 …… 45
表示言語を変える …… 46
設定内容を初期化する …… 46
多画面表示時のカメラ配置を変える ビューアー機能時のみ …… 47
VTRの設定のしかた
VTRのメニュー画面を表示する …… 49
VTRの表示文字を設定する …… 49
VTRのアラームを設定する …… 49
VTR停止中のアラーム録画設定をする …… 49
その他 …… 49

操作のしかた

基本的な操作モード
操作に使用するキー …… 50
カメラモードとVTRモード
カメラ／VTRモードの切り換え …… 50
画面表示切り換えの操作方法 …… 50
マルチスイッチャーの基本操作
カメラの映像を監視する …… 51
VTRで録画する …… 51
録画映像を再生する …… 51
画面表示の切り換え
1画面表示で映像を見る スイッチャー機能時
1画面表示 …… 52
シーケンス表示 …… 52
1画面表示で映像を見る ビューアー機能時
1画面表示 …… 53
シーケンス表示（1画面表示のとき） …… 53
4分割表示で映像を見る
4分割表示 …… 54

4分割表示のシーケンス表示（多画面表示のとき）［ビューアー機能時のみ］ …… 55
多画面表示で映像を見る …… 56
ズーム表示（電子ズーム）でカメラを見る …… 57
1画面表示またはズーム表示で静止画表示をする …… 58
多画面表示で静止画表示をする …… 58
スポット出力の操作
スポット出力の表示画面 …… 59
スポット出力の切り換え …… 60
カメラ番号、日付／時刻を表示する …… 61

機能説明

アラーム機能
センサーアラーム
操作に使用するキー …… 62
センサーアラーム機能 …… 62
センサーアラームの起動 …… 63
センサーアラーム状態になると …… 63
センサーアラームを解除するには …… 63
センサーアラーム時間 …… 64
アラーム保留 …… 64
複数のアラーム入力があった場合 …… 65
動き検出アラーム［スイッチャー機能時のみ］
動き検出機能の設定 …… 66
動き検出アラームを解除するには …… 66
動き検出アラーム時間 …… 66
アラーム動作時間 …… 67
VTR再生アラーム［スイッチャー機能時のみ］
VTR再生アラームになると …… 68
VTR再生アラームの解除 …… 68
ビデオロストアラーム
ビデオロストアラームが起動すると …… 68
ビデオロストアラームを解除するには …… 68
アラーム情報
記憶した日付、時刻、カメラ番号を表示するには …… 69
アラーム情報画面の例 …… 69
アラーム入出力端子 …… 70

リモート機能
リモート機能について …… 71
専用リモートコントローラーを使うとき …… 71
リモート入出力端子
リモート出力端子 …… 75
リモート入力端子 …… 76
録画パターン選択入力端子［スイッチャー機能時のみ］ …… 77
動き検出パターン選択入力端子［スイッチャー機能時のみ］ …… 77
シーケンス切換入出力端子 …… 77

動き検出機能［スイッチャー機能時のみ］
動き検出機能について …… 78
動き検出の基本動作
検出機能と設定・動作 …… 78
動き検出後の動作 …… 80

動き検出パターン機能 …… 81
その他の機能
2台のVTRを使うとき（連続録画機能） …… 81
録画パターン機能 スイッチャー機能時のみ …… 82
タイムラプス録画時の自動認識 スイッチャー機能時のみ …… 82
シーケンス切り換えタイミングをそろえる …… 83
モニターテレビへの表示調節 …… 83
キーロック機能 …… 84
電源投入時の画面表示 …… 84

接続のしかた

接続のしかた
接続の準備 …… 85
カメラとの接続
カメラがワンケーブルカメラの場合 …… 85
カメラがAC24 VまたはAC100 Vカメラの場合 …… 85
モニターテレビとの接続 …… 85
VTRとの接続 …… 85
リモコン専用端子の接続
接続ケーブル …… 86
接続機器の終端スイッチの設定 …… 86
RS-232C端子の接続 …… 86
接続例
基本的な接続
C-MS161Sのとき …… 87
C-MS91Sのとき …… 88
VTRを2台使うときの接続
C-MS161Sのとき …… 89
C-MS91Sのとき …… 90
リモコン専用線を使ったときの接続
C-RM100との接続 …… 91
C-RM500との接続 …… 92

補　足

タイムラプスビデオの記録間隔 …… 93
ラックマウントのしかた …… 94

困ったときに

故障かな？と思ったら …… 95
仕　様 …… 98
付属品 …… 99
別売品 …… 99

付　録

漢字タイトル作成例 …… 100
保証書 …… 102

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
分解禁止	禁　止	接触禁止	強　制	電源プラグを抜け

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁　止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 画面が映らないとき

電源プラグを抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

内部に異物を入れない

本機の内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグや同軸ケーブルにはさわらないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

禁　止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

使用するとき

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

定期的に内部の掃除をする

内部の掃除については、販売店にご相談ください。
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。

強　制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。

強　制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

概　要

本機は、最大16台（C-MS161S）または最大9台（C-MS91S）のカメラを接続し、カメラ映像の監視およびVTRへの録画、再生を行う機器です。

「マルチスイッチャー機能」では、選択されたカメラ映像を1画面表示、または接続されたカメラの映像を1画面のシーケンス表示でモニターテレビに表示します。モニターテレビにカメラの映像を表示している間、接続されているすべてのカメラの映像を1台のVTRに順次録画（フレーム録画）します。録画されたテープを再生するときには、選択したカメラの映像あるいは多画面（16、9、4分割）表示により複数のカメラの映像を表示することができます。また、動き検出機能により、映像に変化のあったカメラ映像を優先的に録画したり、アラームとしてVTRなどの外部機器との連携ができ、効率の良い監視を行えます。

「マルチチャンネルビューアー機能」では、選択したカメラ映像の1画面表示、または接続されたカメラ映像のシーケンス表示に加え、多画面（16、10、9、4分割）表示や2倍のズーム表示をすることができます。VTRへは、モニターテレビに表示されているカメラの映像がそのまま録画されます。したがって、録画したテープを再生するときには、カメラの選択や多画面表示から1画面表示への切り換えなどはできません。

特　長

● 2つの機能を選択して使用

本機には、マルチスイッチャー機能とマルチチャンネルビューアー機能があり、使用されるシステムに応じていずれかの機能を選択してご使用いただけます。
それぞれの機能の概要は、以下のとおりです。

	カメラ映像のモニターテレビへの表示	カメラ映像のVTRへの録画映像
マルチスイッチャー機能	1画面表示または1画面のシーケンス表示	接続されているすべてのカメラの映像（フレーム録画）
マルチチャンネルビューアー機能	1画面表示、1画面のシーケンス表示、4分割のシーケンス表示、または多画面（16、10、9、4分割）表示	モニターテレビに表示されているカメラの映像

● 高画質画面表示

分割表示をした場合に生じるちらつきを低減し、高画質のズーム表示も実現しています。

● 多彩な表示機能

マルチスイッチャー機能を使うときには、VTR再生時に16分割（C-MS161Sのみ）、9分割、4分割表示および2倍のズーム表示をすることができます。
マルチチャンネルビューアー機能を使うときには、カメラ映像の表示時に、16分割（C-MS161Sのみ）、10分割表示、9分割表示、4分割表示および2倍のズーム表示を行うことができます。

● もれのない録画が可能

2台のVTRを使って連続録画ができるように、VTRとの接続用端子を2系統設けました。テープ交換あるいはテープの巻き戻し時の録画もれを防ぐことができます。

● 動き検出機能

マルチスイッチャー機能を使うときには、動き検出機能により、映像に変化のあったカメラ映像を記録フレーム数を増やして優先的に録画したり、アラームとしてVTRなどの外部機器との連携ができ、効率の良い監視を行うことができます。

● キーロック

前面操作キーをロックして、誤操作を防止できます。

● タイムラプス記録の自動認識

マルチスイッチャー機能を使うときには、タイムラプスビデオでの記録時に、スイッチャーコントロール信号の断線や接触不良などが発生しても、タイムラプス録画を継続することができます。

● 多画面表示の配置変更が可能

マルチチャンネルビューアー機能を使うときには、カメラモードの多画面表示のカメラ表示位置を自由に変更できます。

● 多様なシステム構成が可能

専用リモートコントローラー（別売）と1局コントローラー（別売）を使って、コンビネーションカメラとマルチスイッチャーの統合システムを構成できます。専用リモートコントローラーを使えば、離れた場所から本機を操作することもできます。

● RS-232C インターフェース

コンピューターなどの外部装置から制御することができます。

使用上のご注意

- 温度が0～+40℃、湿度が90％以下の場所で使用してください。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。
- 本機の前後左右には、10 cm以上の空間を空けてください。
- 消耗品について
  次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換してください。なお寿命時間は、使用環境、使用条件によって変わります。消耗品の交換は、保証期間内であっても有料となります。電池を交換するときは、当社営業所にご相談ください。
  ・内蔵時計のリチウム電池：約10年間（室温25℃でご使用の場合）

機器タイプの設定

本機では、「マルチスイッチャー」と「マルチチャンネルビューアー」の2つの機器タイプ（機能）のいずれかを選択して使用します。そのために、まず本機の機器タイプを選択・設定する必要があります。

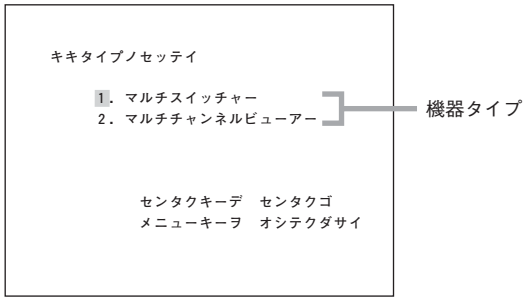
■ 最初に使用するとき

- 本機の電源を最初に投入したときに、以下の機器タイプの設定画面が表示されます。
- ご使用の前にシステムの機器タイプを設定してください。
- 機器タイプを一度設定すると、機器タイプの設定画面（下図）は表示されません。

[機器タイプ設定の操作]

1 **選択キーまたは上下シフトキー（▲▼）を使って、希望する機器タイプを点滅表示にする。**

2 **メニューキーを押す。**
機器タイプが設定されます。



[1. マルチスイッチャー]

選択されたカメラ映像を1画面表示、または接続されたカメラの映像を1画面のシーケンス表示でモニターテレビに表示します。モニターテレビにカメラの映像を表示している間、接続されているすべてのカメラの映像を1台のVTRに順次録画（フレーム録画）します。
録画されたテープを再生するときには、選択したカメラの映像あるいは多画面表示（16、9、4分割表示）により複数のカメラの映像を表示することができます。

[2. マルチチャンネルビューアー]

選択したカメラ映像の1画面表示、または接続されたカメラ映像のシーケンス表示に加え、多画面（16、10、9、4分割）表示や2倍のズーム表示をすることができます。VTRへは、モニターテレビに表示されているカメラの映像がそのまま録画されます。したがって、録画したテープを再生するときには、カメラの選択や多画面表示から1画面表示への切り換えなどはできません。

メ　モ

機器タイプにより、メニュー画面での設定項目や操作のしかたなどが異なります。

- 特に注記がないときは、機器タイプに関わらず同じ動作または操作をします。
- スイッチャー機能時 、ビューアー機能時 などの注記がある項目では、それぞれのタイプで動作や操作方法が異なります。
- スイッチャー機能時のみ 、ビューアー機能時のみ などの注記がある項目は、そのタイプでのみの機能です。

■ 機器タイプを変更するとき

一度機器タイプを設定した後、機器タイプを変更するときは次の操作をします。

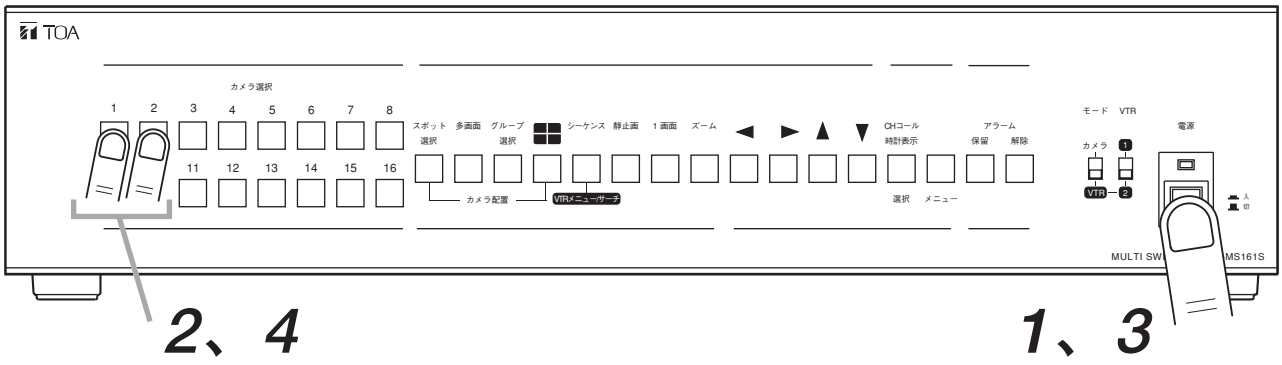
1 **一度電源を切っておく。**

2 **カメラ選択キー1とカメラ選択キー2を同時に押し続ける。**

3 **電源スイッチを押す。**

4 **機器タイプ設定画面がモニターテレビに表示されたら、手順2で押していたキーを離す。**

図は、C-MS161S です。



5 **画面で機器タイプの選択・設定をする。**（ ☞前ページの「機器タイプ設定の操作」）

6 **初期化をする。**（ ☞P. 46 の「設定内容を初期化する」）

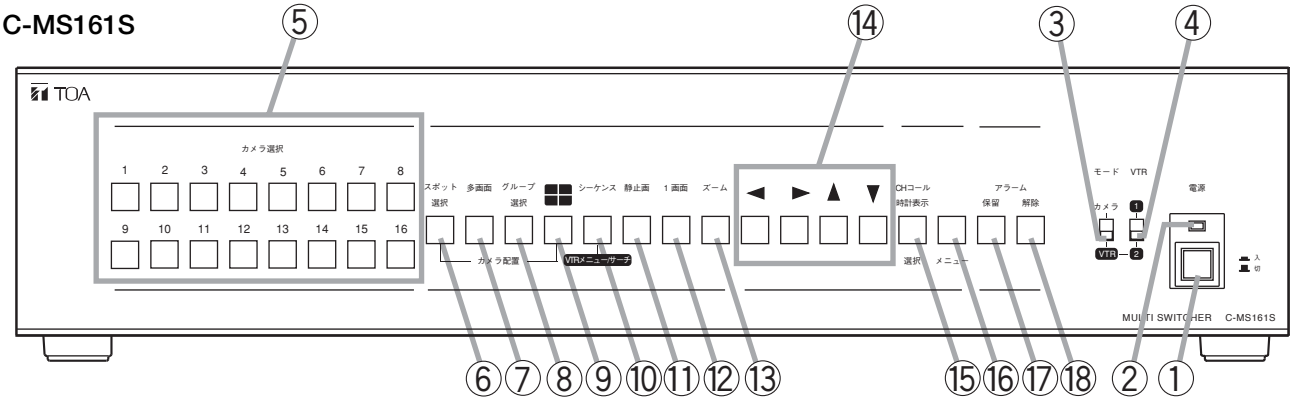
重　要

機器タイプを変更した後は必ず**手順6**の初期化を行い、再度メニュー画面での設定を行ってください。

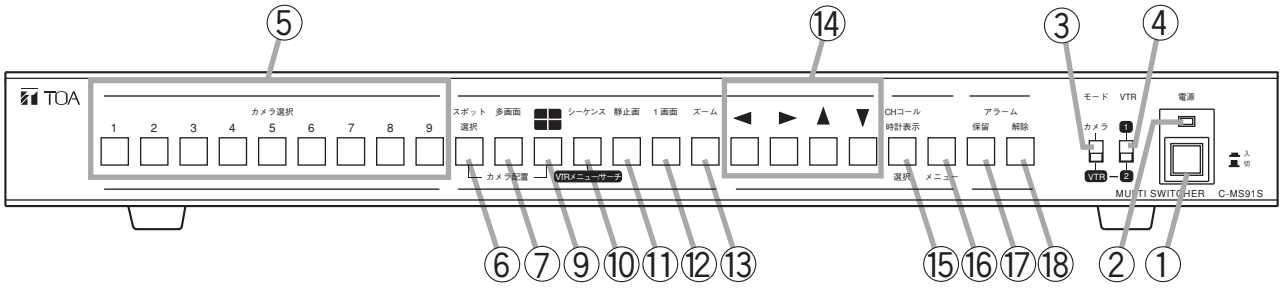
各部の名称とはたらき

［前面］ スイッチャー機能時

C-MS161S



C-MS91S



① 電源スイッチ

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

② 電源表示灯

電源スイッチが「入」のときに点灯します。

③ カメラ／VTR モード選択スイッチ

モニターテレビに表示する映像をカメラの映像（カメラモード）かVTRの再生映像（VTRモード）かを選択します。

- カメラモード
  接続されているカメラの映像をモニターテレビに表示します。
- VTRモード
  VTRの再生映像をモニターテレビに表示します。

④ VTR選択スイッチ（VTRモード時のみ有効）

VTRを再生するときに、後面パネルに接続されたVTR1またはVTR2を選択します。
録画するVTRは選択する必要はありません。どちらのVTRにも録画することができます。

ご注意

VTR1とVTR2を同時に録画することはできません。

⑤ カメラ選択キー

- 操作時
  モニターテレビに表示しているカメラのキーは点灯し、静止画表示あるいはアラーム入力があったカメラのキーは点滅します。
  また、センサーアラームまたは動き検出アラームが入力されたカメラの映像がモニターテレビに表示されていないときでも、カメラ選択キーは点滅します。
- 設定時
  数値設定の入力キーとなります。（C-MS161S：1～10、C-MS91S：1～9）
- 1画面表示カメラの選択
  モニターテレビに1画面表示をするカメラを選択します。選択されたカメラのキーが点灯します。
- 静止画カメラの選択
  多画面表示（16、10*、9、4分割表示）中に静止画キーを押し、静止画キーが点滅しているときに、静止画表示をするカメラの番号を選択します。
  * カメラモードのときのみ

⑥ スポット選択キー

メニュー設定で、モニター出力2をスポット出力として設定したときのみスポット選択キーが有効となります。（☞P. 39 その他の設定画面の「モニター出力2」）
モニター出力2（スポット出力）の映像を選択するときに使用します。
スポット選択キーを押すとキーが点滅しますので、カメラ選択キーあるいはシーケンスキーでモニター出力2（スポット出力）に出力する映像を選択します。
※ C-MS91Sでは設定時の数値「0」を入力するときに使用します。

⑦ 多画面表示キー（VTRモード時のみ有効）

VTRの再生映像をモニターテレビに多画面で映像を表示します。
多画面表示キーを押すごとに多画面表示モード（9、16分割表示）が切り換わります。
多画面表示（9、16分割表示）中は、キーが点灯します。

ご注意

C-MS91Sでは、16分割表示をすることはできません。

⑧ グループ選択キー
（VTR モード時のみ有効、C-MS161S のみ）

9 分割または 4 分割画面に表示するグループを切り換えます。
分割画面はそのままで、表示するカメラが切り換わります。

⑨ 4 分割表示キー［ ］（VTR モード時のみ有効）

モニターテレビに 4 分割で映像を表示します。
4 分割表示キーを押すごとに表示グループ（グループ 1 ～ 4、グループ 4 は C-MS161S のみ）が切り換わります。
4 分割表示中は、キーが点灯します。

⑩ シーケンスキー（カメラモード時）、
VTR メニュー／サーチキー（VTR モード時）

カメラ／VTR モード選択スイッチの設定により動作が異なります。
［カメラモード時］
接続されたカメラの映像を 1 画面表示で順次切り換えてモニターテレビに表示します。
切換時間はメニュー画面内で設定します。
（ ☞ P. 36 オプション 1 設定画面の「シーケンス切換時間」）

［VTR モード時］
VTR の再生映像を直接モニターテレビに表示します。
VTR の映像を早送り、巻き戻し再生するときや、VTR 本体のメニュー設定をするときに使います。

⑪ 静止画キー（VTR モード時のみ有効）

- VTR の再生映像を 1 画面表示、ズーム表示で見ているとき
  モニターテレビに表示されている画面を静止させます。
  もう一度静止画キーを押すと静止画が解除されます。
  静止画表示中は、キーが点滅します。
- VTR の再生映像を多画面表示（16、9、4 分割表示）で見ているとき
  多画面（16、9、4 分割表示）表示中に、一度静止画キーを押して（このときキーが点滅）、カメラ選択キーで静止させるカメラを選択します。もう一度静止画キーを押すと静止画が解除されます。

⑫ 1 画面表示キー

モニターテレビに 1 画面で映像を表示します。
ズーム表示を通常の 1 画面表示に切り換えるときに使用します。
1 画面表示中は、キーが点灯します。

⑬ ズーム表示キー（VTR モード時のみ有効）

VTR の再生映像をモニターテレビに 2 倍のズーム画面（電子ズーム）で映像を表示します。
ズームポジションの移動は左右上下シフトキー（◄►▲▼）で行います。
ズーム表示中は、キーが点灯します。

⑭ 左右上下シフトキー［◄►▲▼］

メニュー画面内のカーソル移動に使用します。
ズーム表示のときにはズームポジションの移動に使用します。

⑮ CH コール／時計表示確認キー（操作時）、
選択キー（設定時）

- 操作時
  モニターテレビにカメラ番号と日付・時刻を表示します（カメラ番号は、カメラモード時のみ）。
  一度キーを押すとカメラタイトル表示がカメラ番号表示に変わります。もう一度押すと画面の中央に日付・時刻が表示されます。
  カメラ番号と時刻表示は約 10 秒で自動的に元の表示に戻ります。
- 設定時
  メニュー画面内の設定項目の内容を選択するときに使用します。

⑯ メニューキー

1 秒以上押すとモニターテレビにメニュー初期画面が表示されます。（ ☞ P. 22「設定の基本手順」）

⑰ アラーム保留キー

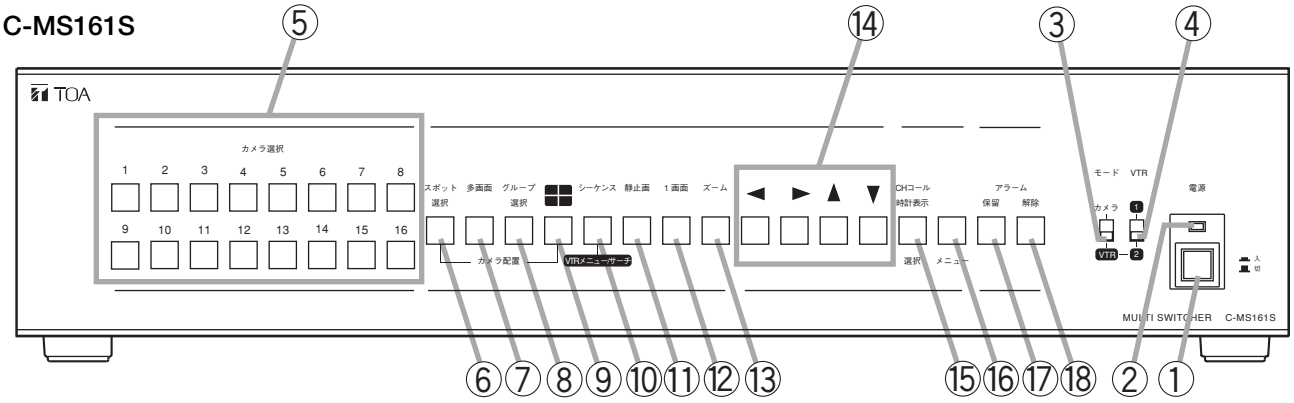
このキーを押すと、アラーム保留状態となり、キーが点灯します。もう一度押すと、アラーム保留状態を解除します。
アラーム保留状態では、センサーアラームまたは動き検出アラームが入ってもモニター画面の切り換えは行われませんが、VTR へはアラームが入ったカメラの映像が録画されます。（ ☞ P. 64「アラーム保留」）

⑱ アラーム解除キー

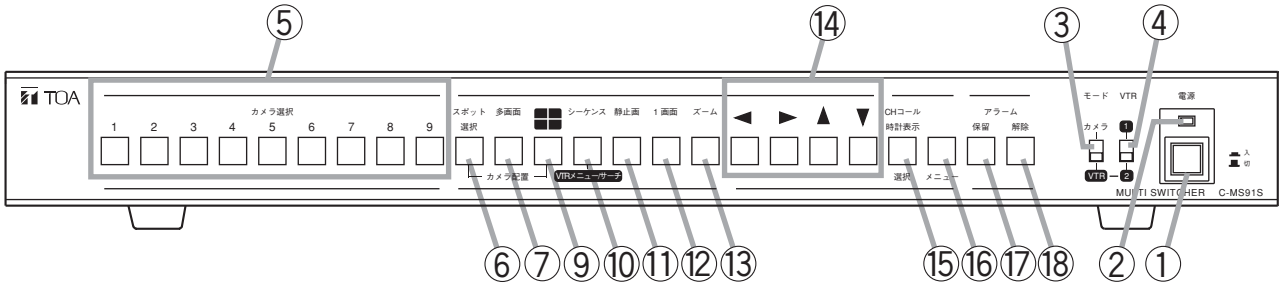
カメラ／VTR モード選択スイッチの設定により動作が異なります。
［カメラモード時］
センサーアラーム、動き検出アラーム、ビデオロストアラームが動作するとキーが点滅します。
メニュー画面内で設定したアラーム時間を過ぎるとキーは点滅から点灯に変わり、アラームが入ったことを知らせます。
アラーム動作時にこのキーを押すとアラームが解除されます。
（ ☞ P. 62「センサーアラーム」、
☞ P. 66「動き検出アラーム」、
☞ P. 68「ビデオロストアラーム」）
［VTR モード時］
VTR 再生中にアラーム録画した部分を再生するとキーが点滅します。（同時に、ブザーが鳴ります。）
VTR 再生アラーム動作のときに、このキーを押すとブザーを一時停止します。（キーの点滅は解除されません。）（ ☞ P. 68「VTR 再生アラーム」）

［前面］ ビューアー機能時

C-MS161S



C-MS91S



① 電源スイッチ

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

② 電源表示灯

電源スイッチが「入」のときに点灯します。

③ カメラ／VTR モード選択スイッチ

モニターテレビに表示する映像をカメラの映像（カメラモード）かVTRの再生映像（VTRモード）かを選択します。

- カメラモード
  接続されているカメラの映像をモニターテレビに表示します。
- VTRモード
  VTRの再生映像をモニターテレビに表示します。

④ VTR選択スイッチ（VTRモード時のみ有効）

VTRを再生するときに、後面パネルに接続されたVTR1またはVTR2を選択します。
録画するVTRは選択する必要はありません。どちらのVTRにも録画することができます。

⑤ カメラ選択キー

- 操作時
  モニターテレビに表示しているカメラのキーは点灯し、静止画表示あるいはアラーム入力があったカメラのキーは点滅します。
  また、センサーアラームまたは動き検出アラームが入力されたカメラの映像がモニターテレビに表示されていないときでも、カメラ選択キーは点滅します。
- 設定時
  数値設定の入力キーとなります。（C-MS161S：1～10、C-MS91S：1～9）
- 1画面表示カメラの選択
  モニターテレビに1画面表示をするカメラを選択します。選択されたカメラのキーが点灯します。
- 静止画カメラの選択
  多画面表示（16、10、9、4分割表示）中に静止画キーを押し、静止画キーが点滅しているときに、静止画表示をするカメラの番号を選択します。

⑥ スポット選択キー

メニュー設定で、モニター出力2をスポット出力として設定したときのみスポット選択キーが有効となります。（☞P. 39 その他の設定画面の「モニター出力2」）
モニター出力2（スポット出力）の映像を選択するときに使用します。
スポット選択キーを押すとキーが点滅しますので、カメラ選択キーあるいはシーケンスキーでモニター出力2（スポット出力）に出力する映像を選択します。
※ C-MS91Sでは設定時の数値「0」を入力するときに使用します。

⑦ 多画面表示キー（カメラモード時のみ有効）

監視しているカメラの映像をモニターテレビに多画面で映像を表示します。
多画面表示キーを押すごとに多画面表示モード（9、10、16分割表示）が切り換わります。
多画面表示（9、10、16分割表示）中は、キーが点灯します。

ご注意

C-MS91Sでは、16分割表示をすることはできません。

⑧ グループ選択キー（カメラモード時のみ有効、C-MS161Sのみ）

監視しているカメラの10分割、9分割、または4分割画面に表示するグループを切り換えます。
分割画面はそのままで、表示するカメラが切り換わります。

⑨ **4分割表示キー［ ■■ ］（カメラモード時のみ有効）**

監視しているカメラの映像をモニターテレビに4分割で表示します。
4分割表示キーを押すごとに表示グループ（グループ1～4、グループ4はC-MS161Sのみ）が切り換わります。
4分割表示中は、キーが点灯します。

⑩ **シーケンスキー（カメラモード時のみ有効）**

- 1画面表示でカメラの映像を見ているとき
  接続されたカメラの映像を1画面表示で順次切り換えてモニターテレビに表示します。
  切換時間はメニュー画面内で設定します。
  （ ☞ P. 36 オプション1設定画面の「シーケンス切換時間」）
- 多画面表示（16、10、9、4分割表示）でカメラ映像を見ているとき
  接続されたカメラの映像を4分割表示で順次切り換えてモニターテレビに表示します。
  切換時間はメニュー画面内で設定します。
  （ ☞ P. 36 オプション1設定画面の「シーケンス切換時間」）

⑪ **静止画キー（カメラモード時のみ有効）**

- 1画面表示、ズーム表示でカメラの映像を見ているとき
  モニターテレビに表示されている画面を静止させます。
  もう一度静止画キーを押すと静止画が解除されます。
  静止画表示中は、キーが点滅します。
- 多画面表示（16、10、9、4分割表示）でカメラの映像を見ているとき
  多画面（16、10、9、4分割表示）表示中に、一度静止画キーを押して（このときキーが点滅）、カメラ選択キーで静止させるカメラを選択します。もう一度静止画キーを押すと静止画が解除されます。

※ シーケンス表示中（1画面／4分割）に、静止画キーを押しても静止画表示にはなりません。

⑫ **1画面表示キー（カメラモード時のみ有効）**

監視しているカメラの映像をモニターテレビに1画面で映像を表示します。
ズーム表示を通常の1画面表示に切り換えるときに使用します。
1画面表示中は、キーが点灯します。

⑬ **ズーム表示キー（カメラモード時のみ有効）**

監視しているカメラの映像をモニターテレビに2倍のズーム画面（電子ズーム）で映像を表示します。
ズームポジションの移動は左右上下シフトキー（◄►▲▼）で行います。
ズーム表示中は、キーが点灯します。

⑭ **左右上下シフトキー［◄►▲▼］**

メニュー画面内のカーソル移動に使用します。
ズーム表示のときにはズームポジションの移動に使用します。

⑮ **CHコール／時計表示確認キー（操作時）、選択キー（設定時）**

- 操作時
  モニターテレビにカメラ番号と日付・時刻を表示します（カメラ番号は、カメラモード時のみ）。
  一度キーを押すとカメラタイトル表示がカメラ番号表示に変わります。もう一度押すと画面の中央に日付・時刻が表示されます。
  カメラ番号と時刻表示は約10秒で自動的に元の表示に戻ります。
- 設定時
  メニュー画面内の設定項目の内容を選択するときに使用します。

⑯ **メニューキー**

1秒以上押すとモニターテレビにメニュー初期画面が表示されます。（ ☞ P. 22「設定の基本手順」）

⑰ **アラーム保留キー**

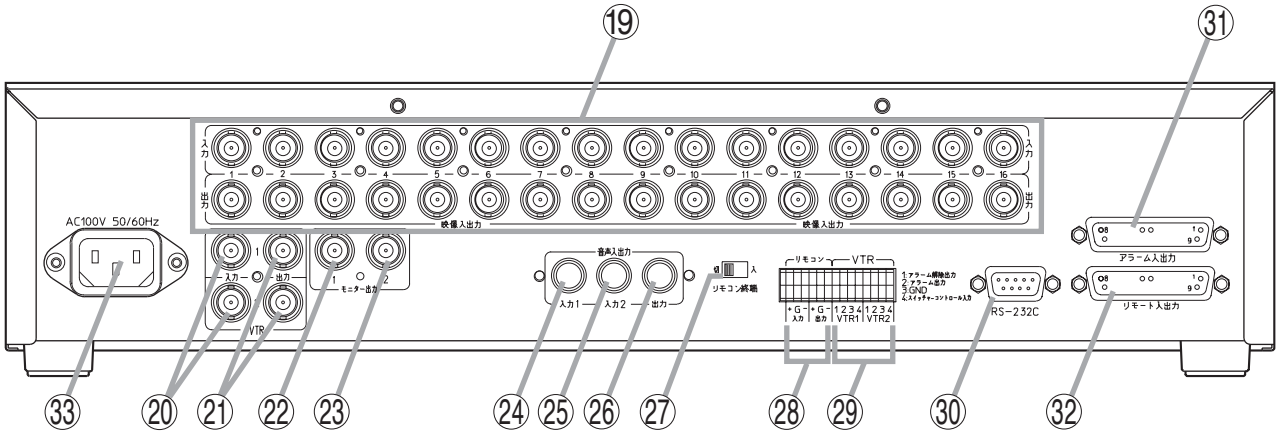
このキーを押すと、アラーム保留状態となり、キーが点灯します。もう一度押すと、アラーム保留状態を解除します。
アラーム保留状態では、センサーアラームまたは動き検出アラームが入ってもモニター画面の切り換えは行われませんが、VTRへはアラームが入ったカメラの映像が録画されます。（ ☞ P. 64「アラーム保留」）

⑱ **アラーム解除キー**

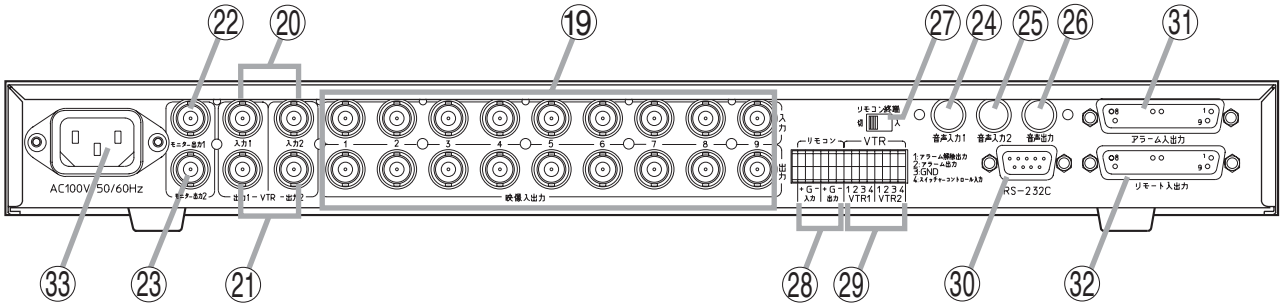
センサーアラーム、動き検出アラーム、ビデオロストアラームが動作するとキーが点滅します。
メニュー画面内で設定したアラーム時間を過ぎるとキーは点滅から点灯に変わり、アラームが入ったことを知らせます。
アラーム動作時にこのキーを押すとアラームが解除されます。
（ ☞ P. 62「センサーアラーム」、
☞ P. 66「動き検出アラーム」、
☞ P. 68「ビデオロストアラーム」）

［後面］

C-MS161S



C-MS91S



⑲ カメラ入出力端子

- 映像入力端子

  カメラなどからの映像信号を入力します。カメラまたはカメラドライブユニットなどの映像出力端子に接続します。BNC コネクターを接続すると自動的に 75 Ω終端されます。

- 映像出力端子

  BNC コネクターを接続すると自動的にハイインピーダンスとなりますので、ブリッジ接続が可能です。

⑳ VTR 入力1、2端子

VTR からの映像信号を入力します。VTR の映像（ビデオ）出力端子に接続します。

㉑ VTR 出力1、2端子

VTR へ映像信号を出力します。VTR の映像（ビデオ）入力端子に接続します。

㉒ モニター出力1端子

モニターテレビへ映像信号を出力します。モニターテレビの映像（ビデオ）入力端子に接続します。

㉓ モニター出力2端子（スポット出力端子）

モニターテレビへ映像信号を出力します。モニターテレビの映像（ビデオ）入力端子に接続します。
出荷時はスポット出力に設定されていますが、メニュー画面の設定でモニター出力1と同じ出力として使用することができます。
（☞ P. 39 その他の設定画面の「モニター出力2」）

㉔ 音声入力1端子（VTR1 用）

VTR からの音声信号を入力します。VTR の音声出力端子に接続します。

㉕ 音声入力2端子（VTR2 用）

VTR からの音声信号を入力します。VTR の音声出力端子に接続します。

㉖ 音声出力端子

モニターテレビへ音声信号を出力します。モニターテレビの音声入力端子に接続します。

㉗ リモコン終端スイッチ

リモコン専用線を接続したときに使用します。
（☞ P. 86「リモコン専用端子の接続」）

㉘ リモコン専用端子

専用リモートコントローラー C-RM100、C-RM500（別売）接続用の端子です。C-RM100 または C-RM500 を接続することで、離れた場所から本機を操作することができます。
（☞ P. 86「リモコン専用端子の接続」、
☞ P. 71「専用リモートコントローラーを使うとき」）

㉙ VTR 制御端子

- アラーム解除出力端子
  アラーム解除信号の必要なタイムラプスビデオを使用する場合、タイムラプスビデオのアラーム解除（リセット）入力と接続します。
- アラーム出力端子
  タイムラプスビデオのアラーム入力端子と接続します。
- GND 端子
  タイムラプスビデオの GND 端子と接続します。
- スイッチャーコントロール入力端子
  タイムラプスビデオのスイッチャーコントロール出力端子と接続します。

㉚ RS-232C 端子

本機をコンピューターから制御するときに、コンピューターの RS-232C コネクターと接続します。
（☞ P. 86「RS-232C 端子の接続」）

㉛ アラーム入出力端子

センサーなどを使って外部からセンサーアラーム動作をさせるときや、動き検出機能をアラームとして扱うときに使用します。
（☞ P. 70「アラーム入出力端子」）

㉜ リモート入出力端子

本機を外部から操作するときに使います。
（☞ P. 75「リモート入出力端子」）

㉝ AC インレット

付属の電源コードを接続します。

画面への文字表示

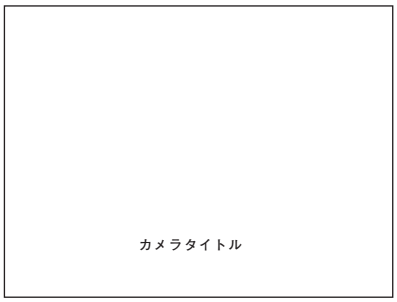
■ カメラ映像の出力画面への表示

● カメラタイトル表示

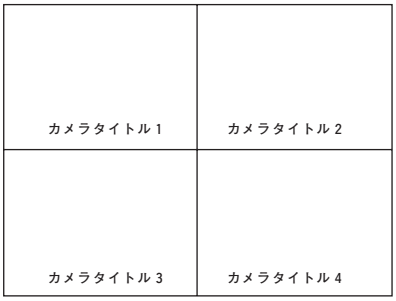
文字表示の位置を変えることはできません。

ご注意

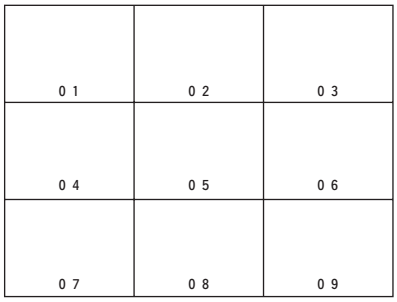
スイッチャー機能時 は1画面表示しかできません。



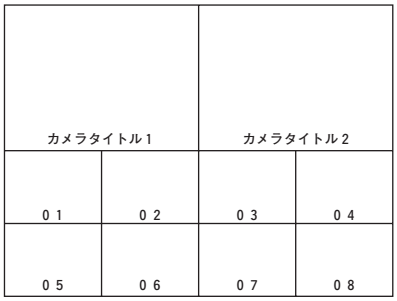
1画面表示



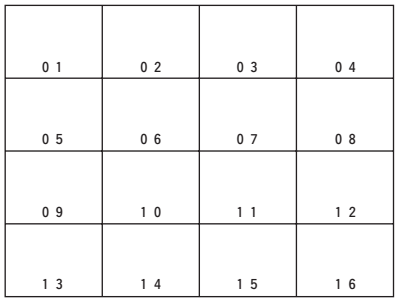
4分割表示



9分割表示



10分割表示

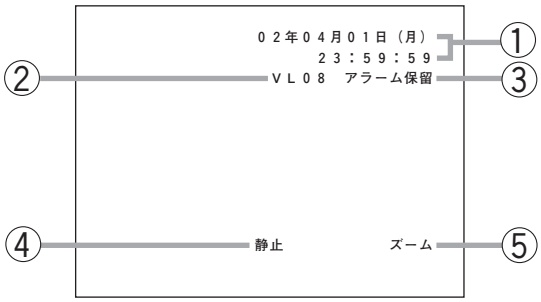


16分割表示
（C-MS161Sのみ）

- 1画面表示、4分割表示、および10分割表示の上2画面の領域には、メニュー画面で設定したカメラタイトルが表示されます。（ ☞ P. 29「タイトル設定」）
- モニター出力2をスポット出力に設定しているときは、スポット出力の1画面表示または1画面シーケンス表示画面にはカメラタイトルのみが表示されます。（ ☞ P. 39 その他の設定画面の「モニター出力2」）
- 9分割表示、10分割表示の下側の領域、および16分割表示では、カメラタイトルは表示できません。設定によりカメラ番号を表示することができます。カメラ番号は、後面パネルの映像入力の番号に対応しています。（ ☞ P. 38 ブザー／文字表示設定画面の「タイトル（モニター）」）
- 静止画表示をした場合には、カメラタイトルが「静止」の点滅表示に、カメラ番号は「F」の点滅表示に変わります。
- センサーアラーム状態または動き検出アラーム状態で多画面表示にすると、アラーム入力があったカメラのカメラタイトルは「アラーム」文字の点滅表示に、カメラ番号は「AL」の点滅表示に変わります。
- 多画面表示中にビデオロストアラームが起動すると、カメラタイトルは「ビデオロスト」表示に、カメラ番号は「VL」表示に変わります。
  アラーム解除キーを押すと、ビデオロストアラームが解除され、「ビデオロスト」、「VL」表示が消えます。
- カメラタイトル、カメラ番号は表示／非表示を設定することができます。（ ☞ P. 38 ブザー／文字表示設定画面の「タイトル（モニター）」）
- 静止画表示での「静止」、「F」、センサーアラームまたは動き検出アラーム時の「アラーム」、「AL」、およびビデオロスト時の「ビデオロスト」、「VL」表示は個別に表示／非表示を設定できません。

● その他の文字表示

設定により以下の情報を表示することができます。（ ☞ P. 38 ブザー／文字表示設定画面）
ただし、文字表示の位置を変えることはできません。



① 日付、時刻

日付、時刻（24時間表示）を表示します。

② ビデオロスト（VL01～VL16表示）

ビデオロストアラームが起動したとき、ビデオロストしたカメラの番号を表示します。
アラーム解除キーを押すとビデオロストアラームが解除され、表示が消えます。
※ スポット出力には表示されません。

③ アラーム

- アラーム表示
  センサーアラームまたは動き検出アラームが起動したとき、「アラーム」を点滅表示します。
  アラーム解除キーを押すとセンサーアラームまたは動き検出アラームが解除され、表示が消えます。
  （ ☞ P. 62「センサーアラーム」、P. 66「動き検出アラーム」）
  ※ スポット出力には表示されません。

- アラーム保留表示
  アラーム保留キーでセンサーアラームまたは動き検出アラームを保留しているときにアラーム入力が入ると、「アラーム保留」を点滅表示します。
  （ ☞ P. 64「アラーム保留」）
  ※ スポット出力には表示されません。

④ 静止

静止画表示をすると、カメラタイトルが「静止」の点滅表示に変わります。
静止画表示を解除すると、表示が消えます。

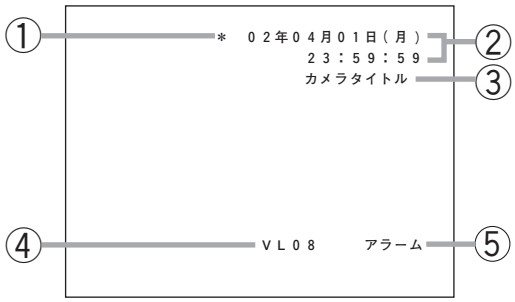
⑤ ズーム

ズーム表示をしているときに、「ズーム」を表示します。
ズーム表示を解除すると、表示が消えます。

■ VTR 録画映像への表示

スイッチャー機能時のみ

VTR へ録画される映像へは以下の情報を表示することができます。自動認識表示以外のものは、表示／非表示を設定することができます。（ ☞ P. 38「ブザー／文字表示設定画面」）
ただし、文字表示位置を変えることはできません。



① 自動認識表示

タイムラプスビデオと接続してタイムラプス録画中に、スイッチャーコントロール信号が断線などで VTR から入力されなくなったときに表示します。（ ☞ P. 82「タイムラプス録画時の自動認識」）

② 日付、時刻表示

日付、時刻を表示します。

③ カメラタイトル表示

カメラタイトルを表示します。

④ ビデオロスト（VL01 ～ VL16 表示）

ビデオロストアラームが起動したとき、ビデオロストしたカメラの番号を表示します。
ビデオロストしたカメラにアラームが入力されたときには、カメラ番号の右側に「A」を表示（例えば、VL01A）します。

⑤ アラーム表示

センサーアラームまたは動き検出アラームが起動したとき、「アラーム」を表示します。

設定する前に

■ 設定前の準備

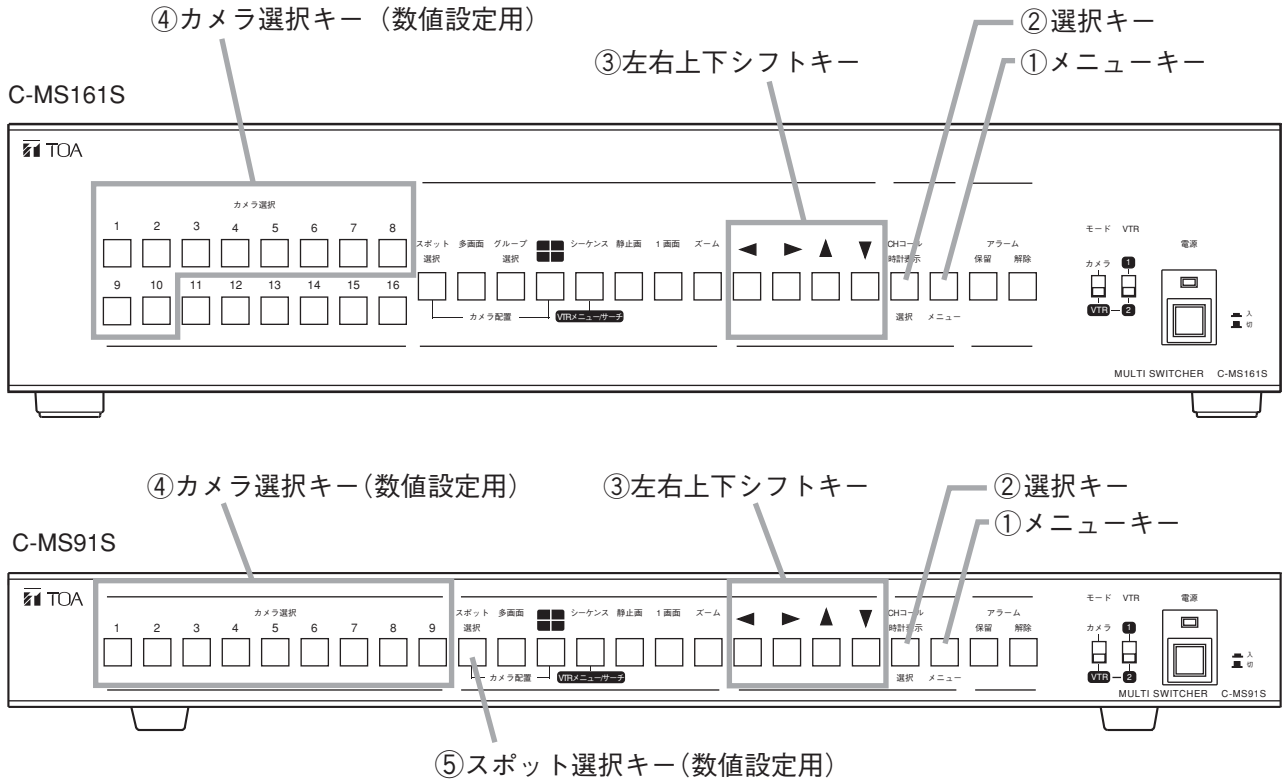
- カメラやVTRなど、システムに必要なすべての機器を接続してください。
- 本機および接続されているカメラ、VTR、モニターテレビの電源を「入（ON）」にしてください。

ご注意

メニュー画面での設定中は、カメラの映像をVTRへ録画することはできません。センサーアラーム入力や動き検出アラームなども一切動作しません。ただし、設定中の動き検出動作が内部で継続しており、メニュー画面を抜けた後に、アラーム状態になることがあります。

■ 設定に使用するキー

メニュー画面の設定では、次のキーを使います。



① メニューキー

- メニューキーを1秒以上押すと、モニターテレビにメニュー初期画面が表示されます。
- メニュー画面、設定画面で、1つ前の画面に戻るときに押します。
- メニュー初期画面から抜け、通常のカメラ画面を表示するときに押します。

② 選択キー

設定項目の内容を選択するときに押します。

③ 左右上下シフトキー［◄►▲▼］

カーソルを移動するときに使います。

④ カメラ選択キー（数値設定用）

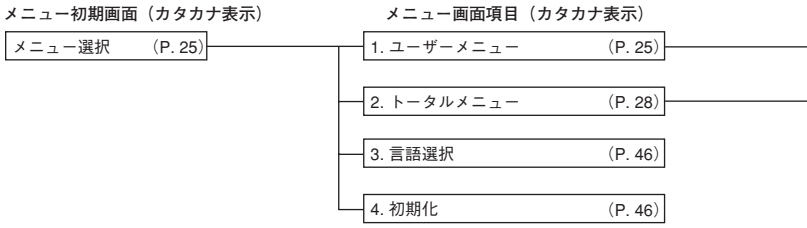
- 数値を入力するときに使います。
- 数値1～9を入力するときは、カメラ選択キー1～9を使います。
- C-MS161Sでは数値0を入力するときは、カメラ選択キー10を使います。

⑤ スポット選択キー（数値設定用）

C-MS91Sでは数値0を入力するときに使います。

設定項目の一覧と設定の手順

● 設定項目一覧　スイッチャー機能時



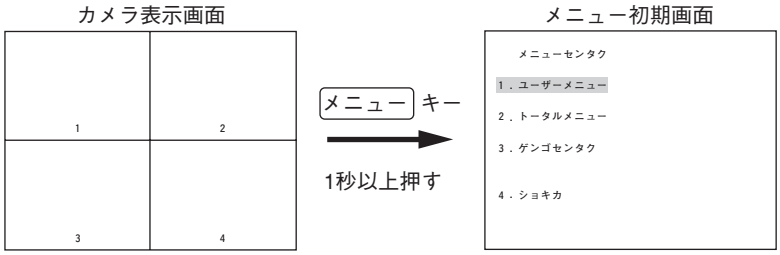
● 設定の基本手順

図の中の　　部はカーソルです。文字が点滅表示します。

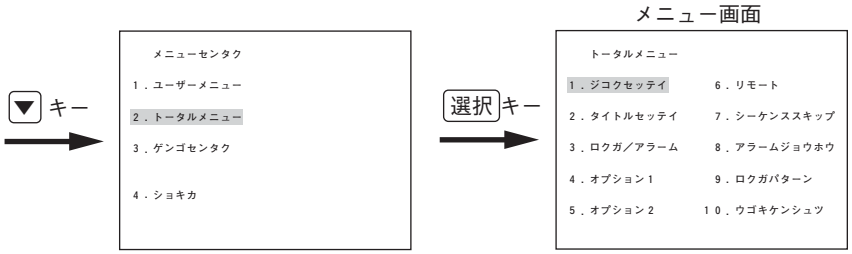
ご注意

メニュー初期画面、メニュー画面、設定画面を表示している状態で、5分間何も操作しなければ、自動的に通常状態（カメラ表示画面）に戻ります。

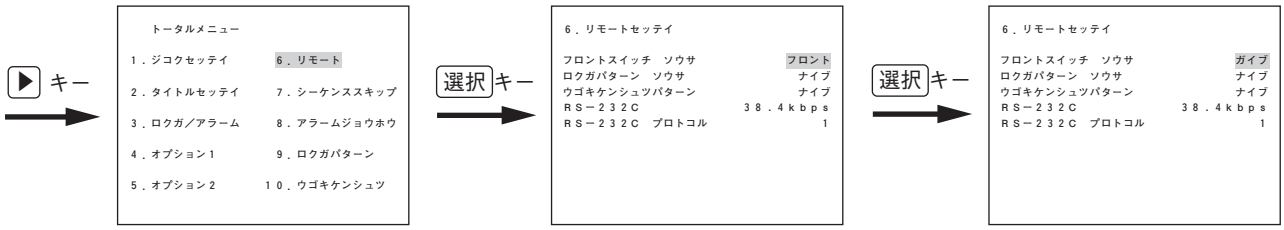
1 メニュー初期画面に入る。



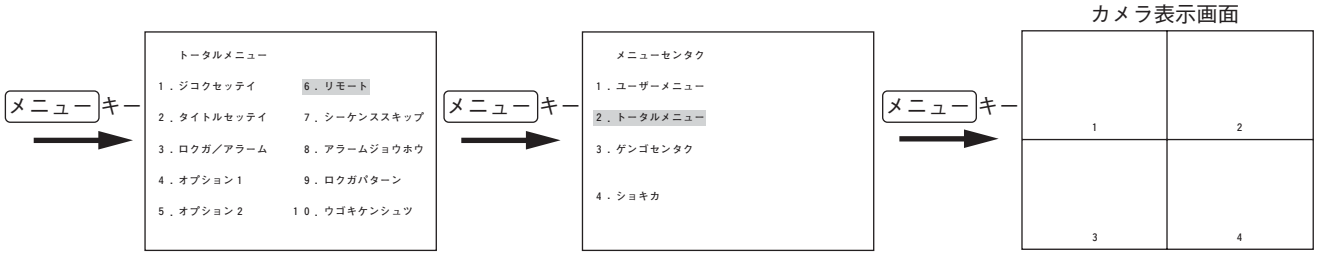
2 メニュー画面に入る。



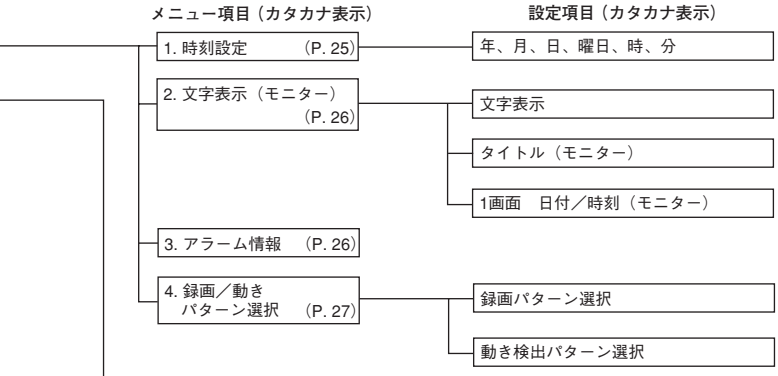
3 設定内容を選択する。



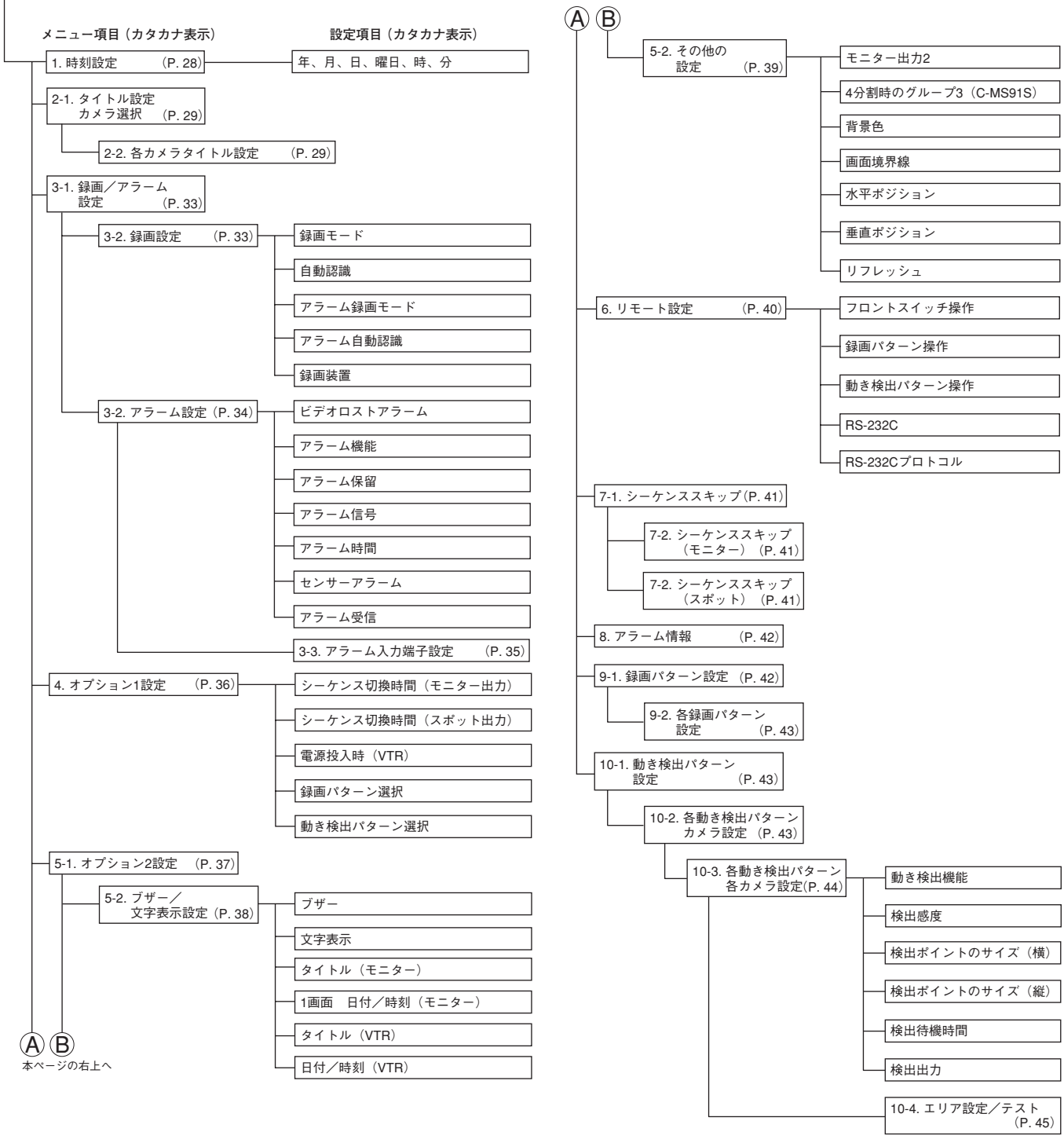
4 設定内容を確定し、カメラ表示画面に戻る。



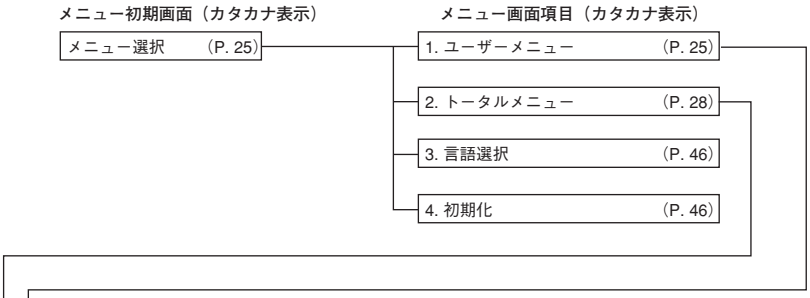
※ ユーザーメニューはトータルメニューの中から操作する人がよく使う設定項目のみを抜粋したものです。



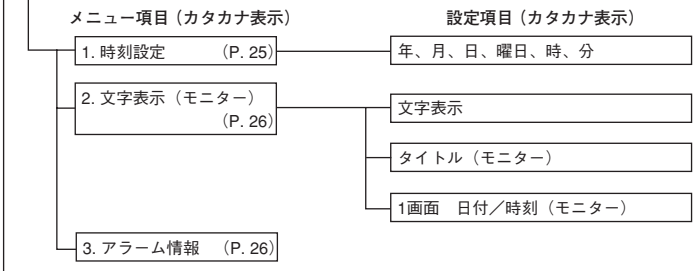
※ トータルメニューはすべての設定項目が表示されます。設置時には、この画面ですべての項目を設定してください。



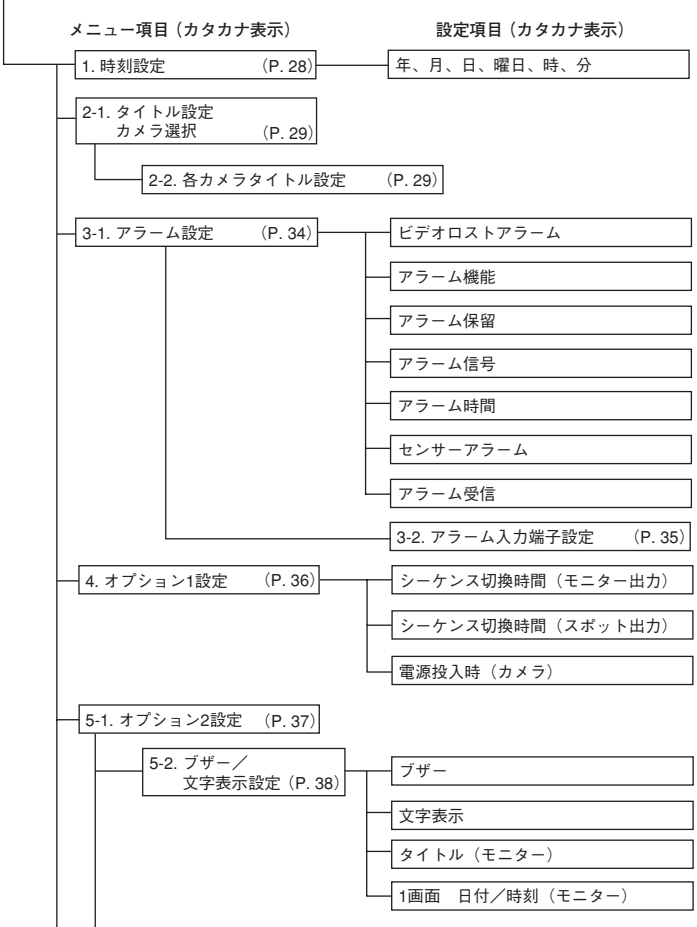
● 設定項目一覧　ビューアー機能時

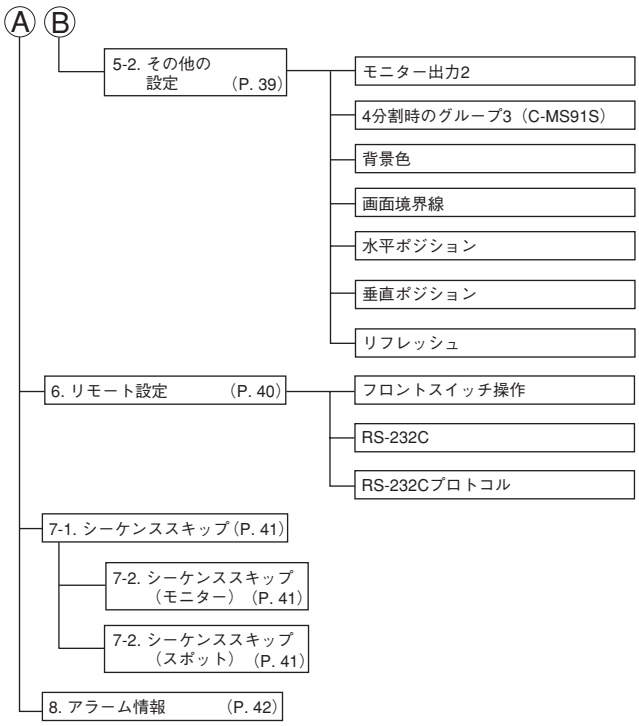


※ ユーザーメニューはトータルメニューの中から操作する人がよく使う設定項目のみを抜粋したものです。



※ トータルメニューはすべての設定項目が表示されます。設置時には、この画面ですべての項目を設定してください。



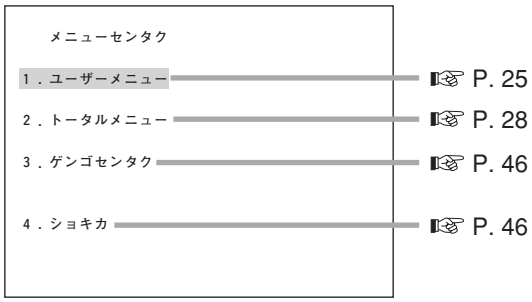


メニューを選択する

■ メニュー初期画面

カメラが表示されている画面でメニューキーを1秒以上押して、メニュー初期画面を表示させます。

- メニュー初期画面では、4つのメニュー画面項目の中から設定するメニュー画面を選択します。
- シフトキーでメニュー画面項目へカーソルを移動し、選択キーで1.～4.の各メニュー画面を表示させます。



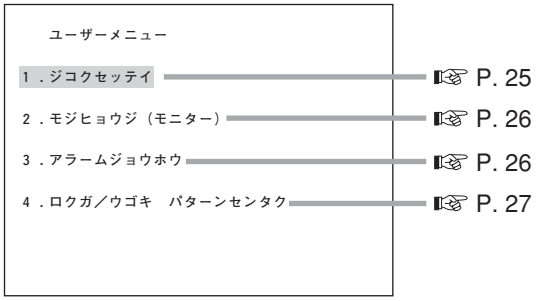
ユーザーメニュー画面で設定する

■ ユーザーメニュー　ユーザーメニュー

ユーザーメニューは、トータルメニューの中から、操作する人がよく使うメニュー項目を抜粋したものです。
設置時には、まずトータルメニューですべての項目を設定してください。（☞ P. 28）
メニュー初期画面で「1. ユーザーメニュー」を選択すると下図の画面が表示されます。

※ ビューアー機能時 は「ロクガ／ウゴキ　パターンセンタク」の項目は表示されません。

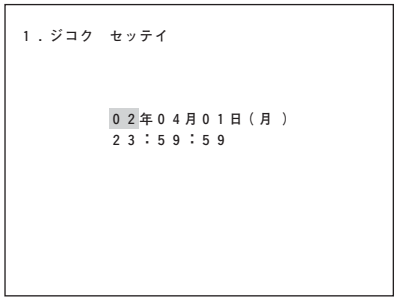
- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで設定画面を表示させます。
- メニューキーを押すと、メニュー初期画面に戻ります。



■ 時刻設定　ユーザーメニュー

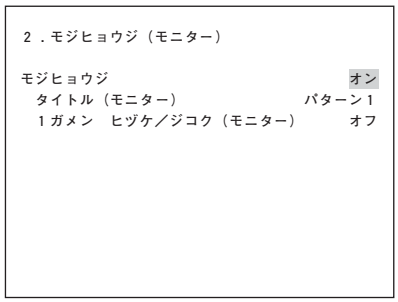
日付・時刻（24時間表示）の設定をします。
ユーザーメニュー画面で「1. ジコクセッテイ」を選択すると下図の画面が表示されます。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、ユーザーメニュー画面に戻ります。
- 時刻を設定すると、秒表示は自動的に00秒にリセットされます。
- 内蔵の時計はメニューキーを押すと設定された日付・時刻から動作します。
- 数値入力には次のキーを使います。
  C-MS161Sのとき：カメラ選択キー1～10（10は、数値0の入力用）
  C-MS91Sのとき　：カメラ選択キー1～9、スポット選択キー（数値0の入力用）



■ 文字表示（モニター）　ユーザーメニュー

モニターテレビ画面への表示内容を設定します。
ユーザーメニュー画面で「2. モジヒョウジ（モニター）」を選択すると下図の画面が表示されます。



- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、ユーザーメニュー画面に戻ります。
- 各設定項目と選択内容およびそれぞれの内容は以下のとおりです。

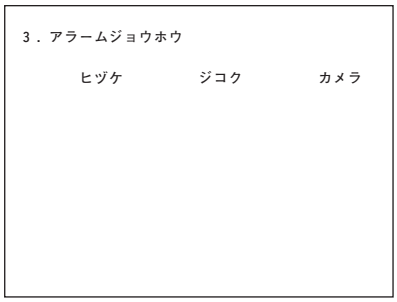
設定項目（カタカナ表示）	設定内容（カタカナ表示）	内　　容
文字表示	オン／オフ	文字表示を「オフ」にするとモニターテレビ、VTRへの録画映像への文字表示をしません。「アラーム」、「ビデオロスト」、「静止」などの文字表示もされません。
タイトル（モニター）	スイッチャー機能時 パターン1／オフ ビューアー機能時 パターン1／パターン2／オフ	モニターテレビの画面の表示内容を決めます。 パターン1：カメラ番号（9分割分割表示時、16分割表示時、10分割表示時の下領域）とカメラタイトル（1画面表示時、4分割表示時、10分割表示時の上2画面）を表示 パターン2：カメラタイトル（1画面表示時、4分割表示時、10分割表示時の上2画面）のみ表示 オフ　：表示しない
1画面　日付／時刻（モニター）	オン／オフ	モニターテレビに1画面で表示する場合に、日付・時刻表示をするときは「オン」にします。

※下線部は工場出荷時の設定です。

■ アラーム情報　ユーザーメニュー

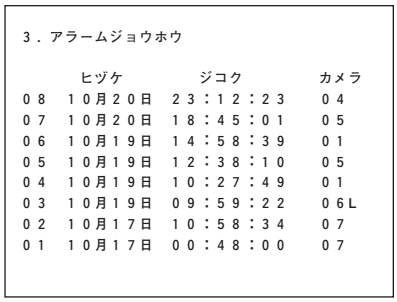
センサーアラーム、動き検出アラーム、およびビデオロストアラームが発生したときのカメラ番号、日付、および時刻を最大64件記憶し、アラーム情報画面で見ることができます。
ユーザーメニュー画面で「3. アラームジョウホウ」を選択すると下図の画面が表示されます。

初期画面（アラーム情報がないとき）



アラーム発生

アラーム情報画面（例）



- 1度に表示できる件数は8件で、古い順に番号が付けられています。最初に表示されるのは、最新の8件分の情報です。（上図右）

メ　モ　センサーアラームと動き検出アラームをアラーム情報画面で見分けることはできません。

- ビデオロストアラームの発生したカメラは、カメラ番号の右側に「L」が表示されます。センサーアラームまたは動き検出アラームの発生したカメラは、カメラ番号のみ表示されます。
- 65件以上のセンサーアラーム、動き検出アラーム、またはビデオロストアラームが発生した場合は、最も古いデータから消去されます。
- 表示されている情報より古い情報を見るときは下シフトキー（▼）を押します。表示されている情報より新しい情報を見るときは、上シフトキー（▲）を押します。
- メニューキーを押すと、ユーザーメニュー画面に戻ります。

（☞ P. 69「アラーム情報画面の例」）

ご注意　アラーム解除キーを押すと、表示されている情報はすべて消去されます。

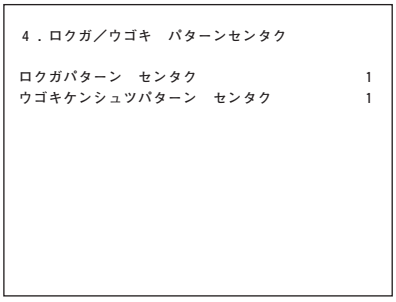
■ 録画／動きパターン選択

ユーザーメニュー

スイッチャー機能時のみ

録画パターンおよび動き検出パターンを選択します。
ユーザーメニュー画面で「4. ロクガ／ウゴキ　パターンセンタク」を選択すると下図の画面が表示されます。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、ユーザーメニュー画面に戻ります。
- 各設定項目と選択内容およびそれぞれの内容は以下のとおりです。



設定項目（カタカナ表示）	選択内容（カタカナ表示）	内　　容
録画パターン選択	1 ／ 2 または（1）／（2）	• トータルメニュー「6.リモート設定」の「録画パターン操作」が「内部」に設定されているとき 録画パターン1か録画パターン2を選択します。（「1」または「2」を表示） • トータルメニュー「6.リモート設定」の「録画パターン操作」が「リモート」または「RS232C」に設定されているとき 録画パターン1か録画パターン2の内、外部から選択されている方を表示します。（「（1）」または「（2）」を表示。カーソルはこの項目へは移動せず、この画面で録画パターン選択はできません。） ※ 録画パターン1、2の内容は、トータルメニュー「9. 録画パターン」で設定されます。 （☞ P. 40「リモート設定」、P. 42「録画パターン設定」）
動き検出パターン選択	1 ／ 2 または（1）／（2）	• トータルメニュー「6.リモート設定」の「動き検出パターン操作」が「内部」に設定されているとき 動き検出パターン1か動き検出パターン2を選択します。（「1」または「2」を表示） • トータルメニュー「6.リモート設定」の「動き検出パターン操作」が「リモート」または「RS232C」に設定されているとき 録画パターン1か録画パターン2の内、外部から選択されている方を表示します。（このときは「（1）」または「（2）」を表示。カーソルはこの項目へは移動せず、この画面で動き検出パターン選択はできません。） ※ 動き検出パターン1、2の内容は、トータルメニュー「10.動き検出パターン」で設定されます。 （☞P. 40「リモート設定」、P. 43「動き検出パターン設定」）

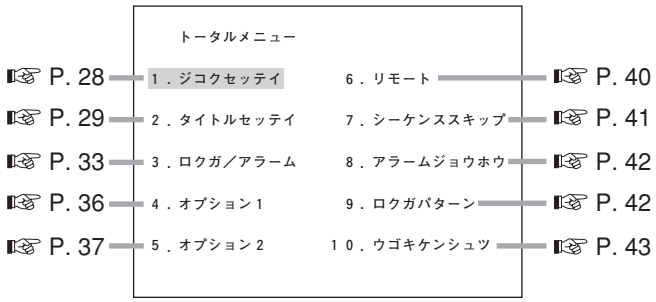
※下線部は工場出荷時の設定です。

トータルメニュー画面で設定する

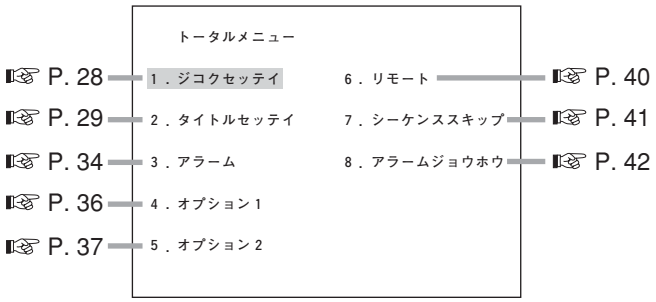
■ トータルメニュー　トータルメニュー

トータルメニューではすべての設定項目が表示されます。設置時にはこの画面ですべての項目を設定してください。メニュー初期画面で「2. トータルメニュー」を選択すると下図の画面が表示されます。

スイッチャー機能時



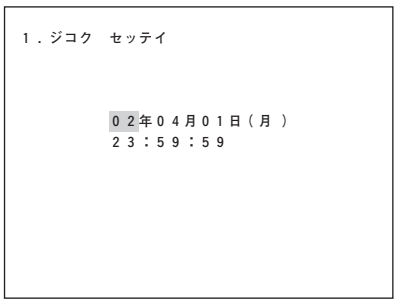
ビューアー機能時



- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで設定画面を表示させます。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、メニュー初期画面に戻ります。

■ 時刻設定　トータルメニュー

日付・時刻（24時間表示）の設定をします。
トータルメニュー画面で「1. ジコクセッテイ」を選択すると下図の画面が表示されます。



- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、ユーザーメニュー画面に戻ります。
- 時刻を設定すると、秒表示は自動的に00秒にリセットされます。
- 内蔵の時計はメニューキーを押すと設定された日付・時刻から動作します。
- 数値入力には次のキーを使います。
  C-MS161Sのとき：カメラ選択キー1～10（10は、数値0の入力用）
  C-MS91Sのとき　：カメラ選択キー1～9、スポット選択キー（数値0の入力用）

■ タイトル設定　トータルメニュー

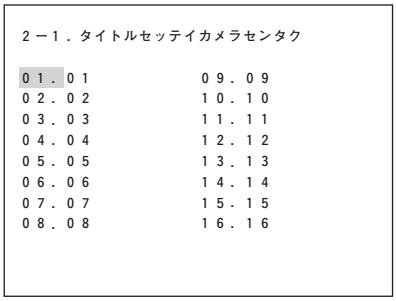
タイトル設定カメラ選択画面でタイトルを設定するカメラを選択し、タイトル設定画面でタイトルを設定します。

● タイトル設定カメラ選択画面

タイトルを設定するカメラを選択します。
トータルメニュー画面で「2. タイトルセッテイ」を選択すると下図の画面が表示されます。

※ C-MS91S ではカメラ 10 ～ 16 の選択項目は表示されません。

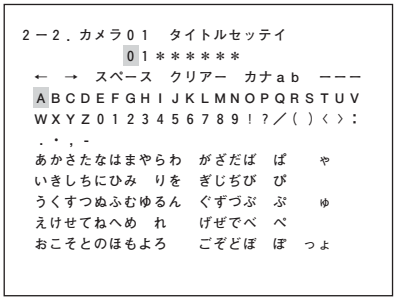
- シフトキーでタイトルを設定するカメラへカーソルを移動し、選択キーでタイトル設定画面を表示させます。
- 背景には選択されたカメラの映像が表示されます。
- 選択されたカメラが接続されていないときは背景色表示となります。
- メニューキーを押すと、トータルメニュー画面に戻ります。



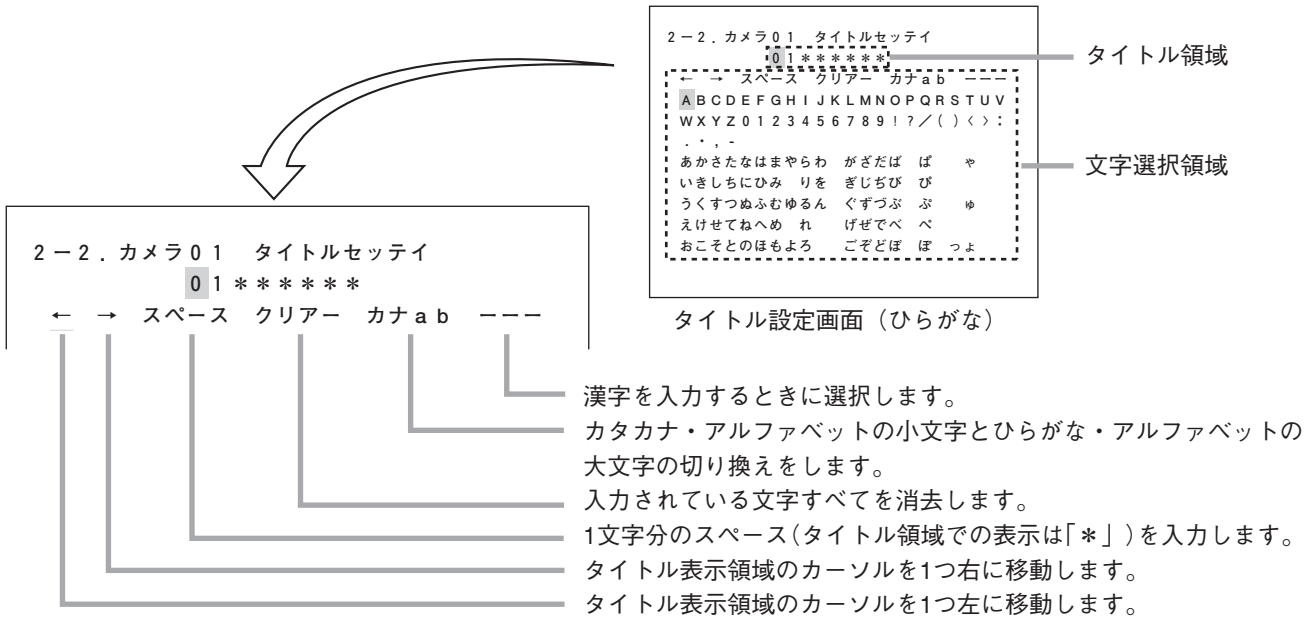
● タイトル設定画面

タイトル設定画面で各カメラのタイトルを設定します。
タイトル設定カメラ選択画面でタイトル設定を行うカメラを選択すると下図の画面が表示されます。

- タイトルは最大 8 文字入力できます。
- ひらがな、カタカナ、英数字、一部の漢字を入力できます。
- メニューキーを押すと、タイトル設定カメラ選択画面に戻ります。



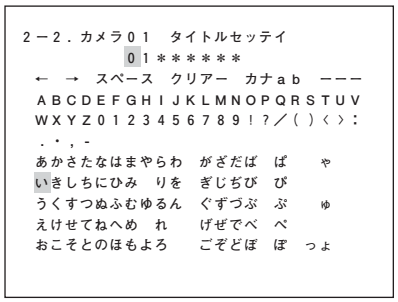
［タイトル設定画面の見かた］



[文字入力の基本操作]

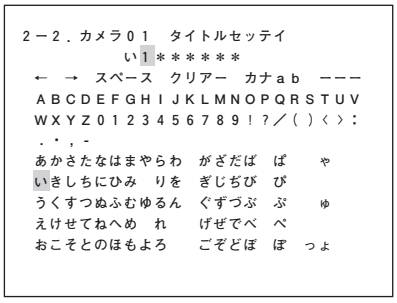
1 文字選択領域のカーソルをシフトキーで移動させる。

※ タイトルにカタカナ・アルファベットの小文字を入力したいときおよび漢字を入力したいときは次ページをお読みください。



2 選択キーを押す。

タイトル領域のカーソル位置に、選択した文字が表示され、カーソルが1つ右に異動します。
すでにその位置にタイトル文字が入力されていたときは、上書きされ、選択した文字に変わります。
※ タイトル領域の「＊」は、文字の未入力を表します。



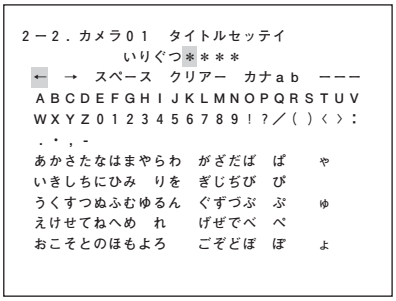
3 手順1と2を繰り返して、タイトルを入力する。

4 タイトルを入力し終えたら、メニューキーを押す。

タイトルが確定し、タイトル設定カメラ選択画面に戻ります。

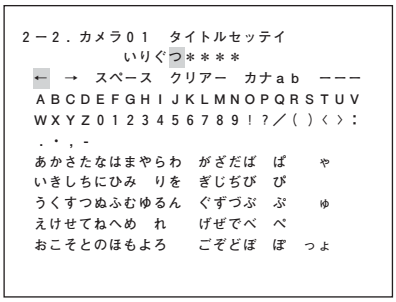
[文字の修正]

1 文字選択領域のカーソルをシフトキーで「←」または「→」へ移動させる。



2 選択キーを押す。

タイトル領域のカーソルが矢印の方向に1つ移動します。

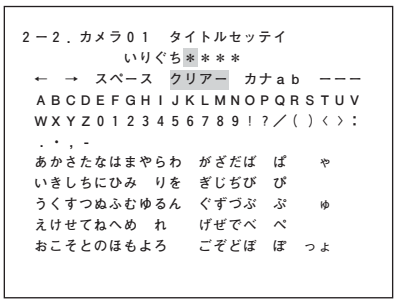


3 手順1と2を繰り返して、タイトル領域のカーソルを修正したい文字の位置に移動させる。

4 前項の文字入力の基本操作に従って文字を入力する。

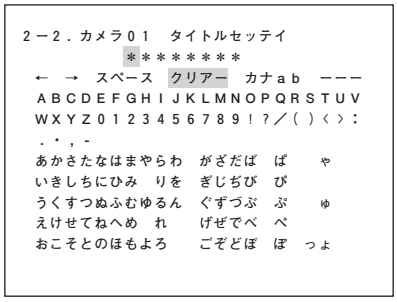
［タイトルの消去］

1 文字選択領域のカーソルをシフトキーで「クリアー」へ移動させる。



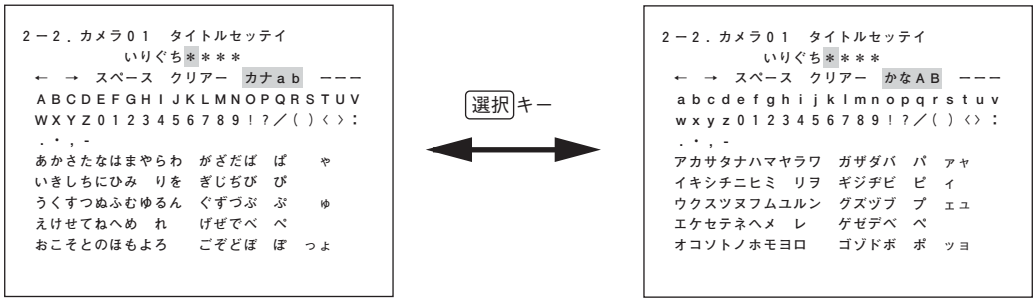
2 選択キーを押す。

タイトル領域の文字がすべて消去され「＊＊＊＊＊＊＊＊」と表示されます。



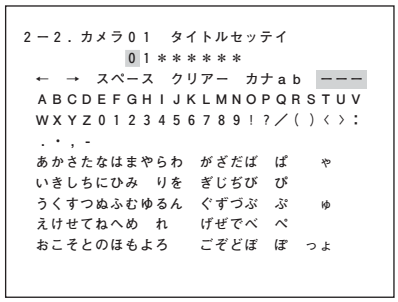
［カタカナ、アルファベットの小文字を入力する］

文字選択領域の「カナab」を選択すると文字選択領域の表示が変わり、カタカナとアルファベットの小文字を入力することができます。ひらがなに戻すときは文字選択領域の「かなAB」を選択します。



［漢字を入力する］

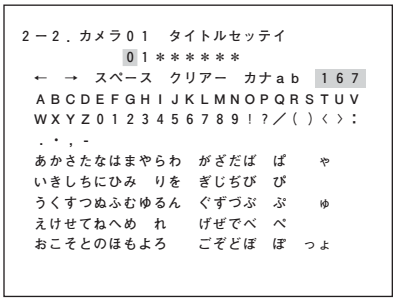
1 文字選択領域のカーソルをシフトキーで「－－－」へ移動させる。



2 漢字コードを入力する。

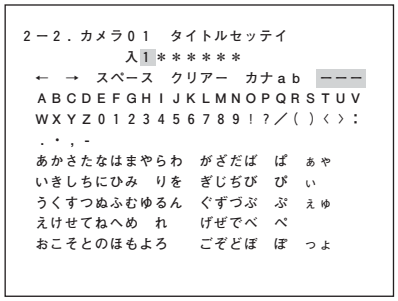
- 漢字コード入力の1～9を入力するときはカメラ選択キー1～9を使います。
- 漢字コードの0を入力するときはC-MS161Sではカメラ選択キー10を使い、C-MS91Sではスポット選択キーを使います。

※ 265種類の漢字を入力できます。次ページの「漢字コード表」を参照してください。



3 選択キーを押す。

漢字コードに該当する文字がタイトル領域に表示されます。



● 漢字コード表

あ		い							う							え		
朝	案	異	井	医	家	育	院	員	上	受	後	内	器	裏	売	衛	映	煙
040	209	063	110	258	147	257	102	195	009	144	006	017	014	012	085	096	219	051
あさ	あん	い	い	い	いえ	いく	いん	いん	うえ	うけ	うしろ	うち	うつわ	うら	うり	えい	えい	えん

え		お				か												
宴	園	御	央	音	表	火	科	画	械	階	会	替	角	確	学	楽	壁	川
105	265	218	022	172	011	136	180	126	030	072	106	037	029	159	116	123	111	048
えん	えん	お	おう	おと	おもて	か	か	が	かい	かい	かい	かえ	かく	かく	がく	がく	かべ	かわ

か						き												
側	間	館	監	換	管	気	機	来	議	北	客	旧	究	共	教	局	近	金
016	034	084	107	153	207	045	169	177	191	004	262	114	201	242	259	174	024	139
がわ	かん	かん	かん	かん	かん	き	き	き	ぎ	きた	きゃく	きゅう	きゅう	きょう	きょう	きょく	きん	きん

き		く							け									
禁	銀	区	空	薬	口	国	車	郡	警	景	計	券	検	軒	研	験	県	元
211	252	228	074	173	054	179	076	226	097	150	161	056	088	113	200	204	225	049
きん	ぎん	く	くう	くすり	くち	くに	くるま	ぐん	けい	けい	けい	けん	けん	けん	けん	けん	けん	げん

け				こ														
玄	言	源	現	庫	故	子	午	娯	向	溝	工	校	公	交	高	行	号	合
070	193	198	250	119	215	239	039	243	028	093	109	117	148	152	170	253	083	224
げん	げん	げん	げん	こ	こ	こ	ご	ご	こう	こう	こう	こう	こう	こう	こう	こう	ごう	ごう

さ							し											
査	作	佐	災	再	察	皿	視	施	止	使	市	支	事	時	磁	自	式	下
089	182	235	050	127	176	058	108	129	166	185	230	232	115	157	202	222	241	010
さ	さ	さ	さい	さい	さつ	さら	し	し	し	し	し	し	じ	じ	じ	じ	しき	した

し																		
室	実	島	舎	社	守	主	周	修	宿	出	準	所	書	小	商	消	障	照
090	203	047	066	121	095	141	019	214	065	168	175	100	255	062	067	163	216	246
しつ	じつ	しま	しゃ	しゃ	しゅ	しゅ	しゅう	しゅう	しゅく	しゅつ	じゅん	しょ	しょ	しょう	しょう	しょう	しょう	しょう

し					す			せ										
常	錠	食	新	診	図	水	数	正	生	静	制	関	席	設	接	栓	洗	専
053	131	103	132	237	254	137	158	023	128	205	217	071	194	130	212	055	155	249
じょう	じょう	しょく	しん	しん	ず	すい	すう	せい	せい	せい	せい	せき	せき	せつ	せつ	せん	せん	せん

そ							た									ち		
倉	操	総	像	続	外	村	待	体	大	台	第	棚	玉	短	段	地	治	中
118	181	210	220	213	018	229	178	256	061	263	264	068	154	033	073	043	187	021
そう	そう	そう	ぞう	ぞく	そと	そん	たい	たい	だい	だい	だい	たな	たま	たん	だん	ち	ち	ちゅう

ち				つ				て				と						
駐	長	庁	直	通	月	付	詰	手	停	天	電	土	灯	棟	当	凍	堂	動
075	032	231	026	080	134	145	099	221	165	042	197	140	059	082	199	245	104	223
ちゅう	ちょう	ちょう	ちょく	つう	つき	つけ	つめ	て	てい	てん	でん	ど	とう	とう	とう	とう	どう	どう

と			な	に					ね	は							ひ	
特	扉	供	波	荷	西	入	庭	認	年	場	灰	発	払	販	搬	番	非	日
027	122	240	171	233	002	167	120	160	133	086	041	192	251	164	236	149	052	135
とく	とびら	とも	なみ	に	にし	にゅう	にわ	にん	ねん	ば	はい	はつ	はらう	はん	はん	ばん	ひ	ひ

ひ										ふ			へ		ほ			
備	控	東	左	人	病	昼	広	品	便	部	副	分	別	辺	舗	保	放	方
098	146	001	007	190	101	036	025	151	248	091	142	038	184	020	124	206	064	183
び	ひかえ	ひがし	ひだり	ひと	びょう	ひる	ひろい	ひん	びん	ぶ	ふく	ふん	べつ	へん	ほ	ほ	ほう	ほう

ほ		ま			み				む	め		も			や		ゆ	
防	本	前	町	窓	右	店	道	南	務	明	面	木	物	門	屋	役	油	郵
057	238	005	227	094	008	087	092	003	143	188	015	138	234	069	112	196	060	247
ぼう	ほん	まえ	まち	まど	みぎ	みせ	みち	みなみ	む	めい	めん	もく	もの	もん	や	やく	ゆ	ゆう

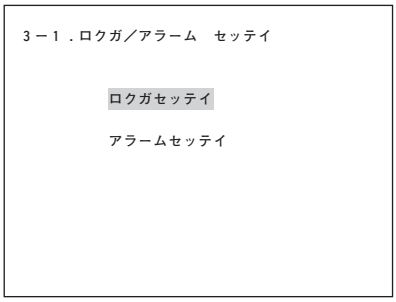
よ			り									れ	ろ				わ
用	横	夜	理	立	流	留	療	両	量	料	輪	冷	路	廊	老	録	枠
186	031	035	079	261	046	208	044	156	189	260	077	244	081	078	162	125	013
よう	よこ	よる	り	りつ	りゅう	りゅう	りょう	りょう	りょう	りょう	りん	れい	ろ	ろう	ろう	ろく	わく

■ 録画／アラーム設定

トータルメニュー　スイッチャー機能時のみ

録画設定またはアラーム設定を選択します。
トータルメニュー画面で「3. ロクガ／アラーム」を選択すると下図の画面が表示されます。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで設定画面を表示させます。
- メニューキーを押すと、トータルメニュー画面に戻ります。



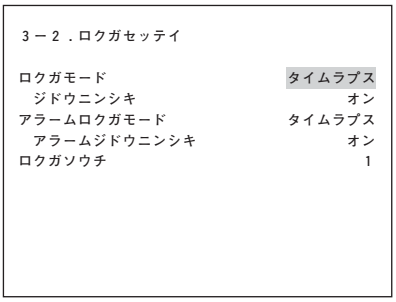
■ 録画設定

トータルメニュー　スイッチャー機能時のみ

録画に関する設定をします。
録画／アラーム設定画面で「ロクガセッテイ」を選択すると下図の画面が表示されます。

※「ジドウニンシキ」の項目は「ロクガモード」が「タイムラプス」のときのみ表示されます。
※「アラームジドウニンシキ」の項目は「アラームロクガモード」が「タイムラプス」のときのみ表示されます。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、録画／アラーム設定画面に戻ります。
- 各設定項目と選択内容およびそれぞれの内容は以下のとおりです。



設定項目（カタカナ表示）	設定内容（カタカナ表示）	内　　容
録画モード	通常／タイムラプス	通常　：タイムラプス VTR を使用して、VTRの録画時間モードを「2」または「6」モードで録画するとき、デジタルレコーダーの記録間隔を1/60、1/30秒あるいは30FPSで録画するとき、および家庭用VTR（標準モード／3倍モード）を使用するときに設定します。 タイムラプス：タイムラプス VTR を使用して、VTR の録画モードを上記以外、またはデジタルレコーダーの記録間隔を上記以外にして録画するときに設定します。
自動認識	オフ／オン	録画モードを「タイムラプス」に設定した場合、スイッチャーコントロール信号が断線してもカメラ切り換え動作を行うときは「オン」にします。
アラーム録画モード	通常／タイムラプス	センサーアラームおよび動き検出アラーム時の録画モードを設定します。 通常　：タイムラプス VTR を使用して、VTRの録画時間モードを「2」または「6」モードで録画するとき、デジタルレコーダーの記録間隔を1/60、1/30秒あるいは30FPSで録画するとき、および家庭用VTR（標準モード／3倍モード）を使用するときに設定します。 タイムラプス：タイムラプス VTR を使用して、VTR の録画モードを上記以外、またはデジタルレコーダーの記録間隔を上記以外にして録画するときに設定します。

設定項目（カタカナ表示）	設定内容（カタカナ表示）	内　　容
アラーム自動認識	オフ／<u>オン</u>	アラーム録画モードを「タイムラプス」に設定した場合、スイッチャーコントロール信号が断線してもカメラ切り換え動作を行うときは「オン」にします。
録画装置	<u>1</u>／2	通常は「1」に設定します。一部の記録機器において再生映像が上下に揺れるなど、うまく再生されないときは「2」に設定してください。

※下線部は工場出荷時の設定です。

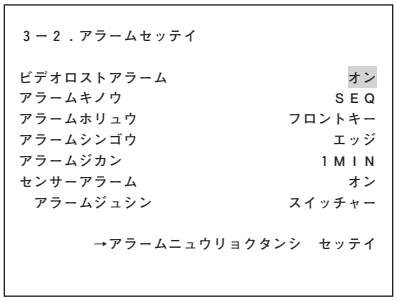
ご注意

タイムラプスビデオの記録間隔を 60 秒以上で使うときは、自動認識を「オフ」に設定してください。

■ アラーム設定　トータルメニュー

アラームに関する設定をします。
録画／アラーム設定画面で「アラームセッテイ」を選択すると下図の画面が表示されます。

※ ビューアー機能時 のタイトル項目は「3-1.　アラームセッテイ」となります。



- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、録画／アラーム設定画面に戻ります。
- 各設定項目と選択内容およびそれぞれの内容は以下のとおりです。

設定項目（カタカナ表示）	設定内容（カタカナ表示）	内　　容
ビデオロストアラーム	<u>オン</u>／オフ	ビデオロストアラームを使用する場合は「オン」にします。（☞ P. 68「ビデオロストアラーム」）
アラーム機能	スイッチャー機能時 <u>SEQ</u>／ALL／LAST ビューアー機能時 <u>SEQ</u>／LAST	複数のアラーム入力があったときのセンサーアラームおよび動き検出アラームの機能を設定します。（☞ P. 65） LAST：センサーアラームまたは動き検出アラームの入力が複数あったときには、後から入力されたアラームのカメラ映像を表示します。 VTR には後から入力されたアラームのカメラの映像のみを録画します。 SEQ ：センサーアラームまたは動き検出アラームの入力が複数あったときに、アラームの入ったカメラの映像をシーケンス表示します。 VTR にはアラームが入ったカメラの映像をすべて録画します。 ALL ：センサーアラームまたは動き検出アラームの入力が複数あったときに、アラームの入ったカメラの映像をシーケンス表示します。 VTR には接続されているカメラの映像をすべて録画します。
アラーム保留	<u>フロントキー</u>／常時	センサーアラームまたは動き検出アラームが入力されたときに選択中のカメラ表示を変えたくない場合にアラーム保留にします。 VTRにはアラームが入力されたカメラが録画されますが、モニターテレビの画面はアラームが入力されたカメラに自動的には切り換わりません。 （☞ P. 64「アラーム保留」） フロント：前面パネルのアラーム保留キーを押し、キーが点灯しているときにアラーム保留状態となります。 常　　時：アラーム保留キーに関わらず常にアラーム保留状態となります。

設定項目（カタカナ表示）	設定内容（カタカナ表示）	内　　容
アラーム信号	エッジ／レベル	センサーアラームおよび動き検出アラームの起動方法を設定します。 エッジ：アラーム入力端子を短絡／開放するとアラームが起動します。アラーム時間で設定した時間中、アラーム状態となります。 アラーム入力端子を開放／短絡してもアラーム時間内であれば、アラーム状態を保持します。 レベル：アラーム入力端子を短絡／開放している間アラーム状態となります。 アラーム入力端子を開放／短絡するとアラーム状態が解除されます。
アラーム時間	10SEC／15SEC／20SEC／30SEC／1MIN／2MIN／3MIN／4MIN／5MIN／無限	アラーム信号が「エッジ」に設定されたときにアラーム時間を選択します。 「無限」に設定するとアラーム解除キーを押すまでセンサーアラーム状態を保持します。
センサーアラーム	オン／オフ	センサーアラームを使用する場合は「オン」に設定します。 （☞ P. 62「センサーアラーム」）
アラーム受信	スイッチャー／リモコン	専用リモートコントローラー C-RM100 と本機を使うシステムでセンサーアラームまたは動き検出アラームが入力される機器を選択します。 スイッチャー：本機にアラームを入力するときに設定します。 リモコン　：専用リモートコントローラーC-RM100にアラーム入力ユニット C-AL80 を使ってアラームを入力するときに設定します。

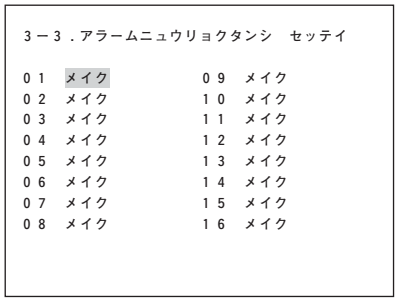
※下線部は工場出荷時の設定です。

■ アラーム入力端子設定　トータルメニュー

各アラーム入力端子の「メイク」「ブレイク」を設定します。
「メイク」に設定すると、端子がGNDと短絡されたときにアラームが起動し、「ブレイク」に設定すると、端子がGNDと開放されたときにアラームが起動します。
アラーム設定画面で「アラームニュウリョクタンシ　セッテイ」を選択すると下図の画面が表示されます。

※ アラーム入力端子10～16はC-MS161Sのみの機能です。
※ ビューアー機能時 のタイトル項目は「3-2.アラームニュリョクタンシ　セッテイ」となります。

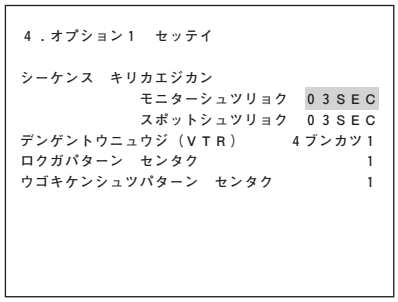
- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、アラーム設定画面に戻ります。
- アラーム入力端子1～16のそれぞれに「メイク」「ブレイク」を設定します。（工場出荷時の設定は「メイク」）



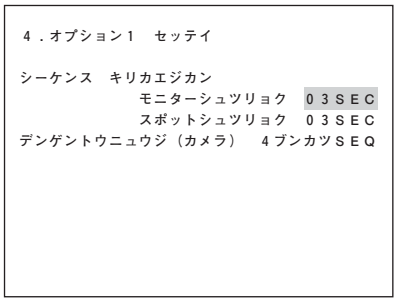
■ オプション1設定　トータルメニュー

シーケンス切換時間の設定、電源投入時のモニターテレビの表示画面の設定などを行います。
トータルメニュー画面で「4.オプション1」を選択すると下図の画面が表示されます。

スイッチャー機能時



ビューアー機能時



- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、トータルメニュー画面に戻ります。
- 各設定項目と選択内容およびそれぞれの内容は以下のとおりです。

設定項目（カタカナ表示）	選択内容（カタカナ表示）		内　　容
	C-MS161S	C-MS91S	
シーケンス切換時間 （モニター出力）	00～99SEC *1 （03）		1画面および4分割シーケンスの切換時間を設定します。*2
シーケンス切換時間 （スポット出力）	00～99SEC *1 （03）		その他の設定画面で「モニター出力2」をスポットに設定したときのモニター出力2のシーケンス切換時間を設定します。*2
電源投入時（カメラ） ビューアー機能時のみ	1画面 1～16 シーケンス 4分割 1 4分割 2 4分割 3 4分割 4 4分割 SEQ 9分割 1 9分割 2 10分割 1 10分割 2 16分割	1画面 1～9 シーケンス 4分割 1 4分割 2 4分割 SEQ 9分割 10分割	電源投入後、初めてカメラモードになったとき、ここで設定された画面がモニターテレビに表示されます。設定内容は以下のとおりです。 1画面 1～16（9）：1画面で表示するカメラ番号を指定 4分割 1　：グループ1を 4分割表示 4分割 2　：グループ2を 4分割表示 4分割 3　：グループ3を 4分割表示 4分割 4　：グループ4を 4分割表示 4分割 SEQ　：4分割シーケンス 9分割 1　：グループ1を 9分割表示 9分割 2　：グループ2を 9分割表示 10分割 1　：グループ1を 10分割表示 10分割 2　：グループ2を 10分割表示 16分割　：カメラ 1～16を 16分割表示
電源投入時（VTR） スイッチャー機能時のみ	1画面 1～16 4分割 1 4分割 2 4分割 3 4分割 4 9分割 1 9分割 2 16分割	1画面 1～9 4分割 1 4分割 2 9分割	電源投入後、初めてVTRモードになったとき、ここで設定された画面がモニターテレビに表示されます。設定内容は以下のとおりです。 1画面 1～16（9）：1画面で表示するカメラ番号を指定 4分割 1　：グループ1を 4分割表示 4分割 2　：グループ2を 4分割表示 4分割 3　：グループ3を 4分割表示 4分割 4　：グループ4を 4分割表示 9分割 1　：グループ1を 9分割表示 9分割 2　：グループ2を 9分割表示 16分割　：カメラ 1～16を 16分割表示

*1 次のキーで数値を入力することもできます。
C-MS161Sのとき：カメラ選択キー1～10（10は、数値0の入力用）
C-MS91Sのとき　：カメラ選択キー1～9、スポット選択キー（数値0の入力用）

*2 「00」に設定すると、リモート入出力端子のシーケンス切換入力端子の信号でシーケンス切り換えをします。

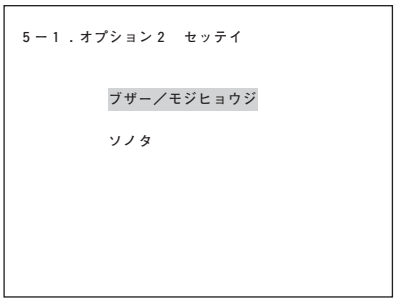
設定項目（カタカナ表示）	選択内容（カタカナ表示）	内　　容
録画パターン選択 スイッチャー機能時のみ	1 ／ 2 または（1）／（2）	• トータルメニュー「6.リモート設定」の「録画パターン操作」が「内部」に設定されているとき 録画パターン1か録画パターン2を選択します。（「1」または「2」を表示） • トータルメニュー「6.リモート設定」の「録画パターン操作」が「リモート」または「RS232C」に設定されているとき 録画パターン1か録画パターン2の内、外部から選択されている方を表示します。（「（1）」または「（2）」を表示。カーソルはこの項目へは移動せず、この画面で録画パターン選択はできません。） ※ 録画パターン1、2の内容は、トータルメニュー「9.録画パターン」で設定されます。 （☞ P. 40「リモート設定」、P. 42「録画パターン設定」）
動き検出パターン選択 スイッチャー機能時のみ	1 ／ 2 または（1）／（2）	• トータルメニュー「6.リモート設定」の「動き検出パターン操作」が「内部」に設定されているとき 動き検出パターン1か動き検出パターン2を選択します。（「1」または「2」を表示） • トータルメニュー「6.リモート設定」の「動き検出パターン操作」が「リモート」または「RS232C」に設定されているとき 録画パターン1か録画パターン2の内、外部から選択されている方を表示します。（このときは「（1）」または「（2）」を表示。カーソルはこの項目へは移動せず、この画面で動き検出パターン選択はできません。） ※ 動き検出パターン1、2の内容は、トータルメニュー「10.動き検出パターン」で設定されます。 （☞ P. 40「リモート設定」、P. 42「録画パターン設定」）

※下線部は工場出荷時の設定です。

■ オプション2設定　トータルメニュー

ブザー、文字表示設定またはその他の設定を選択します。
トータルメニュー画面で「5.オプション2」を選択すると下図の画面が表示されます。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで設定画面を選択します。
- メニューキーを押すと、トータルメニュー画面に戻ります。

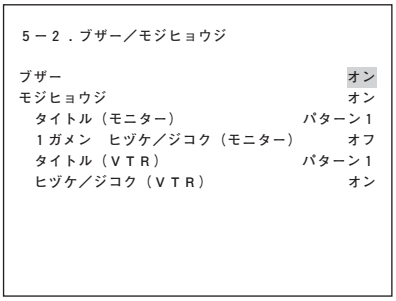


■ ブザー／文字表示設定　トータルメニュー

アラーム時のブザーの設定と、モニターテレビまたは録画映像への文字表示の設定をします。
オプション2設定画面で「ブザー／モジヒョウジ」を選択すると下図の画面が表示されます。

※「モジヒョウジ」の下の4項目は「モジヒョウジ」が「オン」のときのみ表示されます。
※ ビューアー機能時 は「タイトル（VTR)」、「ヒヅケ／ジコク（VTR)」の項目は表示されません。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、オプション2設定画面に戻ります。
- 各設定項目と選択内容およびそれぞれの内容は以下のとおりです。



設定項目（カタカナ表示）	設定内容（カタカナ表示）	内　　容
ブザー	オン／オフ	センサーアラーム、動き検出アラーム、VTR再生アラーム動作時にブザーを鳴らすときは「オン」にします。
文字表示	オン／オフ	文字表示をオフにするとモニターテレビ、VTRへの録画映像への文字表示をしません。「アラーム」、「ビデオロスト」、「静止」などの文字表示もされません。
タイトル（モニター）	スイッチャー機能時 パターン1／オフ ビューアー機能時 パターン1／パターン2／オフ	モニターテレビの画面の表示内容を決めます。 パターン1：カメラ番号（9分割表示時、16分割表示時、10分割表示時の下領域）とカメラタイトル（1画面表示時、4分割表示時、10分割表示時の上2画面）を表示 パターン2：カメラタイトル（1画面表示時、4分割表示時、10分割表示時の上2画面）のみ表示 オフ　：表示しない
1画面　日付／時刻（モニター）	オン／オフ	モニターテレビに1画面で表示中に常時、画面中に日付・時刻を表示させるときは「オン」にします。
タイトル（VTR） スイッチャー機能時のみ	パターン1／パターン2／オフ	VTRへ録画する映像の表示内容を決めます。 パターン1：タイトルおよびアラーム関連の表示* パターン2：タイトルを表示（アラーム関連の表示はせず） オフ　：表示しない
日付／時刻（VTR） スイッチャー機能時のみ	オン／オフ	VTR へ録画する画面に日付・時刻を表示するときは「オン」にします。

* アラーム設定のアラーム機能を「LAST」に設定していると、アラームの表示は録画されません。

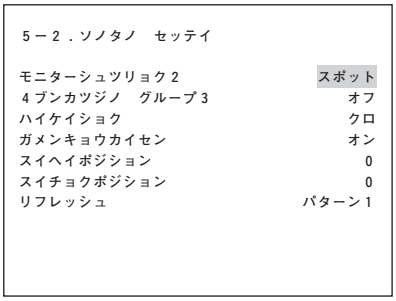
※下線部は工場出荷時の設定です。

■ その他の設定　トータルメニュー

モニター出力２の設定、背景色の設定などを行います。
オプション２設定画面で「ソノタ」を選択すると下図の画面が表示されます。

※「4 ブンカツジノ　グループ 3」の項目は C-MS91S のときのみ表示されます。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、オプション２設定画面に戻ります。
- 各設定項目と選択内容およびそれぞれの内容は以下のとおりです。

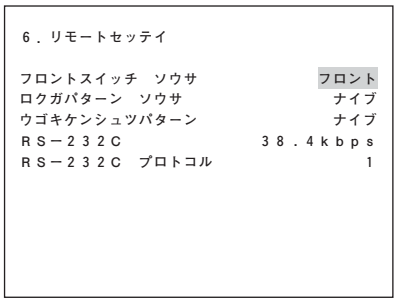


設定項目（カタカナ表示）	設定内容（カタカナ表示）	内　　容
モニター出力2	スポット／出力1	モニター出力2の映像を設定します。 スポット： モニター出力１の映像とは別のカメラの映像を１画面表示します。 モニター出力２の映像はカメラの１画面表示あるいはシーケンス表示をすることができます。 出力１　： モニター出力１とモニター出力２には同じ映像が出力されます。
4分割時のグループ3	オン／オフ	C-MS91Sのみの設定項目です。 4分割表示あるいは4分割シーケンス表示したときにグループ3の表示をするときは「オン」に設定します。 オン： 4分割表示、4分割シーケンス表示のときのグループは次のようになります。 グループ1（出荷時：カメラ1～4）→ グループ2（出荷時：カメラ5～8）→ グループ3（出荷時：カメラ9）→ グループ1 オフ： 4分割表示、4分割シーケンス表示のときのグループは次のようになります。 グループ1（出荷時：カメラ1～4）→ グループ2（出荷時：カメラ5～8）→ グループ1
背景色	黒／青	接続されていないカメラあるいは録画されていないカメラを選択したときに、画面に背景色を表示します。 この設定では、背景色が黒か青かを選択します。
画面境界線	オン／オフ	多画面表示をしたときの境界線を設定します。 オン： 境界線を灰色で表示します。 オフ： 境界線表示をしません。
水平ポジション	-7 ～+7　(0)	多画面表示の水平位置を調節します。 モニターテレビによっては多画面表示がモニターテレビの中央に表示されない場合があります。選択キーで水平位置を調節してください。
垂直ポジション	-7 ～+7　(0)	多画面表示の垂直位置を調節します。 モニターテレビによっては多画面表示がモニターテレビの中央に表示されない場合があります。選択キーで垂直位置を調節してください。
リフレッシュ	パターン1／パターン2	通常は「パターン1」を選択します。 画像が乱れるとき、「パターン2」にすると改善されることがあります。

※下線部は工場出荷時の設定です。

■ リモート設定　トータルメニュー

リモート機能に関する設定をします。
トータルメニュー画面で「6.リモートセッテイ」を選択すると下図の画面が表示されます。



※ ビューアー機能時 は「ロクガパターン　ソウサ」、「ウゴキケンシュツパターン」の項目は表示されません。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、トータルメニュー画面に戻ります。
- 各設定項目と選択内容およびそれぞれの内容は以下のとおりです。

設定項目（カタカナ表示）	設定内容（カタカナ表示）	内　　容
フロントスイッチ操作	フロント／外部	カメラ／VTRモード選択スイッチおよびVTR選択スイッチの操作を本機で行うか、外部で操作するかを選択します。（☞ P. 71「リモート機能」） フロント：カメラ／VTRモード選択スイッチおよびVTR選択スイッチの操作を本機前面のスイッチで行う。 外　部　：カメラ／VTRモード選択スイッチおよびVTR選択スイッチの操作を外部で操作する。 ※ カメラ／VTRモード選択スイッチおよびVTR選択スイッチ以外のキーのリモート操作は、常に有効です。
録画パターン操作 スイッチャー機能時のみ	内部／リモート／RS232C	トータルメニュー「9.録画パターン」で設定する録画パターン1、2の選択をメニュー画面内で設定するか、外部からリモートするか、RS-232Cで制御するかを選択します。（☞ P. 82「録画パターン機能」） 内　部　：トータルメニュー「4.オプション1」の「録画パターン選択」で録画パターン1、2を選択します。 リモート：録画パターン1、2の選択を外部からリモートで選択します。（☞ P. 77「録画パターン選択入力端子」） RS232C：録画パターン1、2の選択を外部からRS-232Cで制御します。
動き検出パターン操作 スイッチャー機能時のみ	内部／リモート／RS232C	トータルメニュー「10.動き検出パターン」で設定する動き検出パターン1、2の選択をメニュー画面内で設定するか、外部からリモートするか、RS-232Cで制御するかを選択します。（☞ P. 81「動き検出パターン機能」） 内　部　：トータルメニュー「4.オプション1」の「動き検出パターン選択」で動き検出パターン1、2を選択します。 リモート：動き検出パターン1、2の選択を外部からリモートで選択します。（☞ P. 77「動き検出パターン選択入力端子」） RS232C：動き検出パターン1、2の選択を外部からRS-232C で制御します。
RS-232C	2.4 kbps 4.8 kbps 9.6 kbps 19.2 kpbs 38.4 kpbs	後面の RS-232C の伝送速度を設定します。 RS-232C の以下の値は固定で変更できません。 パリティ　：　偶数 ストップビット：　1ビット データビット長：　8ビット
RS-232C プロトコル	1／2	1：パソコンからRS-232Cで制御するときに設定します。 2：専用リモコンC-RM100をRS-232C端子に接続したときに設定します。

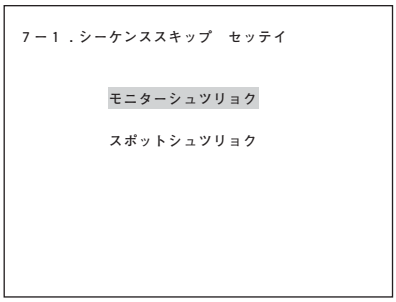
※下線部は工場出荷時の設定です。

■ シーケンススキップ設定

トータルメニュー

シーケンススキップの設定をモニター出力について行うのか、スポット出力について行うのか、選択します。
トータルメニュー画面で「7.シーケンススキップ」を選択すると下図の画面が表示されます。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで設定項目を選択します。
- メニューキーを押すと、トータルメニュー画面に戻ります。

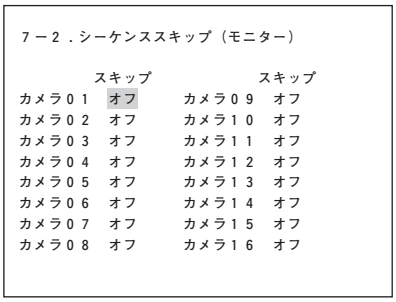


■ モニター出力シーケンススキップ設定

トータルメニュー

モニター出力についてシーケンススキップの設定をします。
シーケンススキップ設定画面で「モニターシュツリョク」を選択すると下図の画面が表示されます。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、シーケンススキップ設定画面に戻ります。
- 1画面シーケンス表示では、接続されていないカメラは自動的に飛び越します。接続されているカメラをモニター出力で強制的に飛び越しするときに「オン」に設定します。(工場出荷時の設定は「オフ」)

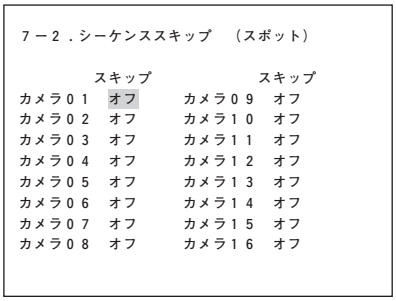


■ スポット出力シーケンススキップ設定

トータルメニュー

スポット出力についてシーケンススキップの設定をします。
シーケンススキップ設定画面で「スポットシュツリョク」を選択すると下図の画面が表示されます。

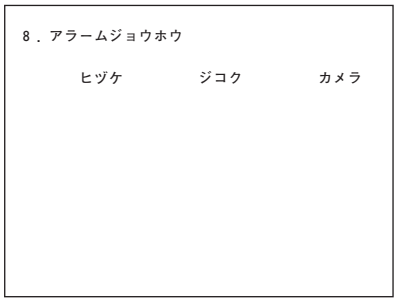
- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、シーケンススキップ設定画面に戻ります。
- 1画面シーケンス表示では、接続されていないカメラは自動的に飛び越します。接続されているカメラをスポット出力で強制的に飛び越しするときに「オン」に設定します。(工場出荷時の設定は「オフ」)



■ アラーム情報　トータルメニュー

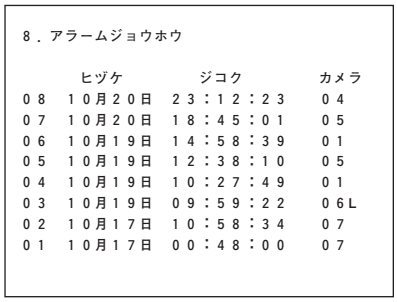
センサーアラーム、動き検出アラーム、およびビデオロストアラームが発生したときのカメラ番号、日付、および時刻を最大64件記憶し、アラーム情報画面で見ることができます。
ユーザーメニュー画面で「3. アラームジョウホウ」を選択すると下図の画面が表示されます。

初期画面（アラーム情報がないとき）



アラーム発生

アラーム情報画面（例）



- 1度に表示できる件数は8件で、古い順に番号が付けられています。最初に表示されるのは、最新の8件分の情報です。（上図右）

  メ　モ　センサーアラームと動き検出アラームをアラーム情報画面で見分けることはできません。
- ビデオロストアラームの発生したカメラは、カメラ番号の右側に「L」が表示されます。センサーアラームまたは動き検出アラームの発生したカメラは、カメラ番号のみ表示されます。
- 65件以上のセンサーアラーム、動き検出アラーム、またはビデオロストアラームが発生した場合は、最も古いデータから消去されます。
- 表示されている情報より古い情報を見るときは下シフトキー（▼）を押します。表示されている情報より新しい情報を見るときは、上シフトキー（▲）を押します。
- メニューキーを押すと、ユーザーメニュー画面に戻ります。

（ ☞ P.69「アラーム情報画面の例」）

ご注意　アラーム解除キーを押すと、表示されている情報はすべて消去されます。

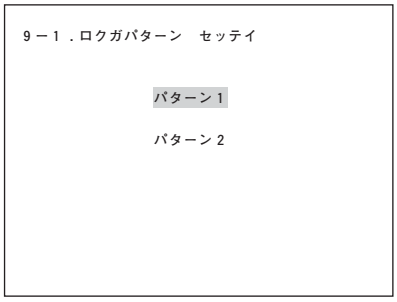
■ 録画パターン設定　トータルメニュー　スイッチャー機能時のみ

録画するカメラのパターンを2つ設定することができます。昼と夜、または休日と平日で録画する必要のあるカメラが異なるときなどに使用します。

● 録画パターン設定画面

設定する録画パターンを選択します。
トータルメニュー画面で「9. ロクガパターン」を選択すると下図の画面が表示されます。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで「パターン1」または「パターン2」を選択すると録画パターン設定画面の1または2が表示されます。
- メニューキーを押すと、トータルメニュー画面に戻ります。

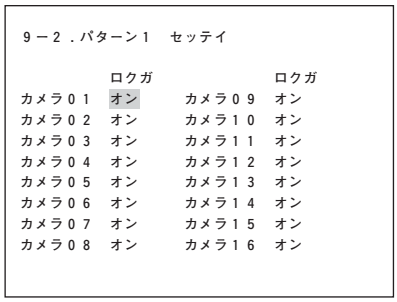


● 各録画パターン設定画面

各録画パターンを設定します。
録画パターン設定画面で「パターン1」または「パターン2」を選択すると下図の画面が表示されます。

※C-MS91Sでは、カメラ10～16の選択項目は表示されません。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで録画するカメラは「オン」に、録画しないカメラは「オフ」に設定します。(工場出荷時は「パターン1」「パターン2」ともすべて「オン」)
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、録画パターン設定画面に戻ります。



■ 動き検出パターン設定

トータルメニュー

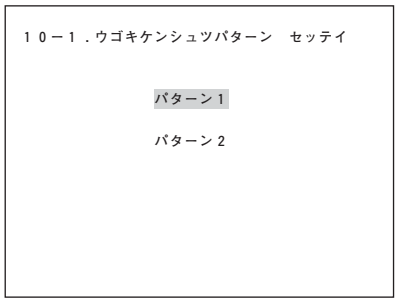
スイッチャー機能時のみ

動きを検出するカメラのパターンを2つ設定することができます。昼と夜、あるいは休日と平日で録画する必要のあるカメラが異なるときなどに使用します。

● 動き検出パターン設定画面

設定する動き検出パターンを選択します。
トータルメニュー画面で「10. ウゴキケンシュツ」を選択すると下図の画面が表示されます。

- シフトキーで設定項目へカーソルを移動し、選択キーで「パターン1」または「パターン2」を選択すると動き検出パターンカメラ設定画面の1または2が表示されます。
- メニューキーを押すと、トータルメニュー画面に戻ります。

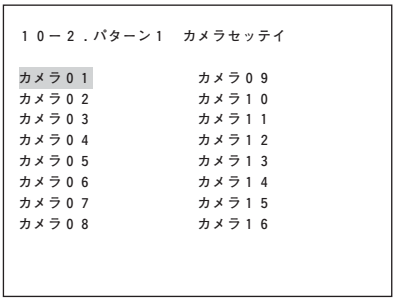


● 動き検出パターンカメラ設定画面

動き検出パターンを設定するカメラを選択します。
動き検出パターン設定画面で「パターン1」または「パターン2」を選択すると下図の画面が表示されます。

※C-MS91Sでは、カメラ10～16の選択項目は表示されません。

- シフトキーでカーソルを移動し、選択キーで設定するカメラを選択すると、選択したカメラの動き検出パターン1または2の設定画面が表示されます。
- メニューキーを押すと、動き検出パターン設定画面に戻ります。

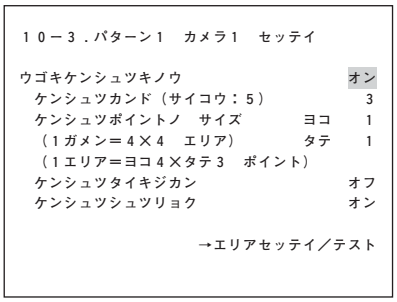


● 動き検出パターン（各カメラ）設定画面

選択したカメラの動き検出パターンを設定します。
動き検出パターンカメラ設定画面でカメラを選択すると各カメラの設定画面が表示されます。

※「ウゴキケンシュツキノウ」を「オフ」にしたときは、他の設定項目は表示されません。

- シフトキーでカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。「エリアセッテイ／テスト」を選択すると、エリア設定／テスト画面が表示されます。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、動き検出パターン設定画面に戻ります。
- 各設定項目と選択内容およびそれぞれの内容は以下のとおりです。

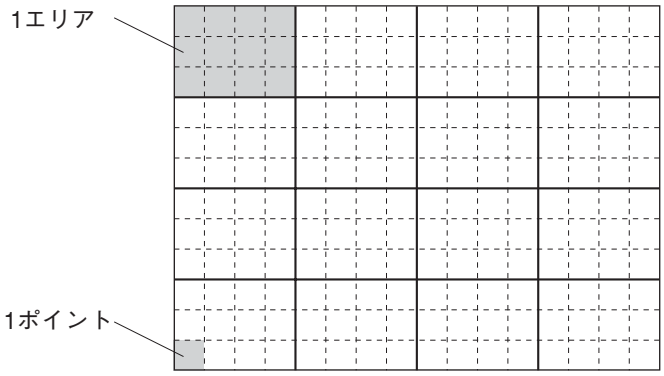


設定項目（カタカナ表示）	設定内容（カタカナ表示）	内　　容
動き検出機能	オン／アラーム（OR）／ アラーム（AND）／<u>オフ</u>	動き検出信号を使うかどうか、また使う場合はモーション動作をするか、アラーム動作をするかを設定します。 （ ☞ P. 78「動き検出機能」） オン　：動き検出信号が入力されると、録画頻度を上げます。（アラームとして動作しません。） アラーム（OR）　：動き検出アラームかセンサーアラームのどちらか一方が入力されるとアラーム動作をします。（録画頻度は変わりません。） アラーム（AND）：動き検出アラームとセンサーアラームがともに入力されるとアラーム動作をします。（録画頻度は変わりません。） オフ　：動き検出機能を使いません。
検出感度（最高：5）	1～5（<u>3</u>）	検出感度を設定します。数字が大きくなるほど感度が高くなります。（ ☞ P. 79「検出感度」）
検出ポイントのサイズ （1画面＝4×4　エリア） （1エリア＝横4×縦3 ポイント）	横　<u>1</u>～16	検出ポイントの横のサイズを設定します。フル画面の横の長さを16とします。（ ☞ P. 79「検出サイズ」）
	縦　<u>1</u>～12	検出ポイントの縦のサイズを設定します。フル画面の縦の長さを12とします。（ ☞ P. 79「検出サイズ」）
検出待機時間	<u>オフ</u>／0.5SEC／1SEC／2SEC／3SEC／5SEC	動きを検知した後、次に動き検出処理を行うまでの時間を設定します。（ ☞ P. 79「検出待機時間」）
検出出力	<u>オン</u>／オフ	検出出力を設定します。

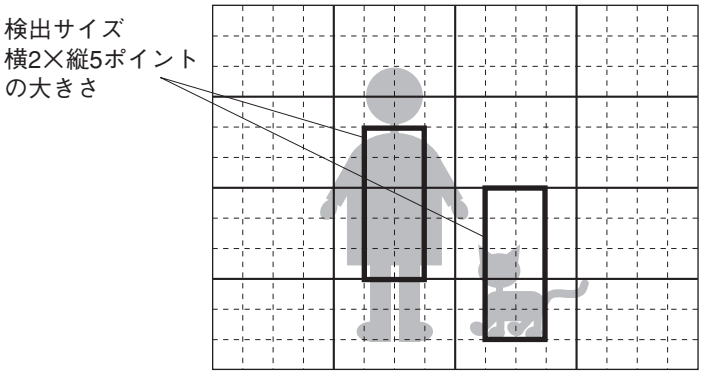
※下線部は工場出荷時の設定です。

［動き検出サイズを設定する］

- 動き検出サイズを設定すると、設定よりも大きいサイズで動きがあったときには検出しますが、それよりも小さいサイズで動きがあっても検出しません。
- 1画面全体のサイズを横16×縦12に分割（192ポイント）しています。このマス目は画面には表れません。「エリア設定／テスト画面」の1エリアのサイズは、横4×縦3ポイントに相当します。

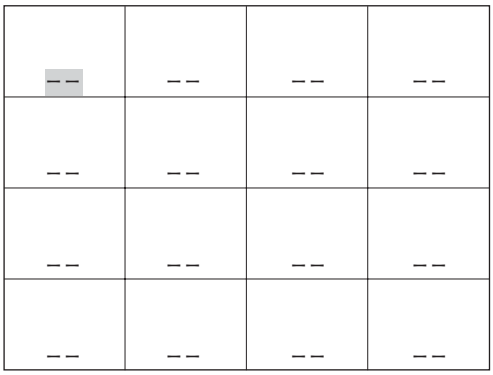


- 例えば、人は検出したいが猫は検出したくない場合に、猫の大きさより大きく、人の大きさより小さいサイズに設定します。右図の例で検出サイズを横2×縦5ポイントに設定すると、人の動きは検出し、猫の動きは検出しません。



● エリア設定／テスト画面

- 動き検出パターン設定画面で「エリアセッテイ／テスト」を選択すると右図の画面が表示されます。
- シフトキーでカーソルを移動し、選択キーで内容を選択します。（選択キーを押すごとに「オン」と「オフ」（ーー）を切り換えられます。）工場出荷時はすべて「オフ」（ーー）に設定されています。
- メニューキーを押すと設定した内容を記憶し、動き検出パターン（各カメラ）設定画面に戻ります。

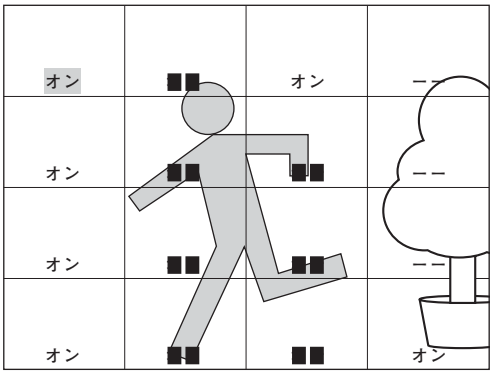


［動き検出エリアを設定する］

- 動きを検出するエリアは「オン」、しないエリアは「オフ」（ーー）に設定します。例えば、監視映像内の絶え間なく動いている部分（風で揺れる木々など）を動き検出エリアから外したい場合には、該当するエリアを「オフ」に設定します。

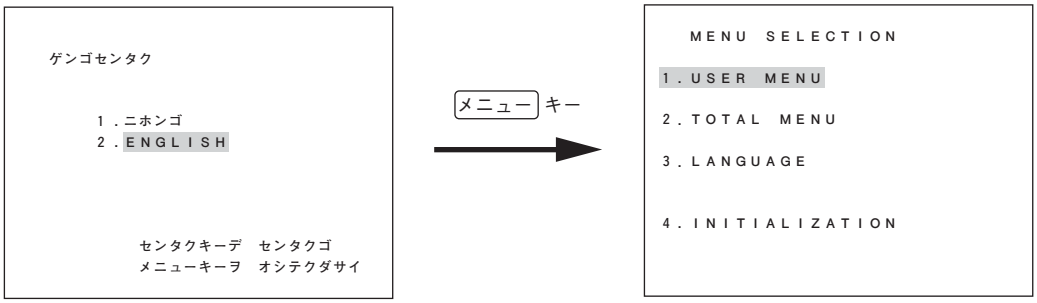
［動き検出機能のテストをする］

- 実際にカメラの前で人が動くなどして、検知したいものだけを意図どおり検知できるかどうかをテストします。
- 動きを検出すると、右図のように「■」の表示が点灯します。
- 意図どおりに動きを検知しないときは、検出感度、検出ポイントのサイズ、検出待機時間、検出エリアの設定を変更して、再度テストしてください。



表示言語を変える

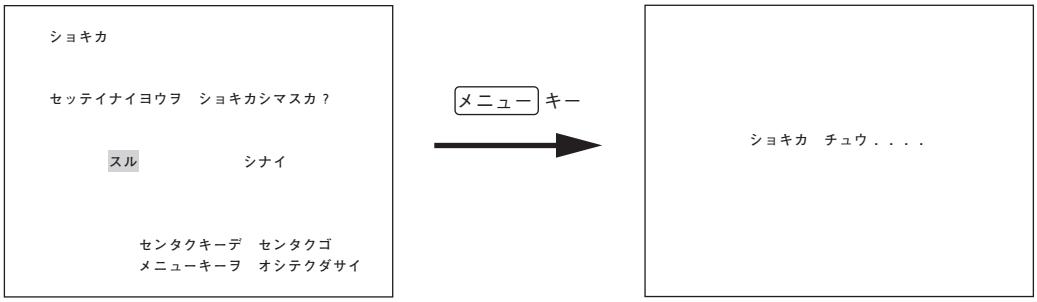
メニュー画面の表示言語を切り換えることができます。メニュー初期画面で「3. ゲンゴセンタク」を選択すると下図左の言語選択画面が表示されます。



- 選択キーで設定内容を選択し、メニューキーを押すと、選択した言語（日本語または英語）のメニュー初期画面に切り換わります。
- 「ENGLISH」を選択すると、英語のメニュー初期画面（上図右）に切り換わり、すべてのメニュー画面、設定画面を英語で表示します。

設定内容を初期化する

メニュー画面での設定内容を消去し、すべて工場出荷時の状態に戻すことができます。
メニュー初期画面で「4. ショキカ」を選択すると下図左の初期化画面が表示されます。



- 選択キーで設定内容を選択します。
- 「スル」を選択しメニューキーを押すと、上図右の初期化中画面が表示され、設定データがすべて初期化された後、メニュー初期画面に戻ります。
- 「シナイ」を選択しメニューキーを押すと、初期化されず、メニュー初期画面に戻ります。

ご注意　日付・時刻、言語、および機器タイプの設定は初期化されません。

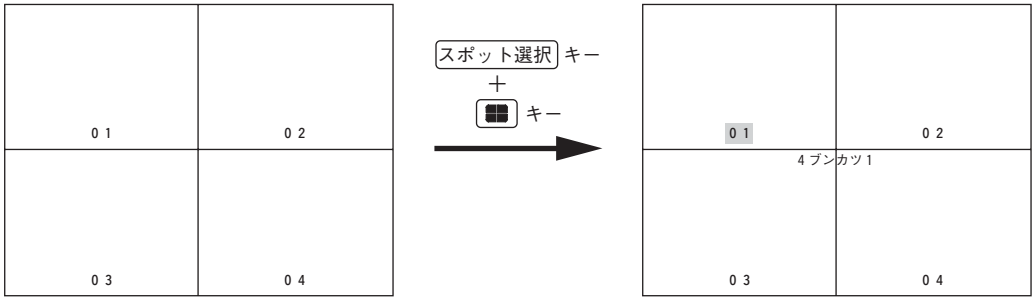
多画面表示時のカメラ配置を変える

ビューアー機能時のみ

カメラモードの16分割（C-MS161Sのみ）、10分割、9分割、4分割画面時に、表示するカメラを任意に選択し、多画面内のカメラ配置を変えることができます。

1 スポット選択キーを押しながら4分割表示キー（ ）を押す。

- スポット選択キーが点灯し、4分割表示キーまたは多画面表示キーが点滅します。
- 画面上にカメラ番号が表示され、カーソル位置が点滅します。

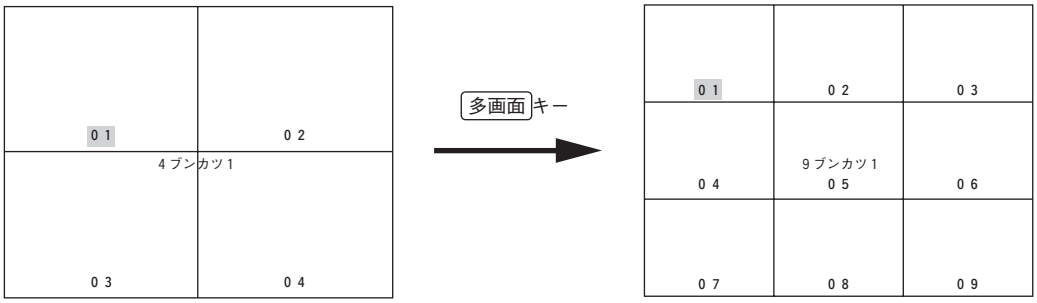


※ 図の中の　　部はカーソルです。文字が点滅表示します。
※ 図はC-MS161Sの例です。

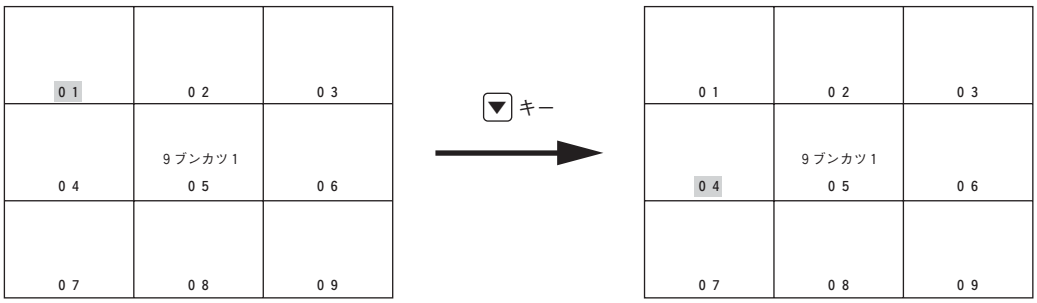
2 4分割表示キー（ ）、多画面表示キー、またはグループ選択キー*を押して、カメラ配置を変えたい多画面（グループ）を表示させる。

* C-MS161Sのみ

※ 任意の分割画面（グループ）を表示させる方法は、通常画面での操作と同様です。（☞P. 54）

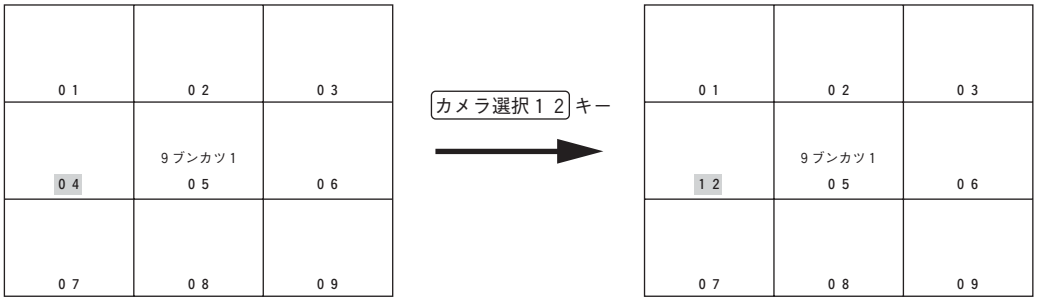


3 左右上下シフトキー（◄►▲▼）で、変更したい分割画面の位置にカーソルを移動させる。



4 配置したいカメラ番号のカメラ選択キーを押す。

カーソル位置の分割画面が、選択したカメラ番号の映像に変わります。



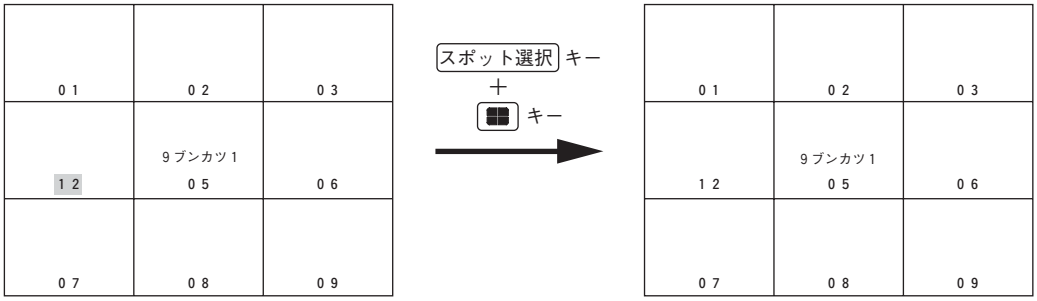
ご注意

- カーソル位置のカメラ番号と同じ番号のカメラ選択キーを押すと、未選択状態となり、その分割画面は背景色になると同時に、カメラ番号は「ーー」と表示されます。
- ビューアー機能時のカメラモードでは、同じカメラ映像を分割画面上に複数配置できます。しかし、この場合、分割画面の合計数（例：C-MS161Sの4分割表示では、グループ1～4までの合計16画面）が決まっているため、いくつかのカメラ映像を表示できないことがあります。

5 スポット選択キーを押しながら4分割表示キー（ ）を押す。（または無効なキー*を押す。）

スポット選択キーが消灯し、4分割表示キーまたは多画面表示キーが点灯に変わり、任意カメラ選択の画面から抜けることができます。（無効なキー操作で抜けた場合、抜けた後はそのキーに従った動作になります。）

* スポット選択キー、シーケンスキー、静止画キー、1画面表示キー、ズームキー、CHコール／時計表示確認キー、メニューキー、アラーム解除キー



設定中の割り込みについて

- 設定中もリモート操作による画面の切り換えが可能なため、突然画面が切り換わることがあります。
- 設定中にビデオロストが発生した場合は、ビデオロスト時の動作になりますが、設定は継続することができます。
- 設定中にアラームが入力された場合、アラーム保留されていなければ設定の操作はキャンセルされてアラーム動作になります。アラーム保留中であれば設定を継続できます。

VTRの設定のしかた

VTRが持つ「メニュー画面」の設定は次の方法で行ってください。

● VTRのメニュー画面を表示する

1 **本機にカメラ、モニターテレビ、およびVTRを接続する。**

2 **カメラ、モニターテレビ、およびVTRの電源を入れる。**

3 **本機のカメラ／VTRモード選択スイッチを「VTRモード」にする。**

4 **VTRメニュー／サーチキーを押す。**（ スイッチャー機能時のみ ）
モニターテレビにはVTRから出力された画面が表示されます。

※ VTRの取扱説明書を参照し、VTRのメニュー画面を設定します。

● VTRの表示文字を設定する

VTRが日付、時刻表示機能を持っている場合があります。
・ スイッチャー機能時 に本機の日付、時刻表示と重なる場合はVTRの日付、時刻表示を「オフ」にしてください。
・ ビューアー機能時 に日付、時刻を録画したい場合は、表示を「オン」にしてください。

● VTRのアラームを設定する

センサーアラーム機能または動き検出アラーム機能を使う場合は、VTRのアラーム設定を以下のように設定してください。

・VTR側のアラーム時間（DURATION、ALARM REC DURATIONなど）
「ALM接地」、「MAN2」、または「MANUAL」に設定します。
・VTR側のアラーム録画モード（SPEED、ALARM REC MODEなど）を設定します。

● VTR停止中のアラーム録画設定をする

VTRを2台使った連続録画をするときは、VTR停止中のアラーム録画起動をしないように設定してください。
・VTR停止中のアラーム録画（ALARM READY、エマージェンシー記録〈EMERGENCY REC〉など）
「NO」または「OFF」に設定します。

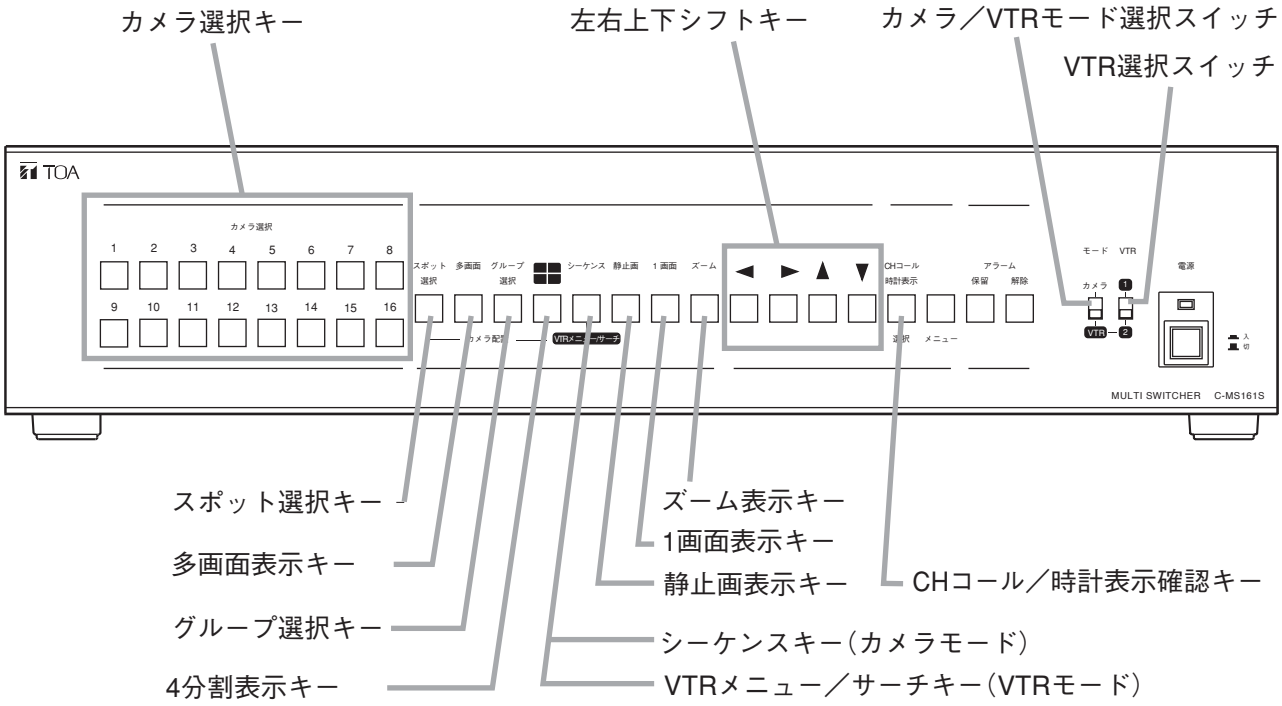
● その他

VTRの設定で疑似垂直同期信号の設定を持つ機種があります。録画再生時に映像が乱れるときは、以下の設定をしてください。
・疑似垂直同期信号（QUASI V-SYNC）
「OFF」に設定します。

基本的な操作モード

■ 操作に使用するキー

操作に使用するスイッチ、キーは下図のとおりです（図は、C-MS161Sの例です）。



■ カメラモードとVTRモード

● カメラ／VTRモードの切り換え

カメラの映像を監視するときは、カメラ／VTRモード選択スイッチを「カメラモード」にします。VTRで録画した映像を再生するときは、「VTRモード」にします。

● 画面表示切り換えの操作方法

・特に注記がないときは、「カメラモード」／「VTRモード」とも同じ操作をします。
・ カメラモードのとき 、 VTRモードのとき と注記がある項目では、それぞれのモードで操作方法が異なります。
・ カメラモードのときのみ 、 VTRモードのときのみ と注記がある項目は、そのモードでのみ操作できる機能です。

■ マルチスイッチャーの基本操作

● カメラの映像を監視する

カメラの映像を監視するときは、カメラ／VTR モード選択スイッチを「カメラモード」にします。

メ　モ

・スイッチャー機能時 は、選択したカメラの 1 画面表示と 1 画面表示を順次切り換えるシーケンス表示でカメラを監視します。
・ビューアー機能時 は、多画面（4 分割、9 分割、10 分割、16 分割*）表示では、映像は間欠表示となり、滑らかな動きにはなりません。

* C-MS161S のみ

● VTR で録画する

スイッチャー機能時

・VTR へ録画するときは、カメラ／VTR モード選択スイッチを「カメラモード」にします。「VTR モード」のときは、録画することはできません。
・VTR の録画ボタンを押すと録画が開始されます。

ご注意

VTR1 と VTR2 を同時に録画することはできません。

ビューアー機能時

・カメラ／VTR モード選択スイッチを「カメラモード」にします。「VTR モード」のときは、録画することはできません。
・VTR の録画ボタンを押すと録画が開始されます。

メ　モ

録画したテープを再生するときには、カメラの選択や多画面表示から 1 画面表示への切り換えなどはできません。

● 録画映像を再生する

・録画した映像を再生するときは、カメラ／VTR モード選択スイッチを「VTR モード」にします。
・VTR 選択スイッチで VTR1 または VTR2 を選択し、VTR の再生ボタンを押します。
・スイッチャー機能時 に早送り／巻き戻し再生映像を見るときは、本機の VTR メニュー／サーチキーを押しながら VTR の早送り／巻き戻しボタンを押します。

ご注意

VTR メニュー／サーチキーを押さずに早送り／巻き戻し再生をすると、画面が正常に更新されません。

画面表示の切り換え

スイッチャー機能時 はVTR映像を監視しているときのみ、画面表示を切り換えることができます。カメラ映像の多画面表示を切り換えることはできません。

ビューアー機能時 はカメラ映像を監視しているときのみ、画面表示を切り換えることができます。VTR映像はそのまま再生されます。

■1画面表示で映像を見る

スイッチャー機能時

●1画面表示

カメラ選択キー（1～16）を押すと、選択されたカメラの映像がモニターテレビに1画面表示されます。

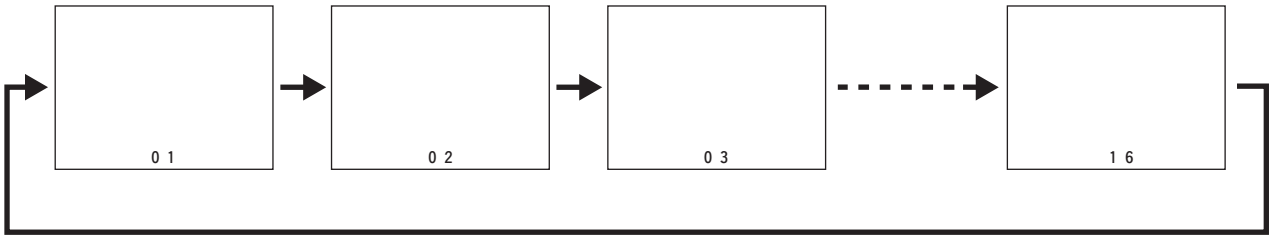
● シーケンス表示（ カメラモードのときのみ ）

1 シーケンスキーを押す。

下図のように映像が順次自動的に切り換わり表示されます。

ご注意

シーケンススキップ設定画面でスキップを「オン」に設定されたカメラの映像は表示されません。
（☞P. 41）



※ もう一度シーケンスキーを押すと、表示されている画面でシーケンス表示が止まります。
※ シーケンスの切り換え時間は、1～99秒の範囲で1秒ごとに設定できます。（☞P.36 オプション1設定画面の「シーケンス切換時間」）

2 カメラ選択キーを押す。

シーケンス表示を中止し、キーで指定した画面になります。

ビューアー機能時 （ **カメラモードのときのみ** ）

● 1 画面表示

カメラ選択キー（1 ～ 16）を押すと、選択されたカメラの映像がモニターテレビに 1 画面表示されます。

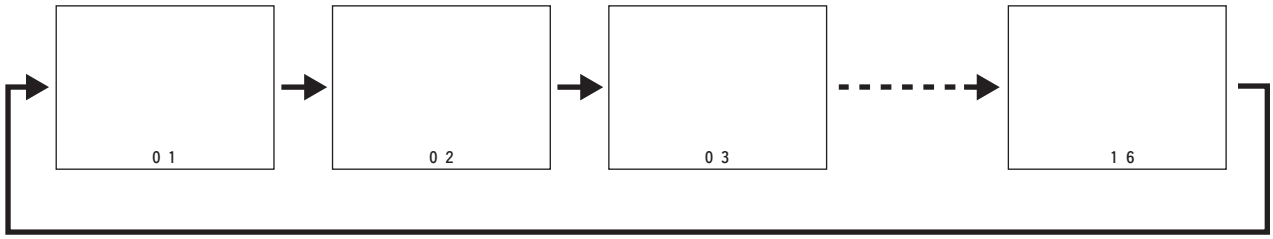
● シーケンス表示（1 画面表示のとき）

1 シーケンスキーを押す。

下図のように映像が順次自動的に切り換わり表示されます。

ご注意

シーケンススキップ設定画面でスキップを「オン」に設定されたカメラの映像は表示されません。
（ ☞ P. 41）



※ もう一度シーケンスキーを押すと、表示されている画面でシーケンス表示が止まります。
※ シーケンスの切り換え時間は、1 ～ 99 秒の範囲で 1 秒ごとに設定できます。（ ☞ P.36 オプション 1 設定画面の「シーケンス切換時間」）

2 シーケンスキー以外の任意のキー（4 分割表示キー ■ など）を押す。

シーケンス表示を中止し、キーで指定した画面になります。

※ シーケンス表示中に、静止画キーを押しても静止画表示にはなりません。

■ 4分割表示で映像を見る

● 4分割表示

スイッチャー機能時　（ **VTRモードのときのみ** ）

ビューアー機能時　（ **カメラモードのときのみ** ）

1 **4分割表示キー（ ⊞ ）を押す。**

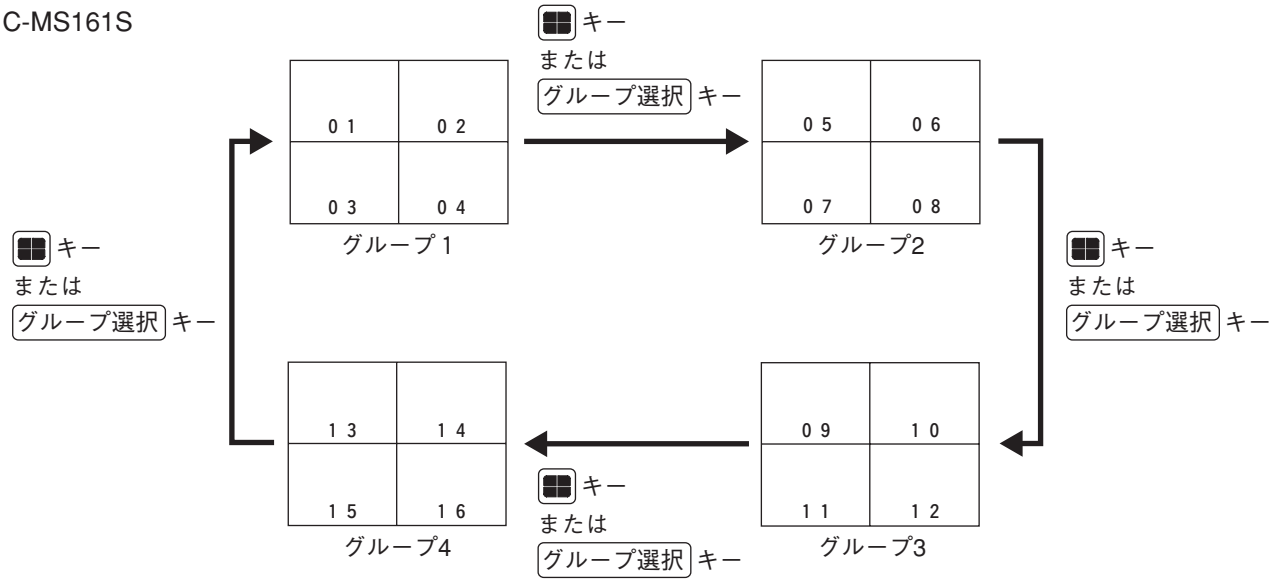
映像を4分割表示でモニターテレビに表示します。

2 **4分割表示キー（ ⊞ ）またはグループ選択キー*を押す。**

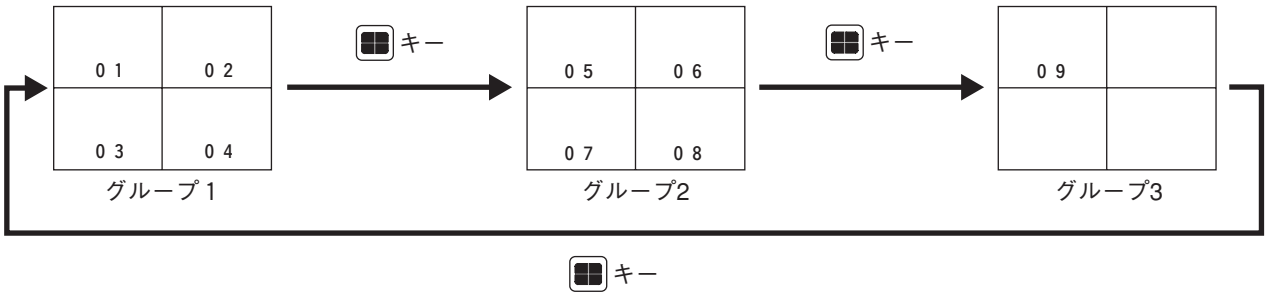
カメラ映像の4分割表示のグループが切り換わります。

* C-MS161Sのみ

C-MS161S



C-MS91S



● 4分割表示のシーケンス表示（多画面表示のとき）

ビューアー機能時のみ　（ **カメラモードのときのみ** ）

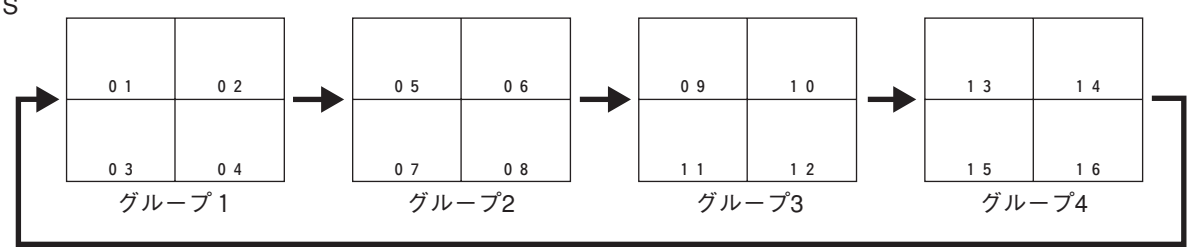
カメラモードで4分割、9分割、10分割、または16分割表示*のときに、4分割表示のシーケンス表示に切り換えることができます。

* C-MS161Sのみ

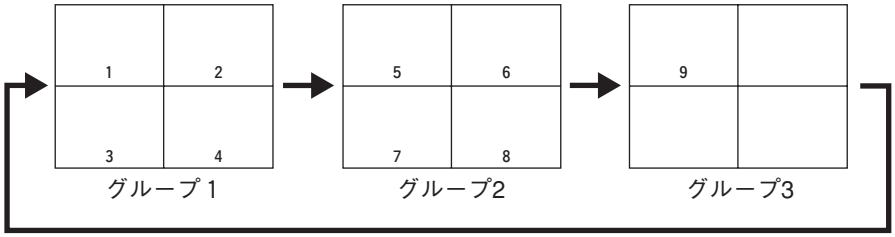
1 シーケンスキーを押す。

下図のように、4分割画面のグループの映像が順次自動的に切り換わり表示されます。

C-MS161S



C-MS91S



※ もう一度シーケンスキーを押すと、表示されている画面でシーケンス表示が止まります。
※ シーケンスの切り換え時間は、1～99秒の範囲で1秒ごとに設定できます。
（☞P.36 オプション1設定画面の「シーケンス切換時間」）
※ C-MS91Sのグループ3（出荷時はカメラ9）を表示する場合は、メニュー画面で設定します。
（☞P.39 その他の設定画面の「4分割時のグループ3」）

2 シーケンスキー以外の任意のキー（4分割表示キー ■ など）を押す。

シーケンス表示を中止し、キーで指定した画面になります。
※ シーケンス表示中に、静止画キーを押しても静止画表示にはなりません。

■ 多画面表示で映像を見る

スイッチャー機能時　（ **VTR モードのときのみ** ）

ビューアー機能時　（ **カメラモードのときのみ** ）

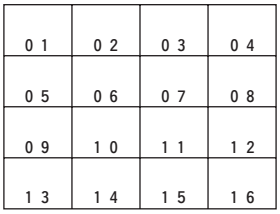
多画面表示キーを押すごとに多画面表示モード（16 *、10、9 分割表示）が切り換わります。

* C-MS161S のみ

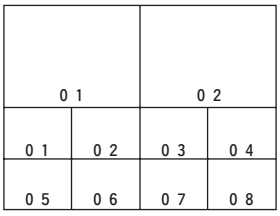
※ スイッチャー機能時 で VTR 再生しているとき（VTR モード）には、10 分割表示はできません。

※ C-MS161S で 10 分割または 9 分割表示を行っているときには、グループ選択キーを押すと表示されるカメラのグループを切り換えることができます。

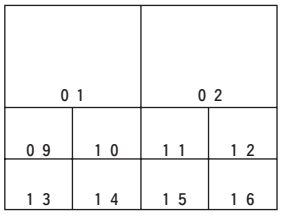
16分割表示
（C-MS161Sのみ）



10分割表示
（スイッチャー機能時のVTRモードでは表示されません。）

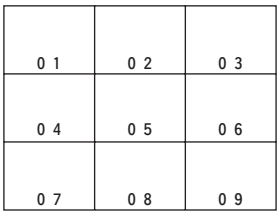


グループ1

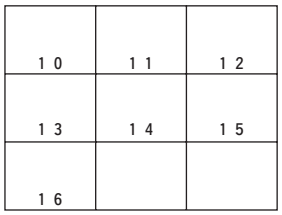


グループ2
（C-MS161Sのみ）

9分割表示



グループ1



グループ2
（C-MS161Sのみ）

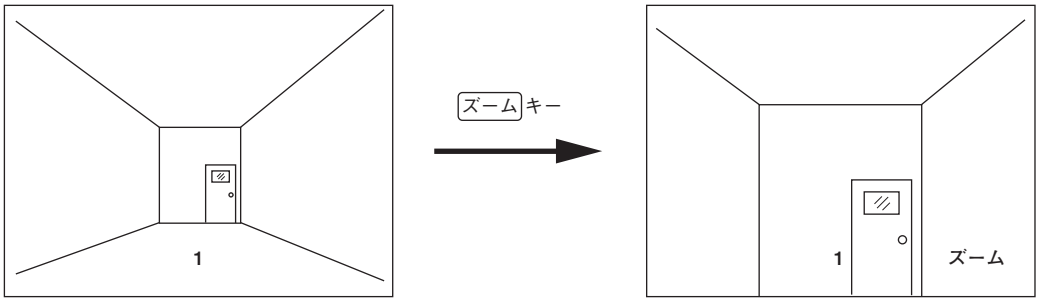
■ ズーム表示（電子ズーム）でカメラを見る

スイッチャー機能時　（ **VTR モードのときのみ** ）

ビューアー機能時　（ **カメラモードのときのみ** ）

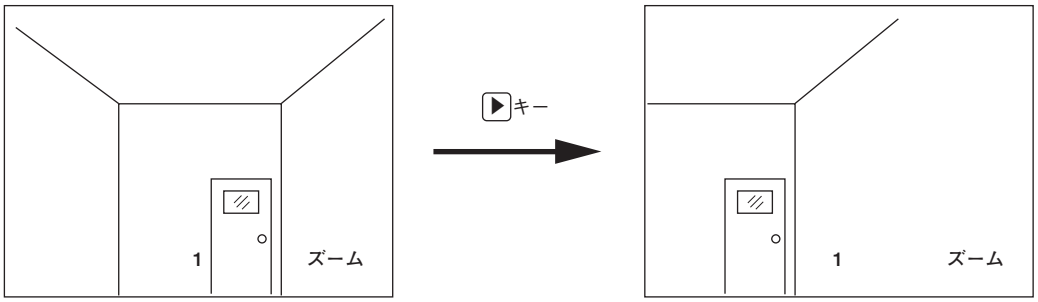
1 ズーム表示をするカメラをカメラ選択キーで選択し、ズーム表示キーを押す。

選択したカメラ映像の画面中央部が 2 倍のズームで表示されます。

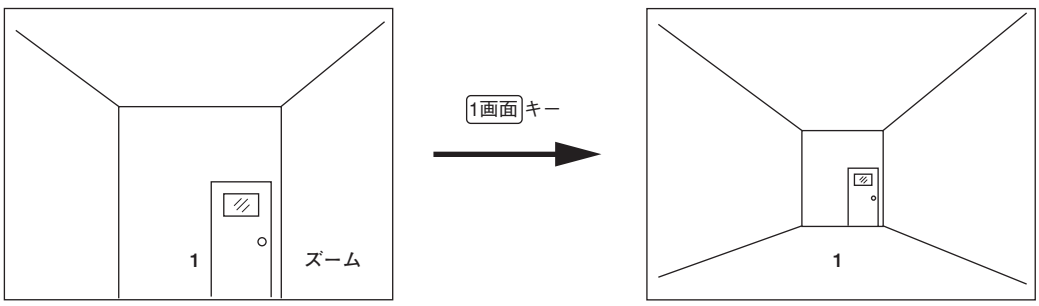


2 ズームポジションを移動させるときは、左右上下シフトキー（◄►▲▼）を押す。

- 左右シフトキーを同時に押すと、自動的にズームポジションを左右に移動（オートパン）します。
  左右上下シフトキー（◄►▲▼）のいずれかを押すと、オートパンは解除されます。
- 上下シフトキーを同時に押すと、自動的にズームポジションを上下に移動（オートチルト）します。
  左右上下シフトキー（◄►▲▼）のいずれかを押すと、オートチルトは解除されます。



3 ズームを解除するときは、1 画面表示キーを押す。

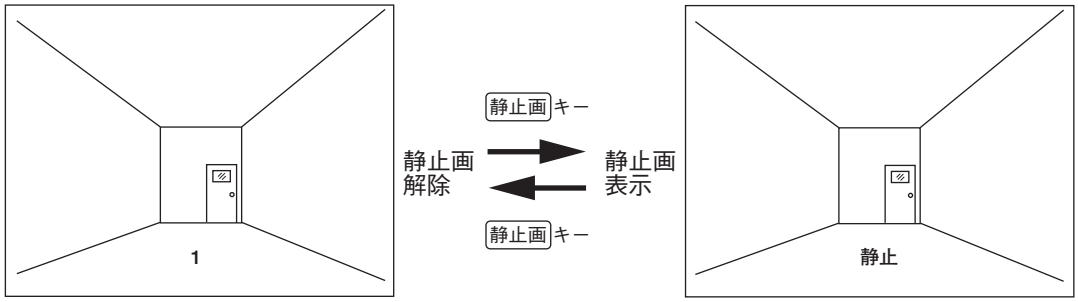


■ 1画面表示またはズーム表示で静止画表示をする

スイッチャー機能時　（ **VTRモードのときのみ** ）

ビューアー機能時　（ **カメラモードのときのみ** ）

- 1画面表示またはズーム表示中に静止画キーを押すと、静止画表示をします。
  静止画表示中はタイトルが「静止」の点滅表示に変わります。
- 静止画表示中に静止画キーを押すと、静止画を解除します。
  （1画面表示キー、ズーム表示キー、左右上下シフトキー（◄►▲▼）以外のキーを押した場合にも静止画を解除します。）
- 静止画表示中に1画面表示とズーム表示の切り換え、またはズームポジションの移動ができます。



■ 多画面表示で静止画表示をする

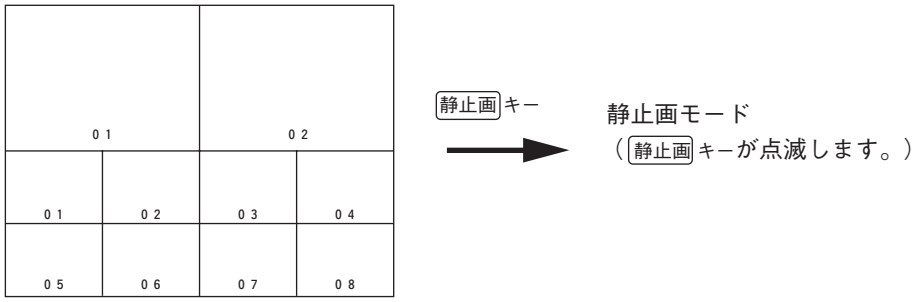
スイッチャー機能時　（ **VTRモードのときのみ** ）

ビューアー機能時　（ **カメラモードのときのみ** ）

1 多画面（16分割、10分割*、9分割、4分割）表示をしているときに、静止画キーを押す。

静止画キーが点滅して静止画モードになります。

* 10分割表示は ビューアー機能時 でカメラモードのときのみ



2 カメラ選択キーを押して静止させたいカメラを選択する。

静止画表示をしているカメラ映像のタイトルは「静止」または「F」の点滅表示に変わります。

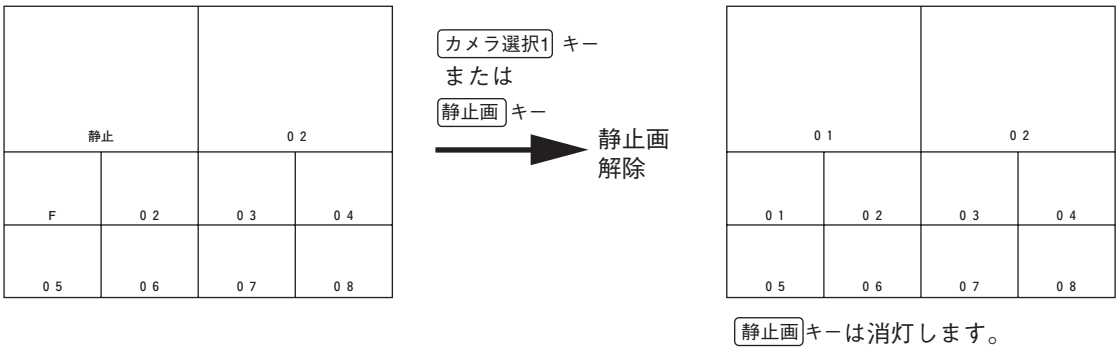
3 静止画を解除する。

3-1 **静止画表示中のカメラ選択キーを押す。**

静止画が解除されます。

3-2 **静止画キーを押す。**

すべてのカメラの静止画が解除されます。
（カメラ選択キー以外のキーを押した場合もすべての静止画が解除されます。）

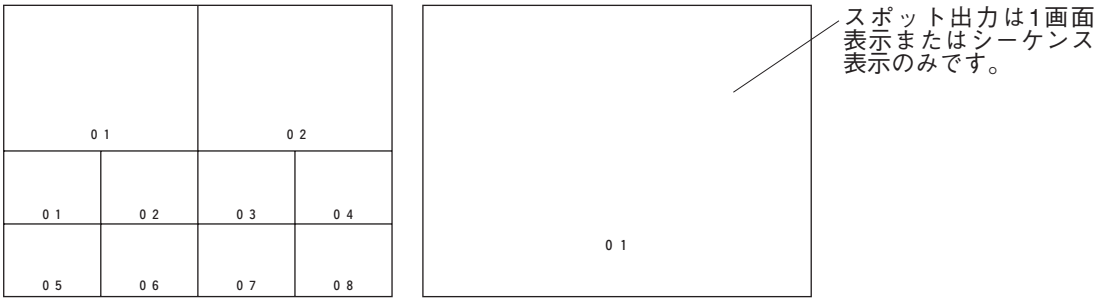


静止画キーは消灯します。

■ スポット出力の操作

● スポット出力の表示画面

・モニター出力2をスポット出力として設定しているときには、モニター出力1の映像とは別の1画面表示またはシーケンス表示を行うことができます。（ ☞ P. 39 その他の設定画面の「モニター出力2」）
・スポット出力のシーケンス切換時間はメニュー画面で設定します。（ ☞ P. 36 オプション1設定画面の「シーケンス切換時間（スポット出力）」）



モニター出力1　　モニター出力2（スポット出力）

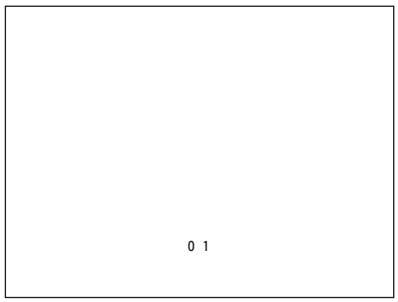
ご注意

スイッチャー機能時 には、モニター出力1は1画面またはシーケンス表示になります。

● スポット出力の切り換え

1 スポット出力の映像を切り換えるときは、スポット選択キーを押す。

スポット選択キーが点滅してスポット出力の選択が可能な状態となります。

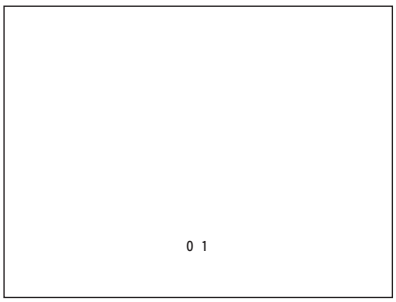


スポット選択 キー

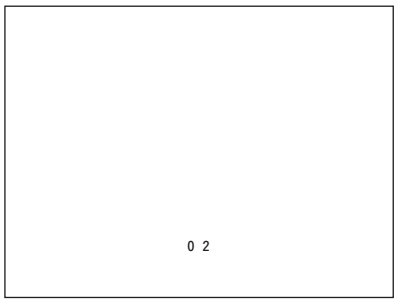
（ スポット選択 キーが点滅します。）

2 カメラ選択キーまたはシーケンスキーを押す。

スポット出力の画面が切り換わります。

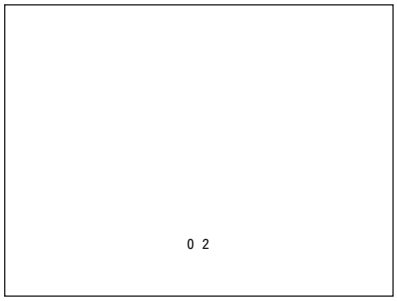


カメラ選択2 キー
または
シーケンス キー



3 スポット選択キーを押す。（またはシーケンスキー、カメラ選択キー以外のキーを押す。）

スポット選択キーは消灯し、モニター出力１の画面を選択できる状態に戻ります。（スポット選択キー以外のキー操作で抜けた場合、抜けた後はそのキーに従った動作になります。）



スポット選択 キー

（ スポット選択 キーが消灯します。）

■ カメラ番号、日付／時刻を表示する

ご注意

スポット出力には、カメラ番号、日付／時刻を表示することはできません。

カメラモードのとき

1 **カメラタイトルが表示されている画面で、CH コール／時計表示確認キーを押す。**

カメラタイトルがカメラ番号表示に変わります*。表示は 10 秒後にタイトル表示に戻ります。

* 16、9 分割表示でカメラ番号が表示されているときは、CH コール／時計表示確認キーを押しても表示は変わりません。

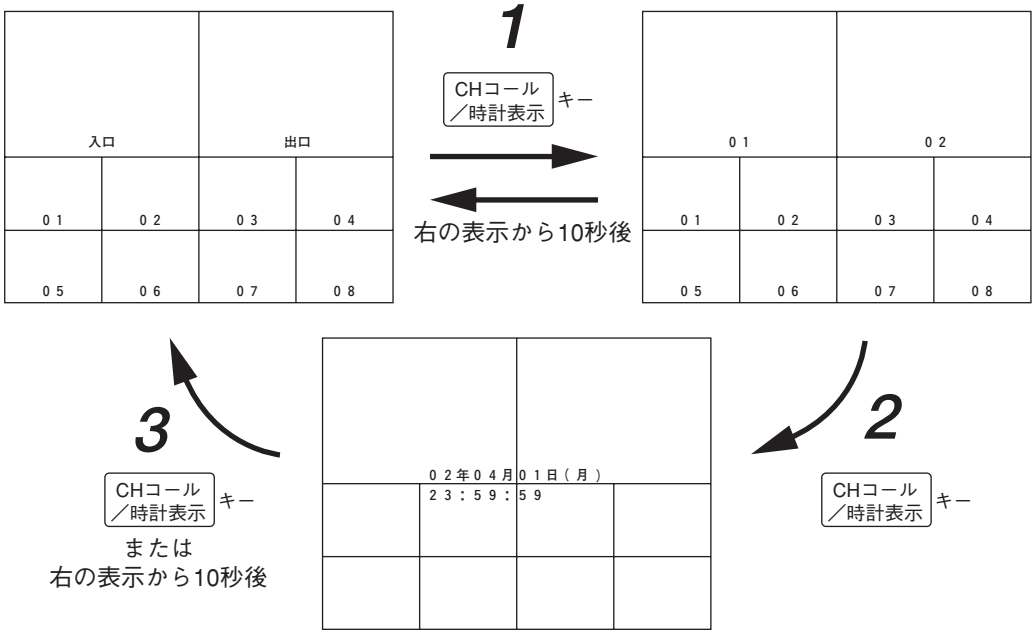
2 **カメラ番号が表示されている状態で、もう一度 CH コール／時計表示確認キーを押す。**

画面に日付、時刻が表示されます。

3 **日付、時刻が表示されている状態で、もう 1 度 CH コール／時計表示確認キーを押す。**

タイトル表示に戻ります。

（日付、時刻が表示されてから 10 秒間経過しても、タイトル表示に戻ります。）

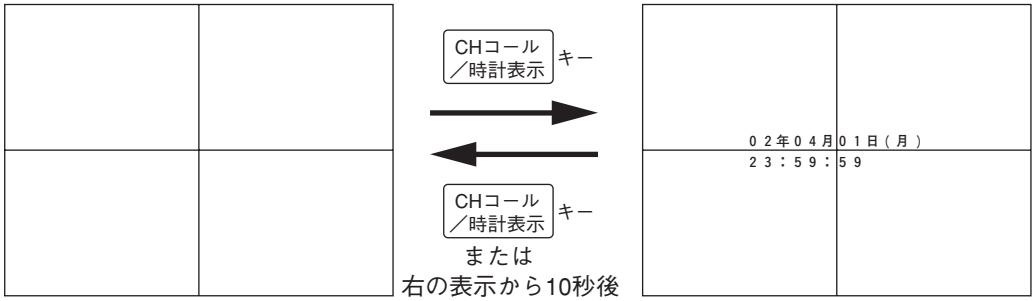


ご注意

スイッチャー機能時 は 1 画面表示になります。

VTR モードのとき

● VTR モード中に、CH コール／時計表示確認キーを押すと、日付・時刻が表示されます。
表示は 10 秒後に元の表示に戻ります。
（もう一度 CH コール／時計表示確認キーを押しても、元の表示に戻ります。）



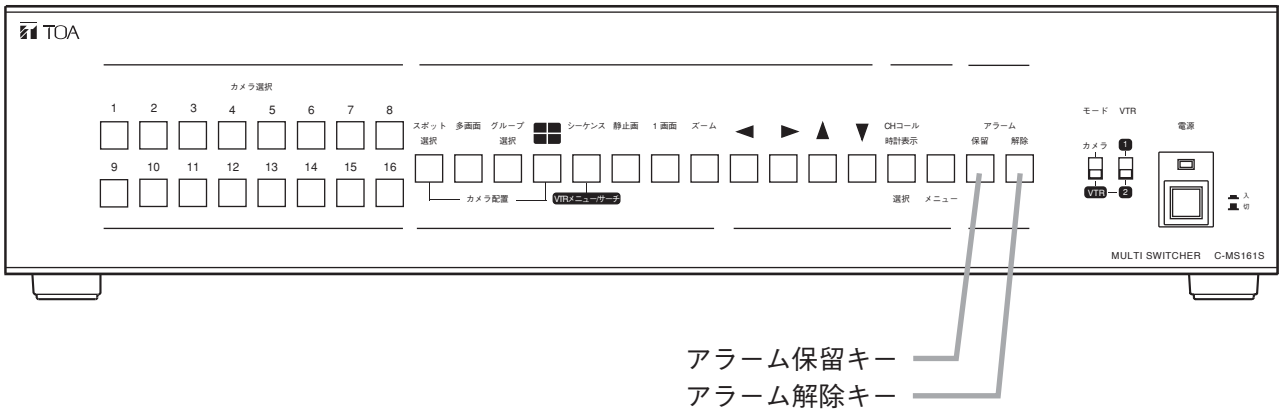
※ 実際の VTR 再生画面では、VTR に記録されたタイトルも画面に表示されます。

アラーム機能

■ センサーアラーム （ カメラモードのときのみ ）

● 操作に使用するキー

図は、C-MS161S の例です。



● センサーアラーム機能

本機には、各カメラに対して 1 系統のアラーム入力端子があります。ドアスイッチや赤外線センサーなどと接続し、センサーアラーム機能を動作させます。センサーアラーム状態になると、ブザー音とモニターテレビの画面で異常を知らせ、VTR をアラーム録画モードに切り換えて録画します。
また、いずれかの系統からアラーム入力があれば起動するアラーム出力端子もありますので、この出力端子を利用して警報時に外部のブザーを鳴らすこともできます。（ ☞ P. 70「アラーム入出力端子」）

ご注意

電源投入後、センサーアラーム機能の動作を開始するまでに約 15 秒かかります。

● センサーアラームの起動

各カメラに対応するセンサーが動作して、アラーム入力端子を短絡／開放すると、センサーアラーム状態となります。

※ センサーアラームの機能を使わないときは、メニュー画面でセンサーアラーム機能を「オフ」にしてください。（設定方法 ☞ P. 35 アラーム設定画面の「センサーアラーム」）

● センサーアラーム状態になると

・センサーアラーム状態になると、次のようなアラーム動作をします。

1. ブザーが鳴り、アラーム解除キーが赤く点滅します。
   （ブザーを鳴らさない ☞ P. 38 ブザー／文字表示設定画面の「ブザー」）
2. アラームが入力されたカメラの映像が1画面表示となります。
3. モニターテレビには「アラーム」の文字が点滅表示されます。
4. VTR はタイムラプスモード（録画モードが 12 モード以上）からアラーム録画モードに切り換わり、アラーム入力されたカメラの映像が録画されます。
5. モニター出力2がスポット出力選択されているときには、スポット出力の映像はアラームの状態に関わらず選択されたカメラの映像が出力されます。

※ センサーアラーム状態でも、アラーム保留状態にしておくと、モニター出力の映像を手動で切り換えることができます。

ご注意

- メニュー画面で動き検出機能を「アラーム（AND）」に設定している場合は、センサーアラーム信号の入力と動き検出信号の入力の両方があったときのみアラーム動作をします。（☞ P. 66「動き検出アラーム」）
- VTR モード中にアラーム保留状態にしたとき、カメラモードに切り換えてもアラーム保留状態は継続します。

● センサーアラームを解除するには

センサーアラームの起動方法（☞ P. 64「センサーアラーム時間」）により、解除する方法が異なります。

[エッジ型起動のとき]
アラーム時間で設定されている時間が経過するか、またはアラーム解除キーを押すと解除されます。

[レベル型起動のとき]
アラーム入力端子を GND から短絡／開放してください。

ご注意

アラーム解除キーでセンサーアラーム状態を解除することはできません。

メ　モ

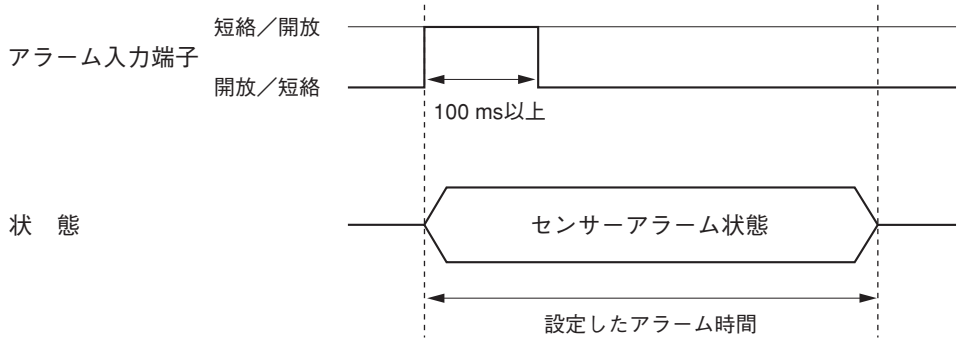
センサーアラーム状態が解除されるとモニターテレビには、センサーアラーム状態になる前の画面が表示されます。ただし、アラーム中にモニター出力1*の映像を別の画面表示に切り換えると、センサーアラーム状態が解除された後も、その画面表示を続けます（元の画面には戻りません）。

* モニター出力2が「モニター出力1と同じ出力」に設定されていれば、モニター出力2も同様に動作します。

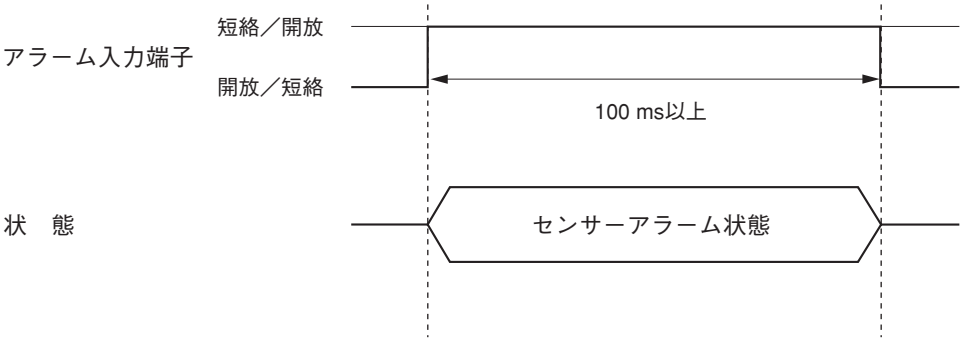
● センサーアラーム時間

センサーアラームを起動する方法には「エッジ型」と「レベル型」の2種類があります。
（起動方法の設定 ☞ P. 35 アラーム設定画面の「アラーム信号」）

[エッジ型に設定したとき]
センサーアラーム状態となっている時間は、メニュー画面で設定したアラーム時間となります。
（アラーム時間の設定 ☞ P. 35 アラーム設定画面の「アラーム時間」）



[レベル型に設定したとき]
センサーアラームの起動方法をレベル型に設定したときは、アラーム入力端子が短絡／開放している間、センサーアラーム状態となります。



● アラーム保留

センサーアラームが頻繁に入力され、モニターテレビに表示されるカメラの映像が頻繁に切り換わり、選択したカメラの映像を見ることができない場合に、アラーム保留機能を使います。

[アラーム保留にするには]
アラーム保留キーを押します。
➡ アラーム保留キーが点灯します。

メ　モ

アラーム保留キーを押さずに、常にアラーム保留状態にすることもできます。
（設定方法 ☞ P. 34 アラーム設定画面の「アラーム保留」）

[アラーム保留を解除するには]
点灯中のアラーム保留キーを押します。
➡ アラーム保留キーが消灯します。

[アラーム保留中にセンサーアラーム状態になると]
- アラーム解除キーとアラーム保留キーが点滅し、モニターテレビに「アラーム保留」の文字が表示されます。
- モニターテレビの映像は切り換えられませんが、VTRへの録画はセンサーアラーム状態と同様に録画されます。
- モニターテレビの映像をアラーム入力のあったカメラ映像にするには、アラーム保留キーを押し、アラーム保留を解除します。

● 複数のアラーム入力があった場合

スイッチャー機能時

複数のアラームが入力された場合の動作はLAST、SEQ、およびALLの3種類のアラーム機能から選択することができます。（設定方法 ☞ P. 34 アラーム設定画面の「アラーム機能」）

ご注意

録画時のアラーム機能と異なったアラーム機能で再生すると正常に再生されません。必ず同一機能で録画、再生してください。

アラーム機能の動作は下記のとおりです。

動作 / アラーム機能	センサーアラーム（カメラモード）		VTR再生アラーム（VTRモード）
	モニターテレビの表示	VTRへの録画（アラーム録画モードで録画します。）	
LAST	後優先で1台のカメラを表示する。	後優先で1台のカメラを録画する。	センサーアラームで録画した部分を再生すると、ブザーが鳴り自動的にアラームカメラが1画面表示され、画面左下に「アラーム」が表示されます。
SEQ	アラーム入力があったカメラをシーケンス表示する。（切換時間は1秒固定）	アラーム入力があったカメラをすべて録画する。（録画パターンには依存しない）	センサーアラームで録画した部分を再生すると、ブザーが鳴る。
ALL	アラーム入力があったカメラをシーケンス表示する。（切換時間は1秒固定）	接続されているすべてのカメラを録画する。	センサーアラームで録画した部分を再生すると、ブザーが鳴る。

※アラーム機能をSEQに設定している場合に、ビデオロストカメラにアラーム入力があったときは、アラーム機能を自動的にALLの動作に変えます。

ビューアー機能時

複数のアラームが入力された場合の動作はLAST、SEQの2種類のアラーム機能から選択することができます。（設定方法 ☞ P.34 アラーム設定画面の「アラーム機能」）

アラーム機能の動作は下記のとおりです。

動作 / アラーム機能	モニターテレビの表示（VTRへの録画）
LAST	後優先で1台のカメラを表示する。
SEQ	アラーム入力があったカメラをシーケンス表示する。（切換時間は1秒固定）

■ 動き検出アラーム

スイッチャー機能時のみ　（カメラモードのときのみ）

動き検出機能（ ☞ P. 78）をセンサーアラームと同様のアラームとして扱うことができます。
アラーム状態になったときの動作、アラーム保留のしかた、複数のアラーム入力があった場合の動作は、センサーアラームと同じです。

ご注意

電源投入後、動き検出アラーム機能の動作を開始するまでに約15秒かかります。

● 動き検出機能の設定

・動き検出機能を「アラーム（OR)」に設定した場合は、動き検出またはセンサーアラーム信号の入力のどちらかがあったときにアラーム動作をします。
・動き検出機能を「アラーム（AND)」に設定した場合は、動き検出とセンサーアラーム信号の入力の両方があったときにアラーム動作をします。

● 動き検出アラームを解除するには

アラームの起動方法（ ☞ P. 64「センサーアラーム時間」）により、解除する方法が異なります。

[エッジ型起動のとき]
アラーム解除キーを押すと解除されます。

[レベル型起動のとき]
動き検出時間＋5秒間が経過すると自動的に解除されます。経過中は動き検出アラーム状態を解除することはできません。

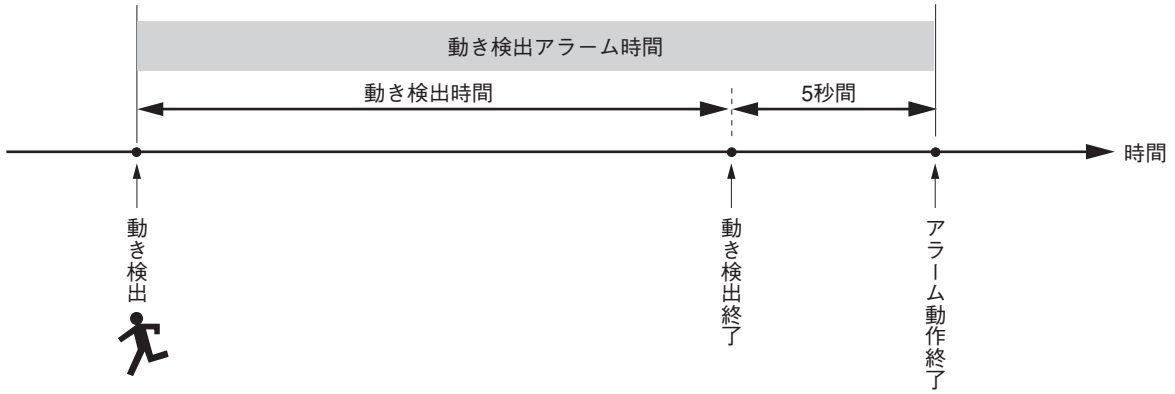
メ　モ

動き検出アラーム状態が解除されるとモニターテレビには、動き検出アラーム状態になる前の画面が表示されます。ただし、アラーム中にモニター出力1*の映像を別の画面表示に切り換えると、動き検出アラーム状態が解除された後も、その画面表示を続けます（元の画面には戻りません)。

* モニター出力2が「モニター出力1と同じ出力」に設定されていれば、モニター出力2も同様に動作します。

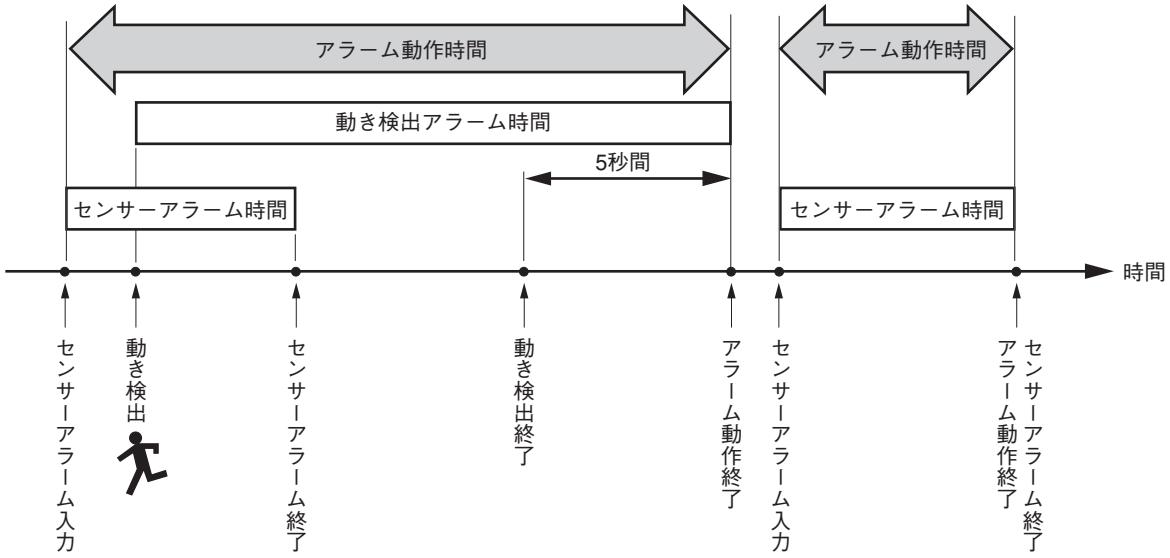
● 動き検出アラーム時間

この時間は、下図のように動き検出時間に5秒間を加えたものです。

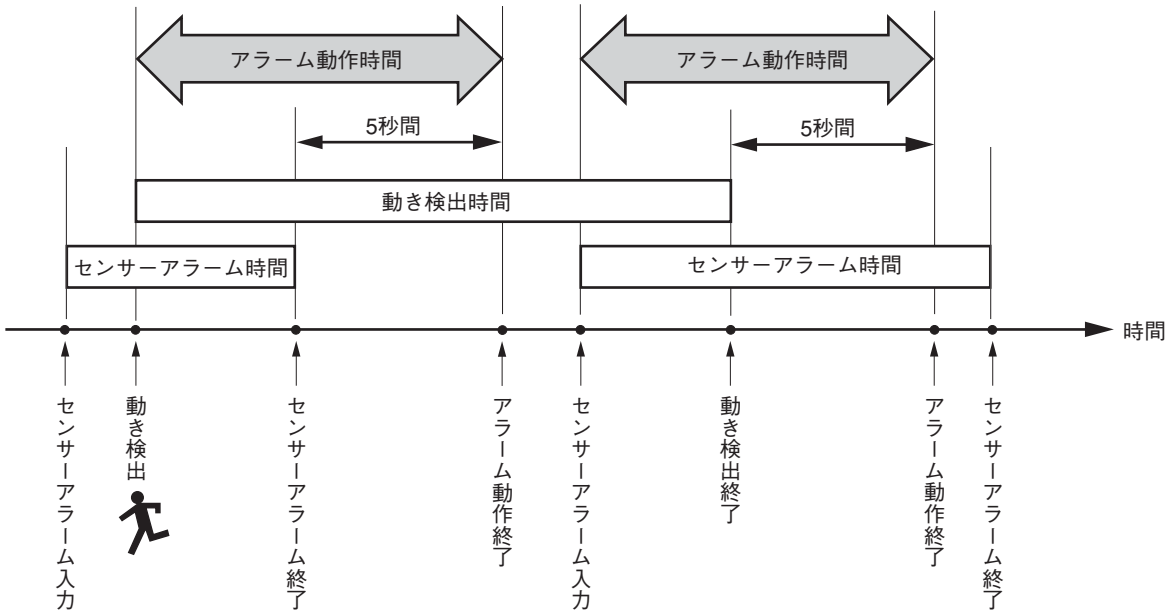


● アラーム動作時間

［動き検出機能を「アラーム（OR）」に設定した場合］
動き検出またはセンサーアラーム入力のどちらかがあったときにアラーム動作をします。



［動き検出機能を「アラーム（AND）」に設定した場合］
動き検出とセンサーアラーム入力の両方があった時間＋5秒間、アラーム動作をします。



※ センサー側の出力がワンショット出力（エッジ型）の場合は、本機のアラーム信号を「エッジ」に設定してください。（ ☞ P. 35 アラーム設定画面の「アラーム信号」）

■ VTR再生アラーム　スイッチャー機能時のみ

センサーアラーム状態または動き検出アラーム状態で録画された部分を再生すると、ブザー音とモニターテレビの画面で知らせます。

● VTR再生アラームになると

・ブザーが鳴り、アラーム解除キーが点滅します。
　※ VTR再生アラーム中にアラーム解除キーを押すと、ブザーを一時的に止めることができます。
・アラームが入ったカメラに「アラーム」の文字が表示されます。
・VTR再生中に静止画表示をしているとき、画面は静止していますがVTRは再生動作を続けています。
　VTRがセンサーアラーム状態または動き検出アラーム状態で録画された部分を再生すると、静止画表示を解除します。

● VTR再生アラームの解除

VTRを停止するか、センサーアラーム状態または動き検出アラーム状態で録画された部分以外を再生すると解除されます。

■ ビデオロストアラーム（カメラモードのときのみ）

ビデオロストアラームは、カメラからのケーブルが切断された、カメラの電源を切られたなどカメラの異常を知らせる機能です。この機能は、接続されているカメラからの信号が途絶えたときに起動します。

● ビデオロストアラームが起動すると

モニターテレビおよびVTRへの録画映像にビデオロストした最新のカメラの番号を表示します。ビデオロストしたカメラの番号は「VL」表示の右側に表示し、アラーム解除キーが点滅します。

● ビデオロストアラームを解除するには

アラーム解除キーを押してください。
ビデオロストアラームしたカメラが復旧しても、ビデオロストアラームは解除されません。

※ ビデオロストアラームを使用しないときは、メニュー画面の設定でビデオロストアラームを「オフ」にします。（設定方法 ☞ P. 34 アラーム設定画面の「ビデオロストアラーム」）

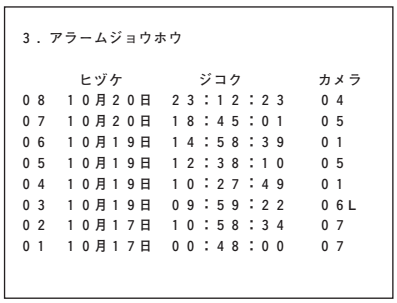
■ アラーム情報

本機には、センサーアラーム、動き検出アラーム、ビデオロストアラームが発生した日付、時刻、カメラ番号を記憶するアラーム情報機能を持っています。

● 記憶した日付、時刻、カメラ番号を表示するには

ユーザーメニュー画面またはトータルメニュー画面からアラーム情報を選択します。（☞ P. 26、P. 42「アラーム情報」）

● アラーム情報画面の例



・1度に表示できる件数は8件で、古い順に番号がつけられています。（画面の左列）
・ビデオロストアラームの発生カメラ番号は右側に「L」を表示します。センサーアラームまたは動き検出アラームのときは、カメラ番号のみ表示します。

メ　モ

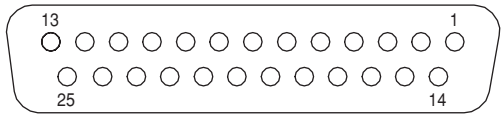
センサーアラームと動き検出アラームをアラーム情報画面で見分けることはできません。

・65件以上のセンサーアラーム、動き検出アラーム、またはビデオロストアラームが発生したときは、最も古いデータから消去されます。
・下シフトキー（▼）で古いデータが、上シフトキー（▲）で新しいデータが、表示されます。

ご注意

アラーム情報を表示しているときに、アラーム解除キーを押すと、すべての情報が消去されます。

■ アラーム入出力端子



ピン番号	機能	ピン番号	機能
1	GND	14	アラーム解除出力
2	カメラ1センサー入力	15	アラーム出力
3	カメラ2センサー入力	16	ビデオロスト出力
4	カメラ3センサー入力	17	アラーム保留出力
5	カメラ4センサー入力	18	動き検出出力
6	GND	19	カメラ10センサー入力 *
7	カメラ5センサー入力	20	カメラ11センサー入力 *
8	カメラ6センサー入力	21	カメラ12センサー入力 *
9	GND	22	カメラ13センサー入力 *
10	カメラ7センサー入力	23	カメラ14センサー入力 *
11	カメラ8センサー入力	24	カメラ15センサー入力 *
12	カメラ9センサー入力	25	カメラ16センサー入力 *
13	GND		

* C-MS161D のみの機能

[アラーム入力]

・アラーム入力番号は、映像入力番号に対応した入力端子です。
・GND と短絡／開放するとセンサーアラームまたは動き検出アラームを起動します。
・アラーム入力端子は開放時に DC5 V の電圧がかかり、短絡時には最大 5 mA の電流が流れます。100 ms 以上短絡／開放させてください。

[アラーム出力]

・アラーム状態のとき、アラーム出力端子は GND と短絡します。
・ビデオロストアラーム状態のとき、ビデオロストアラーム出力端子は GND と短絡します。
・センサー／ビデオロストアラーム出力端子は、NPN オープンコレクター出力となっています。最大 20 V、20 mA の電流を流すことができます。
※ 動き検出機能を「アラーム（AND)」または「アラーム（OR)」に設定することにより、動き検出との組み合わせでもアラーム状態が発生します。

[アラーム保留出力]

・アラーム保留状態のとき、アラーム保留出力は GND と短絡します。
・アラーム保留出力端子は、NPN オープンコレクター出力となっています。最大 20 V、20 mA の電流を流すことができます。

[アラーム解除出力]

・アラーム状態を解除したとき、アラーム解除出力は GND と短絡します。
・アラーム解除出力は NPN オープンコレクター出力となっています。最大 20 V、20 mA の電流を流すことができます。

[動き検出出力]

・動き検出機能が「オフ」以外の設定のとき、映像の変化を検出すると動き検出出力は GND と短絡します。
・動き検出出力は NPN オープンコレクター出力となっています。最大 20 V、20 mA の電流を流すことができます。

リモート機能

■ リモート機能について

本機には、離れた場所から本機を操作するための機能が2つあります。

1. 専用リモートコントローラーを使ったリモート機能

1-1. C-RM100の場合（C-SC100と組み合わせて使用します。）

専用リモートコントローラーを使って、カメラ選択、コンビネーションカメラ、旋回台、ズームレンズなどの操作を統合制御することができます。（接続例 ☞ P. 91）

1-2. C-RM500の場合

専用リモートコントローラーを使って、カメラ選択、コンビネーションカメラ、旋回台、ズームレンズなどの操作を統合制御することができます。（接続例 ☞ P. 92）

2. リモート入出力端子を使ったリモート機能

本機の前面パネルのキー操作を外部から操作することができます。
（設定方法 ☞ P. 40 リモート設定画面の「フロントスイッチ操作」）
※ 外部操作パネルの標準品は用意していません。

■ 専用リモートコントローラーを使うとき

- 専用リモートコントローラーC-RM100、C-RM500を使うと、本機から離れた場所で本機と同様の操作ができます。本機がキーロック中（ ☞ P. 84）でもリモート操作はできます。
- 専用リモートコントローラーでの操作には、以下のような制限があります。

スイッチャー機能時

専用リモートコントローラーでは、本機のカメラ選択、シーケンス表示、およびCHコールを操作することができます。

ご注意

専用リモートコントローラーで操作できない機能があります。
必要なときは本機の前面パネルで操作してください。

[専用リモートコントローラーで操作できない機能]
- カメラ／VTRモードの切り換え
- スポット出力の切り換え
- ビデオロストアラームの解除
- 時計表示
- メニュー画面設定
- カメラ配置
- キーロック

ビューアー機能時

専用リモートコントローラーでは、本機のカメラ選択、シーケンス表示、多画面表示（16、10、9、4分割表示）、静止画表示、グループ選択、およびCHコールを操作することができます。

ご注意

専用リモートコントローラーで操作できない機能または制限のある機能があります。
必要なときは本機の前面パネルで操作してください。

［専用リモートコントローラーで操作できない機能］

・ズーム表示（電子ズーム）
・カメラ／VTRモードの切り換え
・スポット出力の切り換え
・ビデオロストアラームの解除
・時計表示
・メニュー画面設定
・カメラ配置
・キーロック

［制限のある機能］

・10分割表示時の静止画
　10分割表示の下領域（カメラ8台分）のみ静止画にすることができます。

● 専用リモートコントローラーおよび各機器での操作は後からの操作が優先になりますが、同一カメラのパン、チルトおよびズームレンズのマニュアル操作は、はじめの操作が優先となります。

● 専用リモートコントローラー線で接続できる機器は、以下のとおりです。

製　　品	使用可能台数
専用リモートコントローラー C-RM100	1～2台
専用リモートコントローラー C-RM500	1～2台
マルチスイッチャー C-MS161S/C-MS91S	0～1台
1局コントローラー C-SC100	0～8台

ご注意

専用リモートコントローラーを2台使用するときは、親機に設定したリモートコントローラーの電源が切れていると、子機側のリモートコントローラーは動作しません。

● 専用リモートコントローラーを使ったシステムの場合、各機器の設定は以下の表を参考にしてください。
その他の設定は、各機器の取扱説明書をご覧ください。
表中では設定内容を漢字交じりで表示していますが、各機器の設定表示はカタカナで表示されます。

専用リモートコントローラーを使ったシステムでの各機器の設定

製品	設定項目	設定内容
専用リモートコントローラー C-RM100	動作モード	マスター：専用リモートコントローラーが1台のときに、設定します。 スレーブ：専用リモートコントローラーが2台のときは、片方を「スレーブ」に設定します。
	スイッチャーの設定	16局：マルチスイッチャーがC-MS161Sのときに、設定します。 9局A：マルチスイッチャーがC-MS91Sを使用しており、マルチスイッチャーの「4分割時のグループ3」の設定が「オフ」のときに設定します。 9局B：マルチスイッチャーがC-MS91Sを使用しており、マルチスイッチャーの「4分割時のグループ3」の設定が「オン」のときに設定します。
	初期画面の設定 チャンネル指定	専用リモートコントローラー（マスター）の電源投入時にモニターテレビに表示される画面を設定します。 専用リモートコントローラーの設定をマルチスイッチャーの電源投入時（カメラ）に合わせてください。 ※ もし、両機器の設定が不一致のときは、専用リモートコントローラーで設定した画面になります。
	アラーム受信の設定	1局コントローラー、マルチスイッチャーにもアラーム受信の設定があります。必ず、各機器ともに同じ設定にしてください。 スイッチャ：マルチスイッチャーにアラームを入力するときに設定します。 リモコン　：専用リモコンに、アラーム入力ユニットC-AL80を使ってアラームを入力するときに「リモコン」に設定します。

※ 次ページへ続く

製品	設定項目	設定内容
専用リモートコントローラー C-RM500	動作モード	マスター：専用リモートコントローラーが1台のときに、設定します。 スレーブ：専用リモートコントローラーが2台のときは、片方を「スレーブ」に設定します。
	スイッチャーの設定	マルチ16　：C-MS161Sを専用リモコン線を使って接続するときに選択します。 マルチ9A　：C-MS91Sを専用リモコン線を使用して接続しており、C-MS91Sの「4分割時のグループ3」の設定が「オフ」のときに選択します。 マルチ9B　：C-MS91Sを専用リモコン線を使用して接続しており、C-MS91Sの「4分割時のグループ3」の設定が「オン」のときに選択します。 マルチ16-2：C-MS161SをRS-232Cを使用して接続するときに選択します。 マルチ9A-2：C-MS91SをRS-232Cを使用して接続しており、C-MS91Sの「4分割時のグループ3」の設定が「オフ」のときに選択します。 マルチ9B-2：C-MS91SをRS-232Cを使用して接続しており、C-MS91Sの「4分割時のグループ3」の設定が「オン」のときに選択します。
	初期画面の設定 チャンネル指定	専用リモートコントローラー（マスター）の電源投入時にモニターテレビに表示される画面を設定します。 専用リモートコントローラーの設定をマルチスイッチャーの電源投入時（カメラ）に合わせてください。 ※ もし、両機器の設定が不一致のときは、専用リモートコントローラーで設定した画面になります。
	アラーム受信の設定	1局コントローラー、マルチスイッチャーにもアラーム受信の設定があります。必ず、各機器ともに同じ設定にしてください。 スイッチャ：マルチスイッチャーにアラームを入力するときに設定します。 リモコン　：専用リモコンに、アラーム入力ユニットC-AL80を使ってアラームを入力するときに「リモコン」に設定します。
1局コントローラー C-SC100	カメラ番号	1局コントローラが接続されるマルチスイッチャの映像入力端子の番号を設定します。
	アラーム受信の設定	専用リモコン、マルチスイッチャーにもアラーム受信の設定があります。必ず、各機器ともに同じ設定にしてください。 スイッチャ：マルチスイッチャーにアラームを入力するときに設定します。 リモコン　：専用リモコンに、アラーム入力ユニットC-AL80を使ってアラームを入力するときに「リモコン」に設定します。

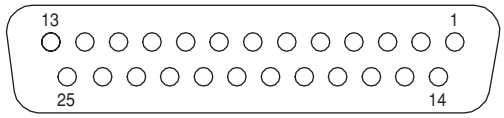
※ 専用リモートコントローラーを使用するときは、本機の設定も必要です。（☞P. 40）

※ C-RM500 と接続するときは、次の点を守ってください。

- カメラの映像出力ケーブルを本機に接続するとき、本機のカメラ入力端子の番号は、カメラのアドレス番号と一致させてください。
- センサーアラームを本機から制御したいときは、本機のメニュー画面設定で、「アラーム受信」を「リモコン」に設定してください。（☞P. 35）

ご注意　本機のアラーム入力端子は使用しないでください。使用すると誤動作するおそれがあります。

■ リモート入出力端子



ピン番号	ピン名称	機能
1	GND	GND
2	RO0	リモート出力0
3	RO1	リモート出力1
4	RO2	リモート出力2
5	RO3	リモート出力3
6	GND	GND
7	RO4	リモート出力4
8	RO5	リモート出力5
9	GND	GND
10	ー	シーケンス／VTRメニューサーチ出力
11	ー	フリーズ出力
12	ー	スポット選択出力
13	ー	動き検出パターン選択入力

ピン番号	ピン名称	機能
14	RI0	リモート入力0
15	RI1	リモート入力1
16	RI2	リモート入力2
17	RI3	リモート入力3
18	RI4	リモート入力4
19	RI5	リモート入力5
20	ー	シーケンス入力
21	ー	VTR選択入力
22	ー	モード選択入力
23	ー	録画パターン選択入力
24	CLK OUT	シーケンス切換出力
25	CLK IN	シーケンス切換入力

● リモート出力端子

・リモート出力はモニターテレビに表示されている画面表示の種類を示すデータを出力します。
・各リモート出力は、NPN オープンコレクター出力となっています。最大20 V、20 mA の電流を流すことができます。
・右表で「0」が表示されているとき、各出力は GND と短絡します。「1」は開放を表します。

ご注意

表以外の組み合わせでは使用しないでください。

リモート入出力端子 / 画面表示	ピン番号 / ピン名称	8番 RO5	7番 RO4	5番 RO3	4番 RO2	3番 RO1	2番 RO0
カメラ1選択出力		1	ー	1	1	1	1
カメラ2選択出力		1	ー	1	1	1	0
カメラ3選択出力		1	ー	1	1	0	1
カメラ4選択出力		1	ー	1	1	0	0
カメラ5選択出力		1	ー	1	0	1	1
カメラ6選択出力		1	ー	1	0	1	0
カメラ7選択出力		1	ー	1	0	0	1
カメラ8選択出力		1	ー	1	0	0	0
カメラ9選択出力		1	ー	0	1	1	1
カメラ10選択出力*		1	ー	0	1	1	0
カメラ11選択出力*		1	ー	0	1	0	1
カメラ12選択出力*		1	ー	0	1	0	0
カメラ13選択出力*		1	ー	0	0	1	1
カメラ14選択出力*		1	ー	0	0	1	0
カメラ15選択出力*		1	ー	0	0	0	1
カメラ16選択出力*		1	ー	0	0	0	0
1画面選択出力		1	1	ー	ー	ー	ー
ズーム選択出力		1	0	ー	ー	ー	ー
4分割表示1～4		0	1	1	1	1	1
4分割表示5～8		0	1	1	1	1	0
4分割表示9～12		0	1	1	1	0	1
4分割表示13～16*		0	1	1	1	0	0
9分割表示1～9		0	1	1	0	1	1
9分割表示10～16*		0	1	1	0	1	0
10分割表示1～8		0	1	1	0	0	1
10分割表示9～16*		0	1	1	0	0	0
16分割表示*		0	1	0	1	1	1

* C-MS161S のみの機能

ピン番号	状態出力
10番	短絡：シーケンス／VTR メニューサーチ状態
11番	短絡：フリーズ状態
12番	短絡：スポット選択状態
24番	短絡／開放：シーケンス切換出力

● リモート入力端子

・本機の前面パネルのキーを外部から制御するときに、リモート入力を使います。
・下表の「0」と表示されているときは、GNDと短絡することを指します。
　例：カメラ2選択キーを動作させる。
　　RI4、RI0を同時にGNDと短絡させる。
・各リモート入力は開放時にDC5 Vの電圧がかかり、短絡時には最大5 mAの電流が流れます。
　100 ms以上短絡させてください。

ご注意

表以外の組み合わせでは使用しないでください。

リモート入出力端子 / 画面表示	ピン番号 / ピン名称	19番 RI5	18番 RI4	17番 RI3	16番 RI2	15番 RI1	14番 RI0
未選択		1	1	1	1	1	1
アラーム解除		1	1	1	1	1	0
アラーム保留		1	1	1	1	0	1
スポット選択		1	1	1	1	0	0
シーケンス／VTRメニューサーチ選択		1	1	1	0	1	1
静止画選択		1	1	1	0	1	0
1画面選択		1	1	1	0	0	1
ズーム		1	1	1	0	0	0
上シフト		1	1	0	1	1	1
下シフト		1	1	0	1	1	0
右シフト		1	1	0	1	0	1
左シフト		1	1	0	1	0	0
チャンネルコール		1	1	0	0	1	1
時計表示選択		1	1	0	0	1	0
カメラ1選択		1	0	1	1	1	1
カメラ2選択		1	0	1	1	1	0
カメラ3選択		1	0	1	1	0	1
カメラ4選択		1	0	1	1	0	0
カメラ5選択		1	0	1	0	1	1
カメラ6選択		1	0	1	0	1	0
カメラ7選択		1	0	1	0	0	1
カメラ8選択		1	0	1	0	0	0
カメラ9選択		1	0	0	1	1	1
カメラ10選択*		1	0	0	1	1	0
カメラ11選択*		1	0	0	1	0	1
カメラ12選択*		1	0	0	1	0	0
カメラ13選択*		1	0	0	0	1	1
カメラ14選択*		1	0	0	0	1	0
カメラ15選択*		1	0	0	0	0	1
カメラ16選択*		1	0	0	0	0	0
4分割グループ1選択		0	0	1	1	1	1
4分割グループ2選択		0	0	1	1	1	0
4分割グループ3選択*		0	0	1	1	0	1
4分割グループ4選択*		0	0	1	1	0	0
9分割グループ1選択		0	0	1	0	1	1
9分割グループ2選択*		0	0	1	0	1	0
10分割グループ1選択		0	0	1	0	0	1
10分割グループ2選択*		0	0	1	0	0	0
16分割選択*		0	0	0	1	1	1

* C-MS161Sのみの機能

・下表でVTR選択（ピン番号21番）とモード選択（ピン番号22番）は、メニュー画面設定の「フロントスイッチ操作」が「外部」に設定されている場合のみ有効です。
（設定方法 ☞ P. 40 リモート設定画面の「フロントスイッチ操作」）

機能	動作選択入力	ピン番号	
シーケンス入力	シーケンス入力	20番	短絡
VTR選択	VTR1選択	21番	開放
	VTR2選択		短絡
モード選択	カメラモード	22番	開放
	VTRモード		短絡
録画パターン選択	録画パターン1選択	23番	開放
	録画パターン2選択		短絡
シーケンス切換入力	シーケンス切換入力	25番	短絡／開放
動き検出パターン選択	動き検出パターン1選択	13番	開放
	動き検出パターン2選択		短絡

● 録画パターン選択入力端子（リモート入出力端子のピン番号23）

スイッチャー機能時のみ

録画パターン機能については、82ページの「録画パターン機能」をご覧ください。

・録画パターンの切り換えを外部から行うときに、録画パターン選択入力端子を使います。この端子を使うときは、メニュー画面設定の「録画パターン操作」を「リモート」にします。
（設定方法 ☞ P. 40「リモート設定」）
・この端子がGNDと開放しているときは「録画パターン1」で、この端子がGNDと短絡しているときは「録画パターン2」で録画されます。
・この端子は開放時にDC5 Vの電圧がかかり、短絡時には最大5 mAの電流が流れます。100 ms以上短絡させてください。

● 動き検出パターン選択入力端子（リモート入出力端子のピン番号13）

スイッチャー機能時のみ

動き検出パターン機能については、81ページの「動き検出パターン機能」をご覧ください。

・録画パターンの切り換えを外部から行うときに、録画パターン選択入力端子を使います。この端子を使うときは、メニュー画面設定の「動き検出パターン操作」を「リモート」にします。
（設定方法 ☞ P. 40「リモート設定」）
・この端子がGNDと開放しているときは「動き検出パターン1」で、この端子がGNDと短絡しているときは「動き検出パターン2」で録画されます。
・この端子は開放時にDC5 Vの電圧がかかり、短絡時には最大5 mAの電流が流れます。100 ms以上短絡させてください。

● シーケンス切換入出力端子（リモート入出力端子のピン番号24、25）

・通常シーケンス切り換えは、本機内部で決められたタイミングで切り換えが行われます。本機が複数あるシステムで、各々のシーケンス切り換えタイミングを合わせるときにシーケンス切換入出力端子を使います。（ ☞ P. 83）
・切換時間を決める機器（親機）のシーケンス切換出力端子（ピン番号24番）と、もう1台の機器（子機）のシーケンス切換入力端子を接続します。
・親機側のメニュー画面設定の「シーケンス切換時間」を設定します。子機側のメニュー画面設定の「シーケンスの切換時間」を「00」に設定します。（設定方法 ☞ P. 36）
・シーケンス切換入力端子（ピン番号25番）は開放時にDC 5Vの電圧がかかり、短絡時には最大5 mAの電流が流れます。
100 ms以上短絡させてください。
・シーケンス切換出力端子は、NPNオープンコレクター出力となっています。最大20 V、20 mAの電流を流すことができます。

動き検出機能

スイッチャー機能時のみ

■ 動き検出機能について

本機は動き検出機能（モーションディテクター）を内蔵しており、カメラの映像の中の動きのある部分を明るさの変化により検出します。
検出すると、設定により検出したカメラの記録フレーム数を増やしたり、アラームとしてブザー音とモニターテレビの画面で異常を知らせ、VTR をアラーム録画モードに切り換えて録画したりすることができます。
アラーム出力端子を利用して外部のブザーなどを起動することもできます。
また、動きがあるカメラ映像だけを録画して、録画メディア（VTR テープなど）の節約をすることもできます。

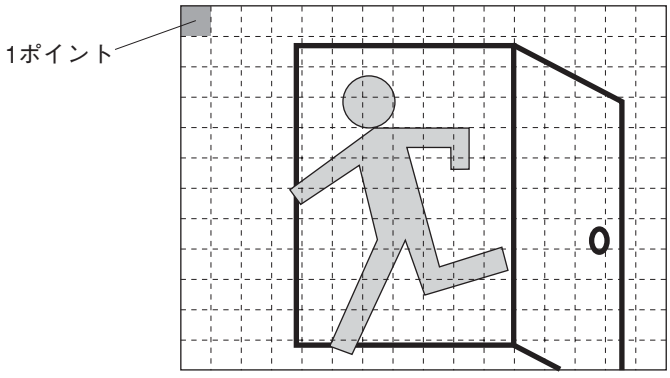
ご注意

- 次のような映像は誤検出が発生し、動き検出機能を有効に使えません。動き検出を使用しないか、その部分のエリア設定を「オフ」にして使用してください。
  - ・雪や海面の波や風に揺れる木々
  - ・雷や急激な天候の変化など、明るさが変化する映像
  - ・蛍光灯やモニターによる画面のちらつき（フリッカー）のある映像
- 動き検出機能は、コンビネーションカメラや旋回台を使用したカメラのように、カメラ自身が動くような場合には使用できません。
- 電源投入後、動き検出機能の動作を開始するまでに約15秒かかります。

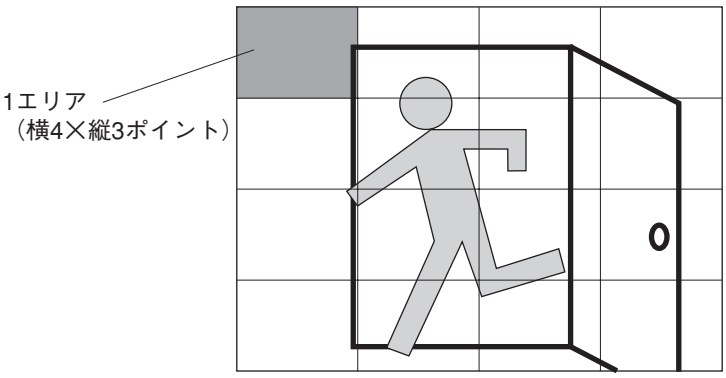
■ 動き検出の基本動作

● 検出機能と設定・動作

[検出ポイント]
1 画面を横を 16、縦を 12 に分割（192 ポイント）し、その 1 つ 1 つの映像の変化を検出します。



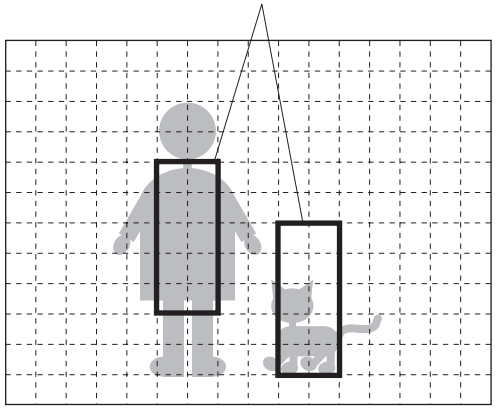
[検出エリア]
動きのある部分を限定して、不要な誤動作を減らすことができます。
1 画面を横を 4、縦を 4 に分割し、映像の変化を検出するエリアを「オン」に、検出しないエリアを「オフ」に設定します。



[検出サイズ]
検出するものの大きさを、検出ポイントを1単位として横と縦のサイズで設定し、設定したサイズ内の全ポイントに変化があったときに、初めて動き検出としての動作を開始します。

※ 検出サイズ設定範囲：横＝1～16ポイント、
縦＝1～12ポイント

（例）検出サイズ：横2×縦5ポイントの大きさ
人は検出するが猫は検出しない

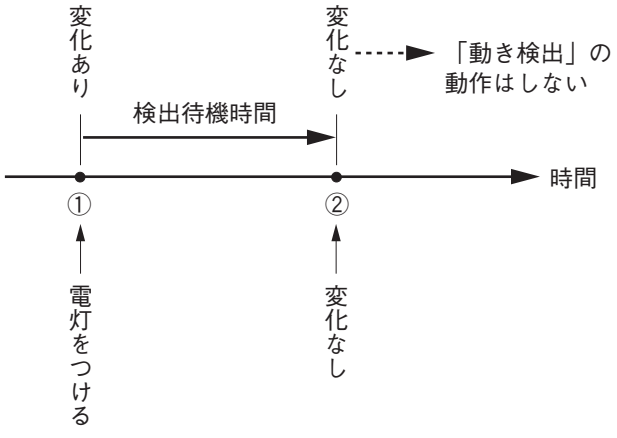


[検出感度]
明るさの変化により動きを検出しますが、その感度を5段階（1～5）に設定できます。数字が大きいほど感度が高くなります。

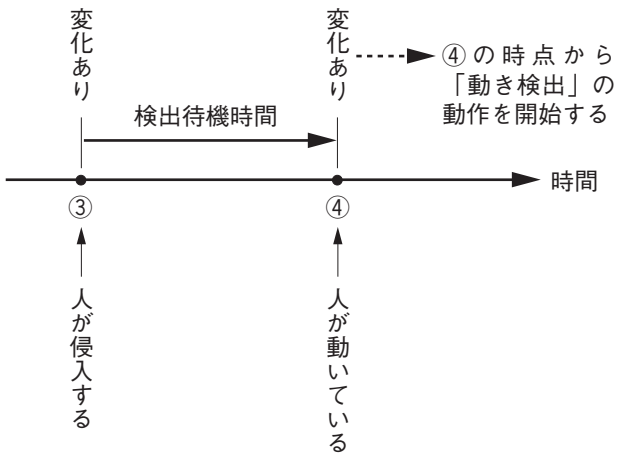
[検出待機時間]
電灯をつけたり消したりする行為や天候の変化などで、突発的に被写体の明るさが変化し、意図しないときに動きを検出して動作してしまうことがあります。検出待機時間の設定により、そのような動作を減らすことができます。
本機は、接続されているカメラのデータを順次取り込み、各カメラのデータを基準データ（前回取り込んだ同じカメラのデータ）と比較して、明るさに変化があれば検知します。
検出待機時間を「オフ」に設定すると、明るさの変化を検知するとすぐに「動き検出」の動作をしますが、検出待機時間を「0.5S」（約0.5秒）、「1S」（約1秒）、「2S」（約2秒）、「3S」（約3秒）、「5S」（約5秒）のいずれかに設定すると、一度変化を検出しても、設定した待機時間後にもう一度変化があるかどうかを調べ、再度変化を検出したときに初めて「動き検出」としての動作を開始します。

検出待機時間を設定しておくと、例えば次のようになります。

● 電灯をつけた場合



● 人が入ってきて動いている場合



ご注意

カメラの高感度機能やAGC機能の動作に入る瞬間の明るさの変化を動きとして検出してしまうことがあります。そのときは、変化する時間に応じて検出待機時間を設定してください。
また、明るさの変化が大きい場合、カメラにDCレンズ（オートアイリスレンズ）を使用していると、レンズの絞り動作に時間がかかり、検出待機時間を設定していても動きとして検出してしまうことがありますのでご注意ください。

[検出出力]
動きを検出している間十5秒間、後面のアラーム入力端子（18番）から出力します。（ ☞ P. 70「アラーム入出力端子」）

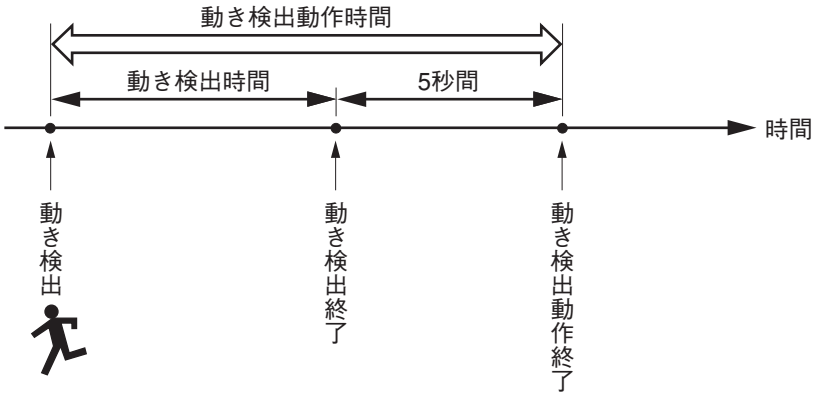
● 動き検出後の動作

動きを検出すると、メニュー画面での設定により、次のような動作をします。

(1) 動き検出機能を「オン」に設定したとき

検出したカメラのVTRなどの記録機器への記録フレーム数を増やします。(動き検出動作)
動きを検出したときから動きが検出されなくなった間＋5秒の間、「動き検出」の動作を行います。

[動作時間]



[フレーム記録の例]
カメラを8台接続している場合のフレーム記録の例を示します。

● 通常時

● カメラ3に「動き検出」があったとき

● カメラ3、5、および7に「動き検出」があったとき

(2) 動き検出機能を「アラーム（OR)」または「アラーム（AND)」に設定したとき

動き検出をアラーム機能として扱います。
「アラーム（OR)」に設定すると、動きを検出したときは（センサーアラームの状態に関係なくすべて)、アラーム動作を行います。
「アラーム（AND)」に設定すると、動きを検出したときに、センサーアラーム信号も入力された場合のみ、アラーム動作を行います。
(詳細 ☞ P. 66「動き検出アラーム」)

■ 動き検出パターン機能

- 動き検出パターンは、平日と休日あるいは昼間と夜間などで録画するカメラを分ける場合に、録画するカメラを設定をします。「動き検出パターン1」と「動き検出パターン2」の2種類のパターンを設定できます。
- 録画パターンの切り換えは、「メニュー画面」で設定する方法、「録画パターン選択入力端子」または「RS-232C」を使う方法のいずれかで行います。
  詳しくは、以下の項目をご参照ください。

［端子について］

動き検出パターン選択入力端子（ ☞ P. 77）

［設定方法について］

動き検出パターン1/2の選択（ ☞ P. 37 オプション1設定画面の「動き検出パターン選択」）
動き検出パターンの切換方法（内部／リモート／RS232C）（ ☞ P. 40 リモート設定画面の「動き検出パターン操作」）
動き検出パターンの設定（ ☞ P. 43「動き検出パターン設定」）

その他の機能

■ 2台のVTRを使うとき（連続録画機能）

2台のVTRを交互に使用して連続録画をすることができます。
1台目のVTRのテープが最後まで録画し終えると、もう1台のVTRが録画を開始します。
（ ☞ P.89 接続例の「VTRを2台使うときの接続」）

ご注意

VTRが当社のC-VT242またはC-VT962の場合、1台目のVTRがテープ最後まで録画をし終えたときは、1台目のVTRのテープを一度取り出してください。
テープを取り出さなければ、2台目のVTRがテープの最後まで録画し終えたときに1台目のVTRは録画を開始しません。

ご注意

センサーアラーム機能を使ってアラーム録画をするときは、待機中のVTRがアラーム録画を開始しないようにVTRを設定してください。
2台のVTRとも、VTRの設定項目で、ALARM READYあるいはエマージェンシー記録（EMERGENCY REC）の設定を「切（OFF）」にします。

■ 録画パターン機能　スイッチャー機能時のみ

- 録画パターンは、平日と休日あるいは昼間と夜間などで録画するカメラを分ける場合に、録画するカメラを設定をします。「録画パターン1」と「録画パターン2」の2種類のパターンを設定できます。
- 録画パターンの切り換えは、「メニュー画面」で設定する方法、「録画パターン選択入力端子」または「RS-232C」を使う方法のいずれかで行います。
  詳しくは、以下の項目をご参照ください。

［端子について］

録画パターン選択入力端子（ ☞ P. 77）

［設定方法について］

録画パターン1/2の選択（ ☞ P. 37 オプション1設定画面の「録画パターン選択」）
録画パターンの切換方法（内部／リモート／RS232C）（ ☞ P. 40 リモート設定画面の「録画パターン操作」）
録画パターンの設定（ ☞ P. 42「録画パターン設定」）

■ タイムラプス録画時の自動認識　スイッチャー機能時のみ

タイムラプスビデオやデジタルレコーダーでタイムラプス録画をするときは、スイッチャーコントロール入力を接続しますが、この信号が断線や接触不良などの事故により途切れてしまった場合でも、自動的にスイッチャーコントロール信号を保持しタイムラプス録画を続けることができます。
これにより、断線などの事故が起こっても録画を止めてしまうことがなく、大事な場面を逃さず記録できます。

- 記録間隔（録画モード）は、スイッチャーコントロール信号が途切れる直前の間隔を自動認識して、動作を継続します。
- スイッチャーコントロール信号が断線などで自動認識に切り換わった後、接続が復旧したときには、自動的に復旧したスイッチャーコントロール信号に従ってタイムラプス録画を続けます。

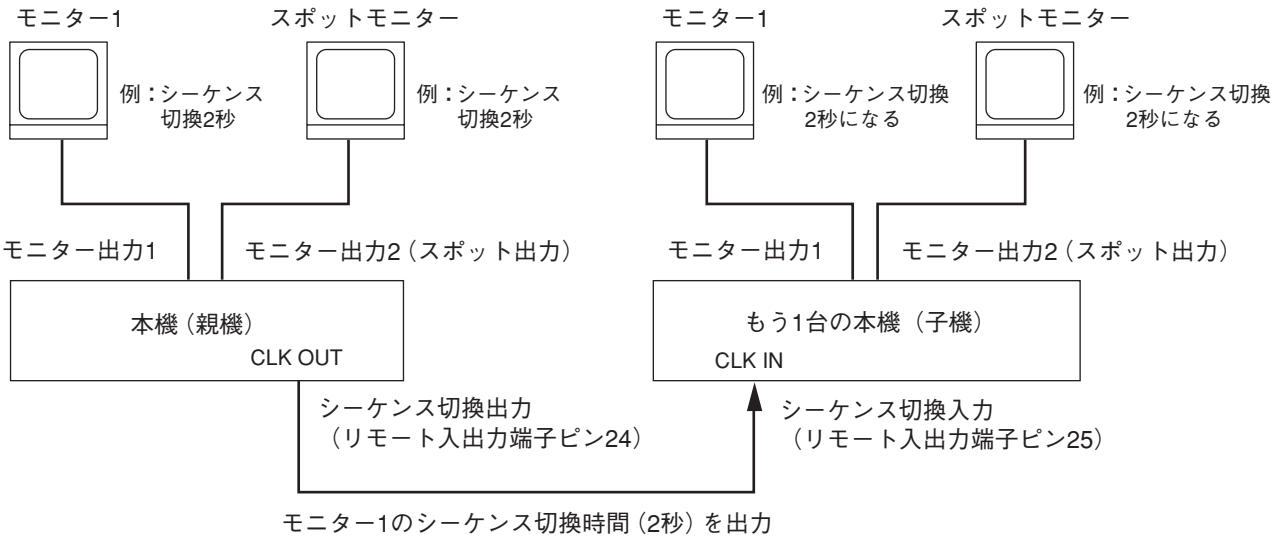
ご注意

記録間隔を60秒以上で使うときは、メニュー画面設定で「自動認識」を「オフ」に設定してください。（ ☞ P. 33）

- 自動認識時は録画映像中に「＊」が記録されます。（ ☞ P. 20）
- タイムラプス録画をする場合、通常（アラーム時以外）の録画時とアラーム録画時と個別に自動認識のオン／オフを設定できます。（ ☞ P. 33、P. 34 録画設定画面の「自動認識」と「アラーム自動認識」）

■ シーケンス切り換えタイミングをそろえる

- 本機を複数で使用するとき、切換時間を決める本機（親機）ともう１台の本機（子機）の切り換えタイミングをそろえることができます。
- 図のように親機・子機間の接続をすると、親機のモニター出力１のシーケンス表示の切り換え（例：切換時間２秒に設定）と同じタイミングで、子機のモニター出力１とモニター出力２の切り換えができます。



- 上図の例での親機・子機それぞれの設定例は下記のとおりです。（ ☞ P. 36「オプション１設定」）

設定項目	親機	子機
シーケンス切換時間	時間（01～99秒）を設定 上図の例：２秒に設定	「00」を設定
スポット出力のシーケンス切換時間	時間（01～99秒）を設定 上図の例：２秒に設定	「00」を設定

■ モニターテレビへの表示調節

モニターテレビの次の項目を設定または調節できます。（ ☞ P. 39「その他の設定画面」）

設定項目	設定内容	内　容
背景色	黒／青	接続されていないカメラあるいは録画されていないVTR再生を選択したときの画面の背景色を選べます。
画面境界線	オン／オフ	多画面表示をしたときの境界線のあり／なしを設定できます。
水平ポジション	−7～+7（0）	多画面表示の水平位置を調節できます。
垂直ポジション	−7～+7（0）	多画面表示の垂直位置を調節できます。

※ 下線部は、出荷時の設定内容です。

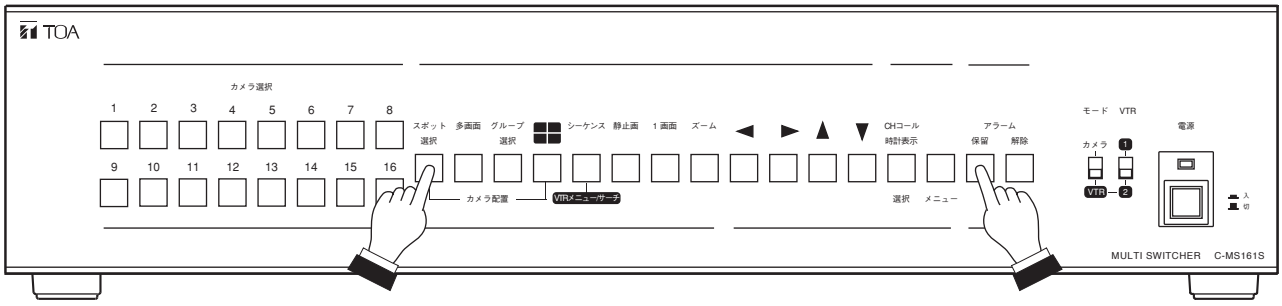
■ キーロック機能

前面キーの不用意な操作を防止するため、キーロック機能を備えています。
ただし、キーロック中でもリモート操作はできます。

[キーロックをするとき]

スポット選択キーを押しながらアラーム保留キーを押します。

➡ スポット選択キーが点灯し、前面キーがロックされます。
キー操作をしようとすると、「キーロックチュウ」の警告が2秒間表示されます。



[キーロックを解除するとき]

キーロックされた状態で、スポット選択キーを押しながらアラーム保留キーを押します。

➡ スポット選択キーが消灯し、前面キーのロックが解除されます。

■ 電源投入時の画面表示

モニター出力の電源投入時の画面表示は、次のとおりです。オプション1設定（ ☞ P. 36）で電源投入直後の画面表示を変更できます。

		ビューアー機能時	スイッチャー機能時
		カメラ／VTRモード選択スイッチの設定	
		「カメラ」側のとき	「VTR」側のとき
工場出荷時		4分割シーケンス	4分割表示（カメラ1～4）
オプション1設定で設定できる画面表示	C-MS161S	1画面1～16 シーケンス 4分割表示（グループ1） 4分割表示（グループ2） 4分割表示（グループ3） 4分割表示（グループ4） 4分割シーケンス 9分割表示（グループ1） 9分割表示（グループ2） 10分割表示（グループ1） 10分割表示（グループ2） 16分割表示	1画面1～16 4分割表示（グループ1） 4分割表示（グループ2） 4分割表示（グループ3） 4分割表示（グループ4） 9分割表示（グループ1） 9分割表示（グループ2） 16分割表示
	C-MS91S	1画面1～9 シーケンス 4分割表示（グループ1） 4分割表示（グループ2） 4分割シーケンス 9分割表示 10分割表示	1画面1～9 4分割表示（グループ1） 4分割表示（グループ2） 9分割表示

※ スポット出力の電源投入時の画面表示はシーケンス表示になります。

接続のしかた

■ 接続の準備

接続する前に、本機および本機に接続する機器の電源を切ってください。

■ カメラとの接続

C-MS161S は最大で 16 台、C-MS91S は最大で 9 台のカメラを接続できます。

● カメラがワンケーブルカメラの場合（ ☞ P. 87）

本機の映像入力端子とカメラドライブユニットのカメラ出力端子とを接続します。

● カメラが AC24 V または AC100 V カメラの場合（ ☞ P. 91）

本機の映像入力端子とカメラの映像出力端子とを接続します。

※ 本機の映像入力端子は 75 Ω で自動的に終端されます。本機の映像出力端子を使ってカメラの映像信号をブリッジ接続するときは自動的に終端抵抗が外れ、ハイインピーダンスになります。

■ モニターテレビとの接続（ ☞ P. 87）

- 本機のモニター出力端子とモニターテレビの映像入力端子とを接続します。
- 2 台の VTR を使って映像および音声を記録している場合は、本機の音声出力端子とモニターテレビの音声入力端子とを接続します。
- 本機のモニター出力端子は 2 系統出力されています。モニター出力 2 は、出荷時にはスポット出力に設定されており、1 画面表示とシーケンス表示のみ可能です。（ ☞ P. 39 その他の設定画面の「モニター出力 2」）

■ VTR との接続（ ☞ P. 87）

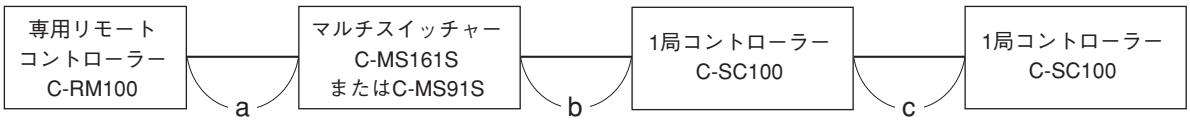
- 本機の VTR 出力端子と VTR の映像入力端子、および本機の VTR 入力端子と VTR の映像出力端子とを接続します。
- 2 台の VTR を使って映像および音声を記録している場合は、本機の音声入力端子 1 と VTR1 の音声出力端子、および本機の音声入力端子 2 と VTR2 の音声出力端子とを接続します。
- スイッチャー機能時のみ VTR がタイムラプスビデオの場合は、本機のスイッチャーコントロール入力端子とタイムラプスビデオの SW CONTROL OUT 端子または CLOCK OUT 端子とを接続してください。
- アラーム録画するときは、本機のアラーム出力端子とタイムラプスビデオのアラーム入力端子を接続します。アラーム解除信号の必要なタイムラプスビデオを使用する場合、本機のアラーム解除出力端子とタイムラプスビデオのアラーム解除（RST）入力を接続します。

■ リモコン専用端子の接続

リモコン専用端子には、専用リモートコントローラー C-RM100 および 1 局コントローラー C-SC100 を接続することができます。（ ☞ P. 71「専用リモートコントローラーを使うとき」）

● 接続ケーブル

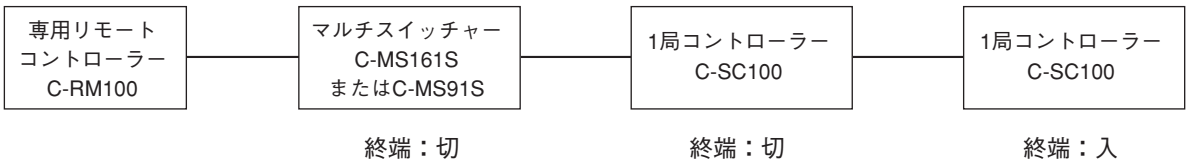
CPEV－S の φ 0.65 mm 以上の太さのものを使用してください。
リモコン専用線で接続できるケーブルの最大延長距離は、各機器間の合計で 1.2 km 以下です。



a ＋ b ＋ c ≦ 1.2 km

● 接続機器の終端スイッチの設定

リモコン専用線の途中に接続された機器：終端スイッチ「切」
リモコン専用線の両端に接続された機器：終端スイッチ「入」



※専用リモートコントローラーの終端は常に「入」になっています。専用リモートコントローラーは、リモコン専用線の端に接続してください。

■ RS-232C 端子の接続

本機は RS-232C を使って、パソコンなどから制御をすることができます。
※ 制御用ソフトは、標準では用意しておりません。
※ 制御方法の詳細は、当社営業所へお問い合わせ願います。

● RS-232C コネクターピン配列
RS-232C コネクター D-sub 9P の各ピンの信号名は以下のとおりです。

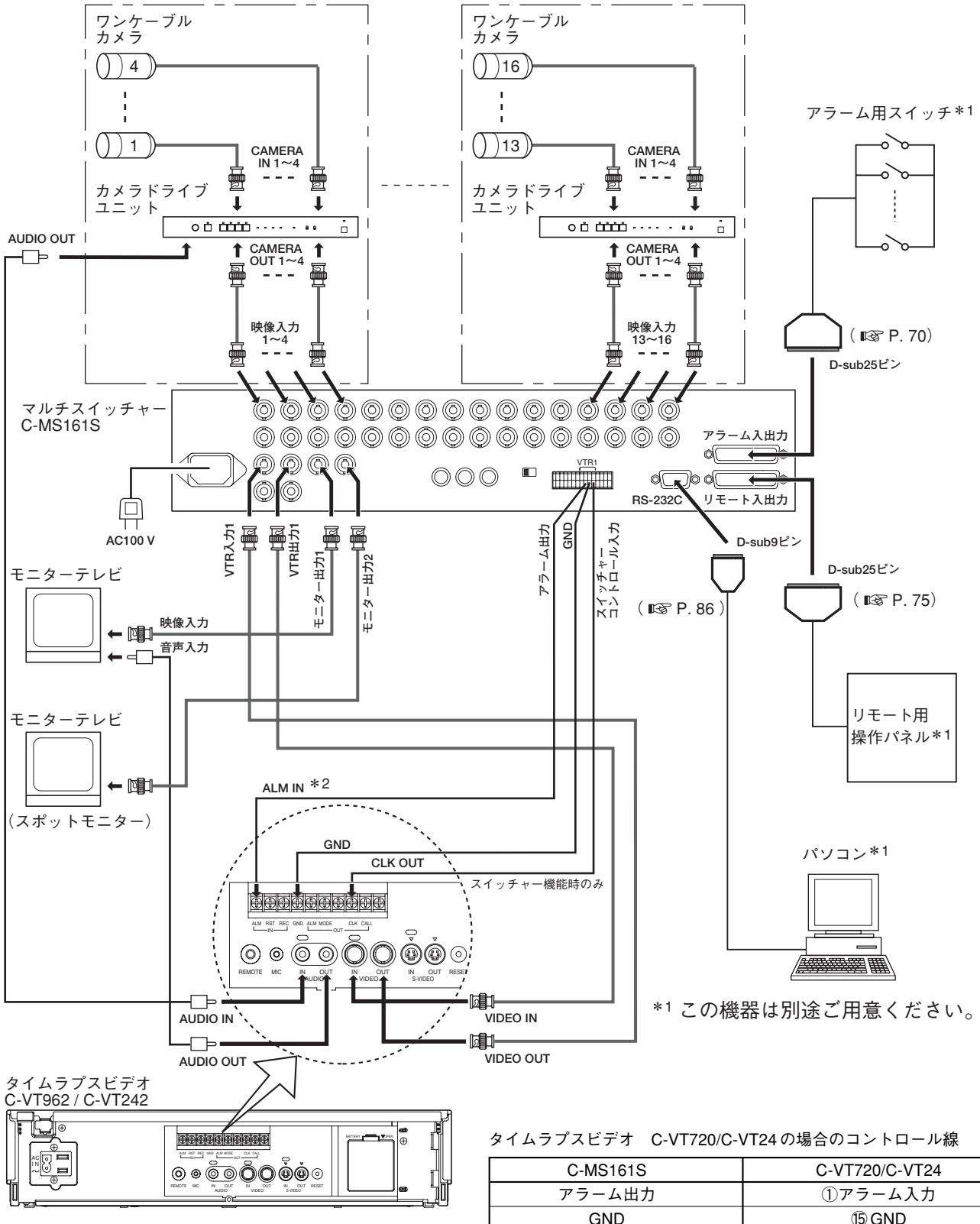
ピン番号	信号名
1	未接続
2	RXD（受信データ）
3	TXD（送信データ）
4	未接続
5	GND
6	未接続
7	RTS（送信要求）
8	CTS（送信許可）
9	未接続

※ 本機には、RS-232Cコネクター用のプラグは付属されていません。

接続例

■ 基本的な接続

● C-MS161Sのとき



*1 この機器は別途ご用意ください。

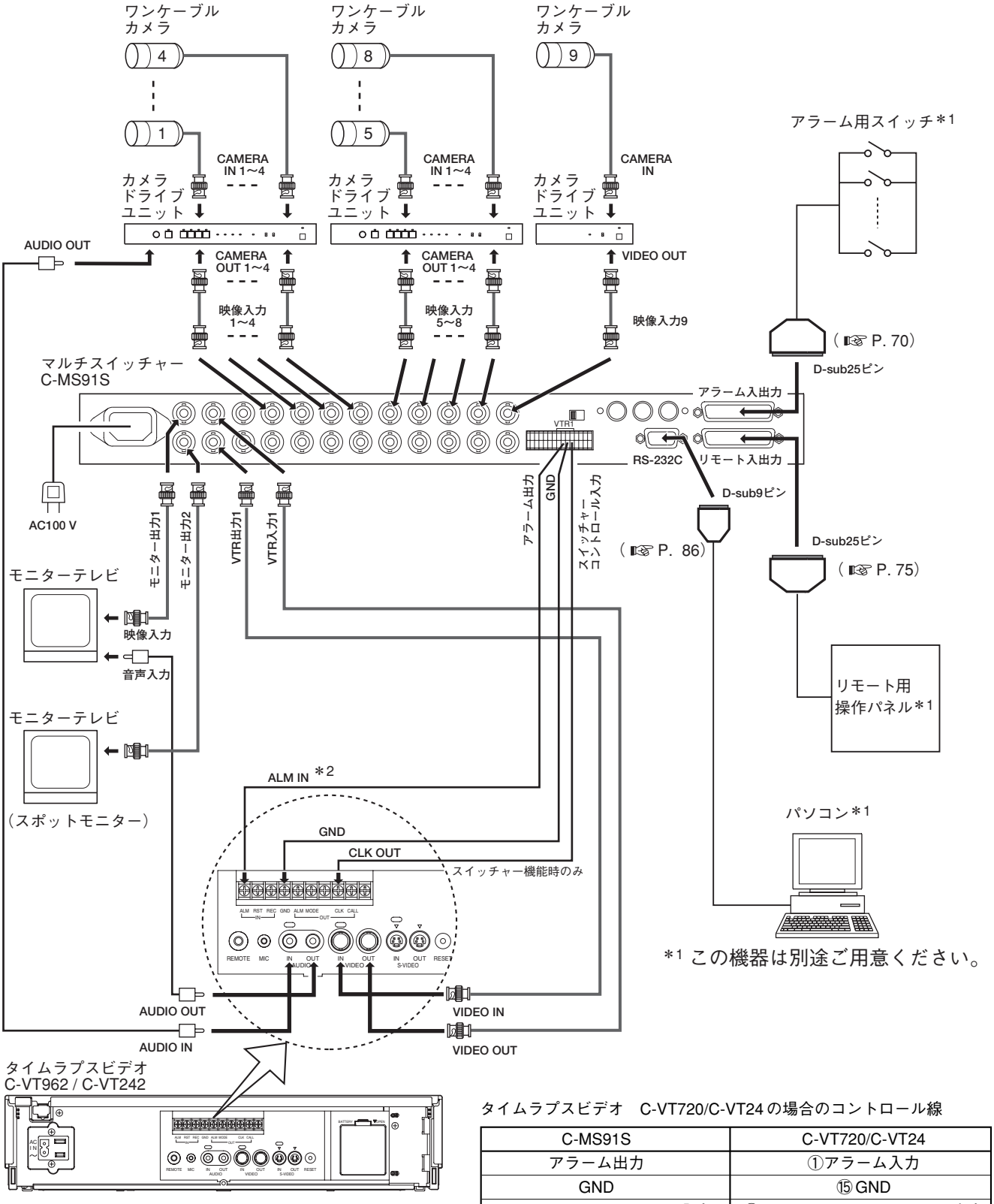
*2 C-VT961 / C-VT241の場合は、SET IN端子に接続してください。

タイムラプスビデオ　C-VT720/C-VT24の場合のコントロール線

C-MS161S	C-VT720/C-VT24
アラーム出力	①アラーム入力
GND	⑮GND
スイッチャーコントロール入力	⑨スイッチャーコントロール出力

※ ①⑨⑮は、VTR本体のD-sub15ピンコネクターのピン番号です。

● C-MS91Sのとき



*1 この機器は別途ご用意ください。

*2 C-VT961 / C-VT241の場合は、SET IN端子に接続してください。

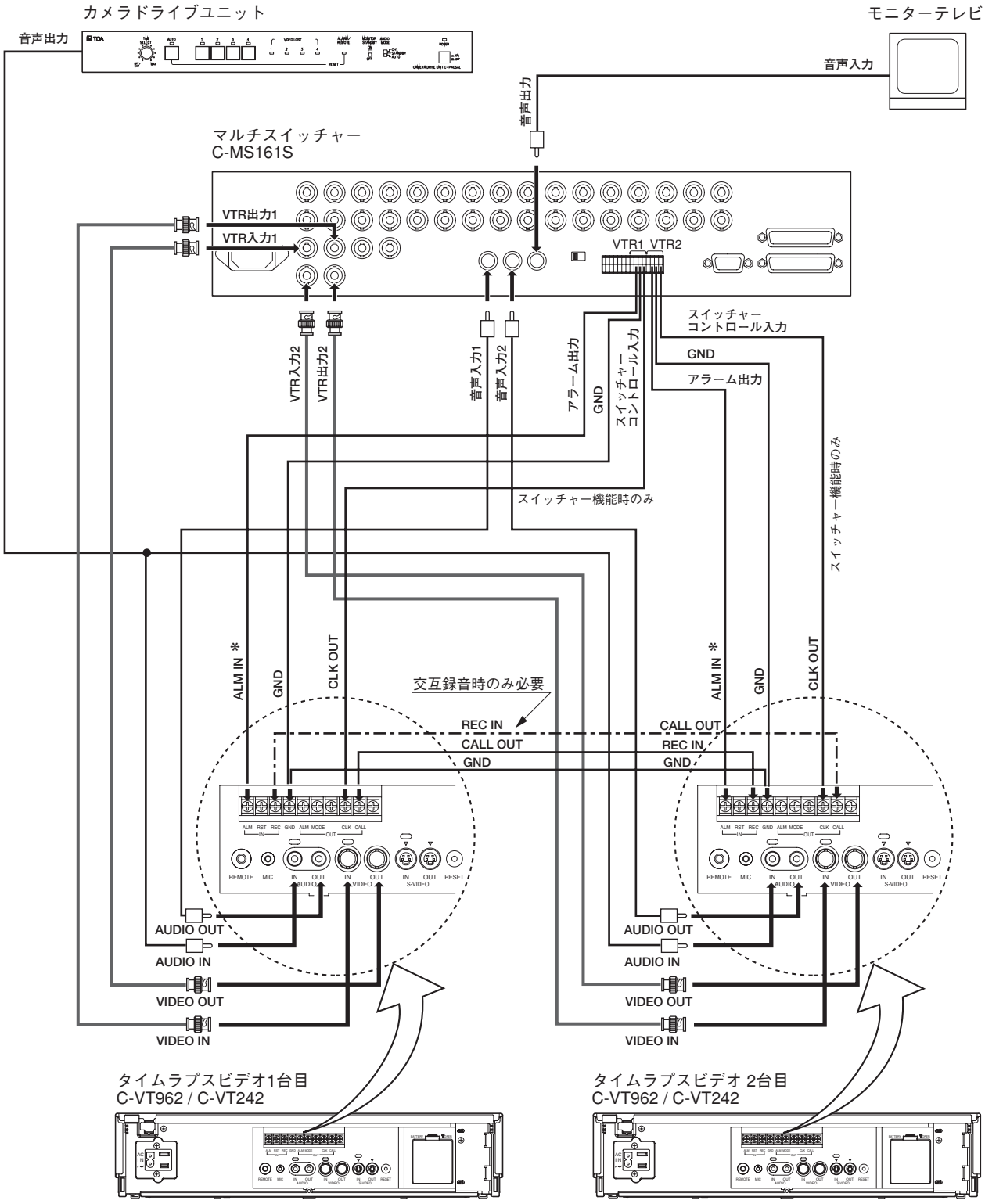
タイムラプスビデオ　C-VT720/C-VT24の場合のコントロール線

C-MS91S	C-VT720/C-VT24
アラーム出力	①アラーム入力
GND	⑮GND
スイッチャーコントロール入力	⑨スイッチャーコントロール出力

※ ①⑨⑮は、VTR本体のD-sub15ピンコネクターのピン番号です。

■ VTR を 2 台使うときの接続

● C-MS161S のとき

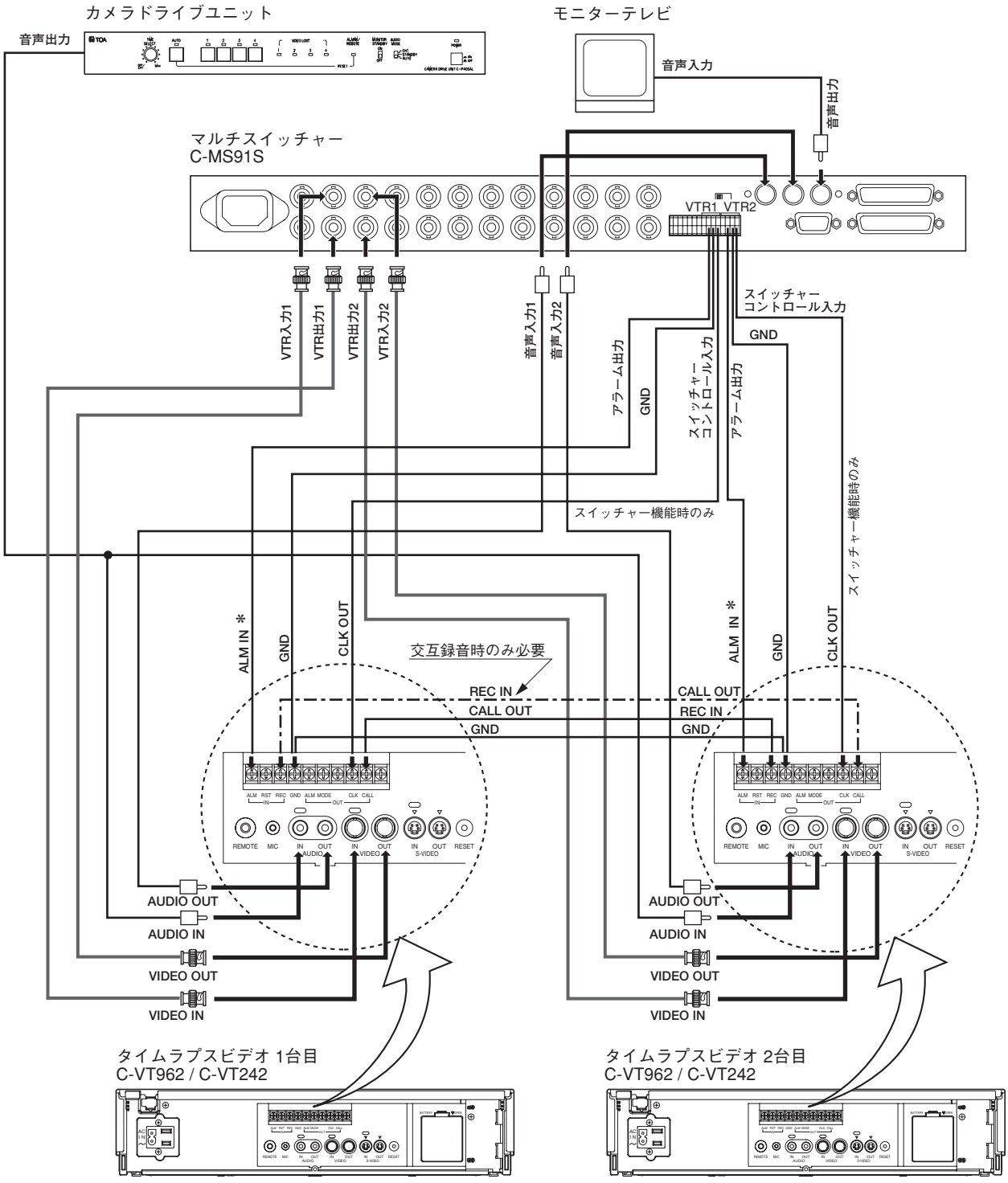


＊ C-VT961 / C-VT241の場合は、SET IN端子に接続してください。

タイムラプスビデオ　C-VT720/C-VT24 の場合の VTR 間接続

※④⑩⑮は、VTR本体のD-sub15ピンコネクターのピン番号です。

● C-MS91Sのとき



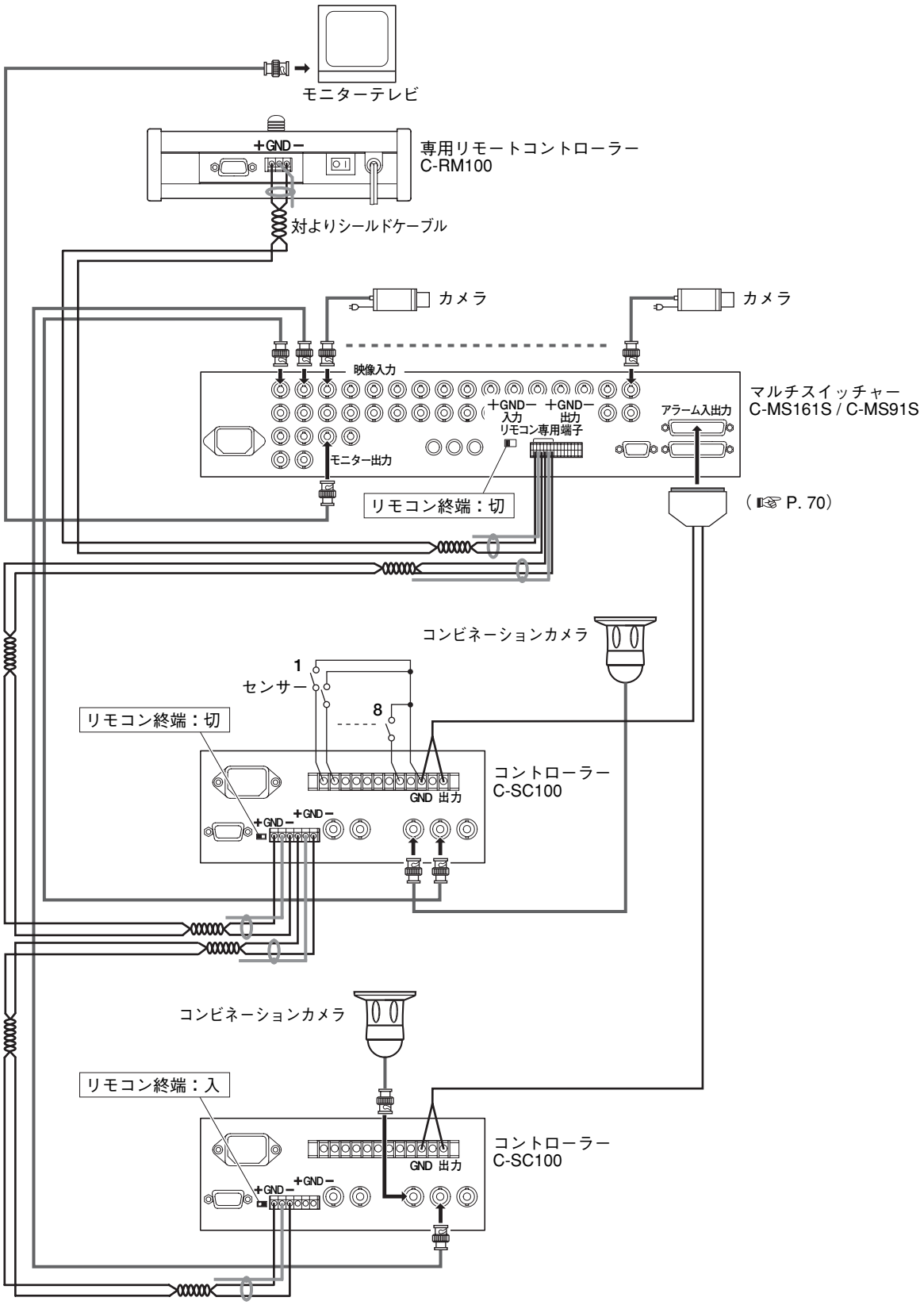
＊ C-VT961 / C-VT241の場合は、SET IN端子に接続してください。

タイムラプスビデオ　C-VT720/C-VT24 の場合の VTR 間接続

※④⑩⑮は、VTR本体のD-sub15ピンコネクターのピン番号です。

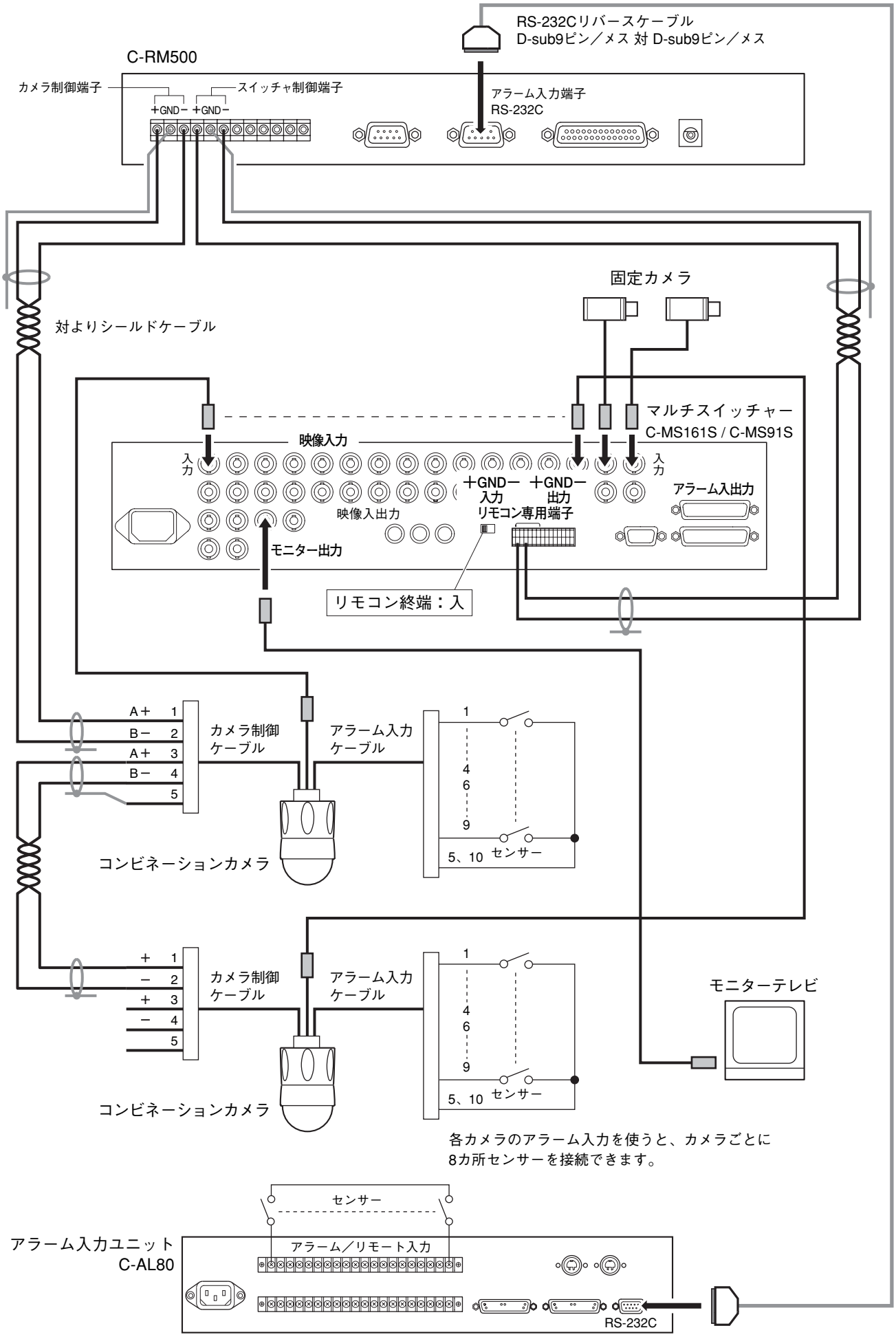
■ リモコン専用線を使った接続

● C-RM100 との接続



※ 機能・動作については、71 ページの「専用リモートコントローラーを使うとき」をご覧ください。

● C-RM500 との接続


RS-232Cリバースケーブル
D-sub9ピン／メス 対 D-sub9ピン／メス
C-RM500
カメラ制御端子
スイッチャ制御端子
+GND− +GND−
アラーム入力端子
RS-232C
固定カメラ
対よりシールドケーブル
マルチスイッチャー
C-MS161S / C-MS91S
映像入力
入力
+GND− 入力
+GND− 出力
アラーム入出力
映像入出力
リモコン専用端子
モニター出力
リモコン終端：入
A+ 1
B− 2
A+ 3
B− 4
5
カメラ制御ケーブル
アラーム入力ケーブル
1
4
6
9
5、10 センサー
コンビネーションカメラ
+ 1
− 2
+ 3
− 4
5
カメラ制御ケーブル
アラーム入力ケーブル
1
4
6
9
5、10 センサー
コンビネーションカメラ
モニターテレビ
各カメラのアラーム入力を使うと、カメラごとに
8カ所センサーを接続できます。
センサー
アラーム／リモート入力
アラーム入力ユニット
C-AL80
RS-232C

タイムラプスビデオの記録間隔

スイッチャー機能時のみ

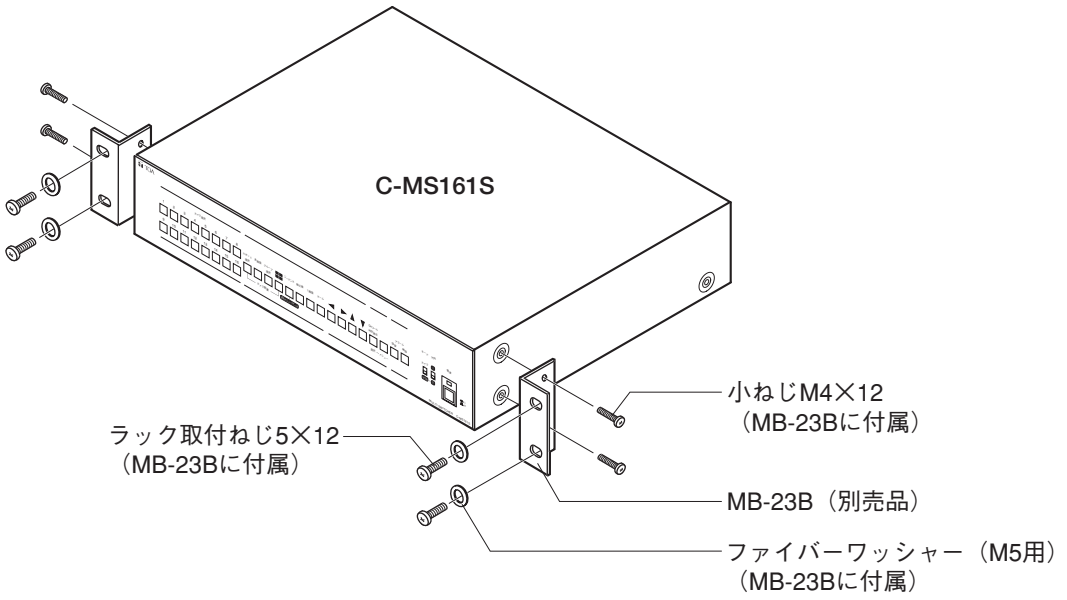
本機とタイムラプスビデオを使って録画したとき、同一のカメラが録画される間隔は、カメラの接続台数、タイムラプスビデオの録画モードによって異なります。
当社の C-VT962、C-VT242 を使ったときの記録間隔は、次の表を参考にしてください。

時間モード	接続台数			音声信号
	4 台	8 台	16 台	
2H（SP）	約 0.13 秒	約 0.27 秒	約 0.53 秒	記録可
6H（EP）	約 0.13 秒	約 0.27 秒	約 0.53 秒	記録可
L12H（SP）	約 0.47 秒	約 0.94 秒	約 1.87 秒	記録可
L18H（EP）	約 0.20 秒	約 0.40 秒	約 0.80 秒	記録可
L24H（SP）	約 0.87 秒	約 1.74 秒	約 3.47 秒	記録可
L30H（EP）	約 0.33 秒	約 0.66 秒	約 1.33 秒	記録可
48H（SP）	約 1.67 秒	約 3.34 秒	約 6.67 秒	記録不可
48H（EP）	約 0.60 秒	約 1.20 秒	約 2.40 秒	記録不可
72H（SP）	約 2.47 秒	約 4.94 秒	約 9.87 秒	記録不可
72H（EP）	約 0.87 秒	約 1.74 秒	約 3.47 秒	記録不可
96H（SP）	約 3.27 秒	約 6.54 秒	約 13.07 秒	記録不可
96H（EP）	約 1.14 秒	約 2.27 秒	約 4.54 秒	記録不可
120H（SP）	約 4.08 秒	約 8.16 秒	約 16.32 秒	記録不可
120H（EP）	約 1.40 秒	約 2.80 秒	約 5.60 秒	記録不可
168H（SP）	約 5.68 秒	約 11.36 秒	約 22.72 秒	記録不可
168H（EP）	約 1.94 秒	約 3.87 秒	約 7.74 秒	記録不可
240H（SP）	約 8.08 秒	約 16.16 秒	約 32.32 秒	記録不可
240H（EP）	約 2.74 秒	約 5.47 秒	約 10.94 秒	記録不可
360H（SP）	約 12.08 秒	約 24.16 秒	約 48.32 秒	記録不可
360H（EP）	約 4.08 秒	約 8.16 秒	約 16.32 秒	記録不可
480H（SP）	約 16.08 秒	約 32.16 秒	約 64.32 秒	記録不可
480H（EP）	約 5.40 秒	約 10.80 秒	約 21.60 秒	記録不可
720H（SP）	約 24.08 秒	約 48.16 秒	約 96.32 秒	記録不可
720H（EP）	約 8.08 秒	約 16.16 秒	約 32.32 秒	記録不可
960H（SP）	約 32.08 秒	約 64.16 秒	約 128.32 秒	記録不可
960H（EP）	約 10.76 秒	約 21.52 秒	約 43.04 秒	記録不可

ラックマウントのしかた

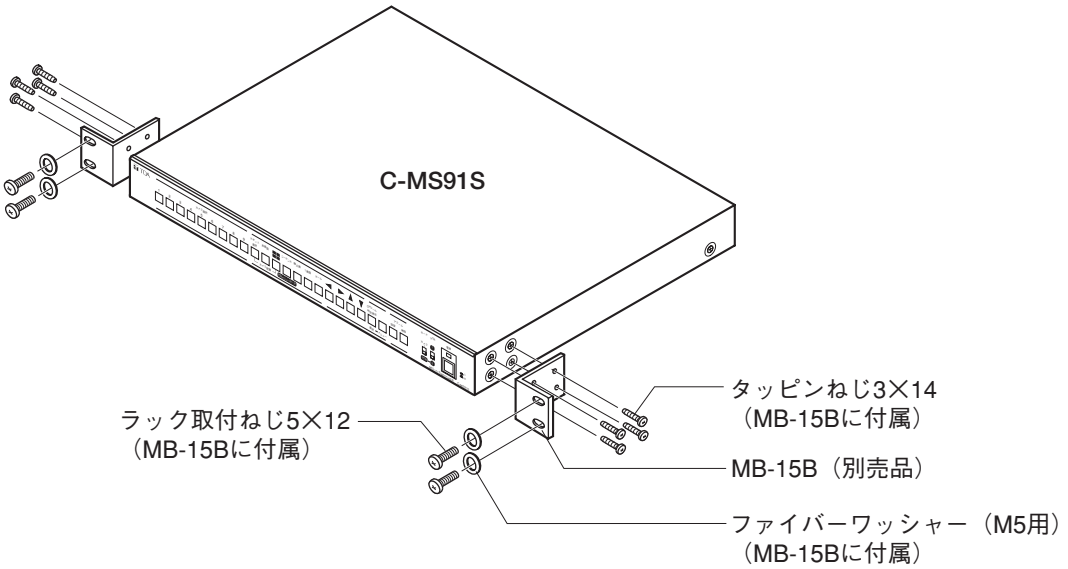
[C-MS161Sのとき]

ラックに取り付けるときは、別売の金具（MB-23B）を使用します。
底面のプラスチック足（4個）を外してください。



[C-MS91Sのとき]

ラックに取り付けるときは別売の金具（MB-15B）を使用します。
底面のプラスチック足（4個）を外してください。



故障かな？と思ったら

スイッチャー機能時

症　状	調べるところ
●電源が入らない。	●付属のACコードが本機のインレットおよび電源コンセントに接続されていますか？
●前面のキー操作をしてもモニター画面が変わらない。	●キーロックがかかっていませんか？
●モニターテレビにカメラの映像が表示されない。	●カメラやモニターテレビの電源は入っていますか？ ●本機のカメラ／VTRモード選択スイッチは**カメラ**側ですか？ ●カメラのレンズキャップは外しましたか？ ●ケーブルは正しく接続されていますか？ ●BNCプラグは正しくはんだ付けされていますか？ ●モニターテレビの画像、黒レベルは正しく調節されていますか？
●録画したテープを再生すると、映像が全く表示されない。 ●録画した映像が表示されない。	●VTRと本機は正しく接続されていますか？ ●本機のカメラ／VTRモード選択スイッチを**VTR**にして再生しましたか？
●長時間録画（12モード以上）したテープを再生すると、全く再生されない。 ●再生されないカメラがある。	●**メニュー画面設定**の**ロクガモード**は**タイムラプス**に設定されていますか？ ●本機のスイッチャーコントロール端子とVTR間は、正しく接続されていますか？
●録画したテープを再生すると、選択したカメラ以外のカメラの映像が表示される。 ●録画していないカメラの部分に表示される。 ●ノイズバーが出る。 ●おかしな色が重なったりする。	●VTRの再生モードが**L12**、**L18**、**L24**、**L30**モードになっていませんか？ VTRによっては、**L12**、**L18**、**L24**、**L30**モードで正常に再生されないときがあります。その他のモードで再生してください。 ●VTRのトラッキングは正しく調節されていますか？ ●逆転再生していませんか？ （逆転再生した場合、選択していないカメラが表示されるときがあります。） ●つなぎ撮りした部分やテープの最初の部分を再生していませんか？ （これらの再生では選択していないカメラが表示されるときがあります。） ●再生中にVTRの再生モードを変えたり、VTRを一時停止していませんか？ （再生中にVTRの再生モードを変えたり一時停止した場合に、選択していないカメラが表示されるときがあります。） ●早送り再生したり、巻き戻し再生をしていませんか？ 早送り再生や巻き戻し再生後に、VTRを一時停止させていませんか？
●録画したテープを多画面で再生すると、カメラ順序どおりに映像が更新されない。	●動き検出機能が設定されていませんか？（メニュー画面設定の**ウゴキケンシュツキノウ**が**オン**に設定されていると記録順序が変わります。）
●VTRモードで、録画されてないカメラの部分に緑色やピンク色のノイズが出る。 ●VTRモードで、画面全体に緑色のノイズが出る。	●故障ではありません。 この症状は、未録画部分を再生したときやテープを停止したときなどに発生することがあります。

症　状	調べるところ
●録画したテープを再生すると、静止画になってしまう。	●再生中にVTRを停止していませんか？ ●録画部分を過ぎて未録画部分を再生していませんか？ ●静止画キーを押していませんか？ （静止画キーを押すと、画面上に「**静止**」が点滅表示します。）
●録画したテープを再生中に、センサーアラーム録画していない部分でブザーが鳴る。	●録画部分を過ぎて未録画部分を再生していませんか？ （未録画部分では、ブザーが鳴るときがあります。） ●つなぎ撮りした部分を再生していませんか？ （つなぎ撮り部分では、ブザーが鳴るときがあります。）
●センサーアラームが動作しない。	●**メニュー画面設定**の**センサーアラーム**は**オン**になっていますか？ ●センサー入力端子の配線は正常に接続されていますか？ ●電源投入後、約15秒以上経っていますか？電源投入後、約15秒間はセンサーアラームは動作しません。
●ビデオロストアラームが動作しない。	●**メニュー画面設定**の**ビデオロストアラーム**は**オン**になっていますか？
●センサーアラーム、VTR再生アラームの動作時に、ブザーが鳴らない。	●**メニュー画面設定**の**ブザー**は**オン**になっていますか？
●カメラの映像にタイトルが表示されない。	●**メニュー画面設定**の**タイトル（モニター）**が**オフ**になっていませんか？
●VTRの再生画面にタイトル、日付、時刻が表示されない。	●**メニュー画面設定**の**タイトル（VTR）**および**ヒヅケ／ジコク（VTR）**が**オフ**になっていませんか？
●VTRの再生画面に日付、時刻が重なって表示される。 ●日付、時刻が2つ表示される。	●VTRの日付、時刻表示がONになっていませんか？ VTRの設定を参照願います。
●本機の電源をOFFにしている間に、時刻が極端にくるっている。	●本機に内蔵しているリチウム電池の寿命が近づいている可能性があります。お買い求めになった販売店にご相談ください。
●VTRモードで、VTRを再生していないのに映像が表示される。	●VTRが停止中になっていませんか？ VTRが停止中、録画中には、VTRに録画しようとする映像がVTRから出力されて表示されます。 ※ 他のカメラの映像が一瞬交じって表示されることもあります。
●カメラの映像の動きが異様に滑らかでない。 （間欠表示の間隔が、約1秒以上かかる。）	●VTRモードになっていませんか？ 上記と同じ現象で、VTRモードでもカメラの映像が表示されます。
●侵入者や検出したい動きがないのに動き検出が動作してしまう。	●背景に雪や海面の波や風に吹かれる木々のような動き続けるものがありませんか？ ●検出不必要なエリアは**オフ**になっていますか？ ●検出レベルや検出待機時間は適正ですか？ ●電灯のちらつきや屋外の天候の急激な変化など、明るさが変化し続ける映像が被写体になっていませんか？
●動き検出が動作しない。	●検出したいエリアは**オン**になっていますか？ ●検出レベルや検出待機時間は適正ですか？ ●電源投入後、約15秒以上経っていますか？電源投入後、約15秒間は動き検出は動作しません。

ビューアー機能時

症　状	調べるところ
●電源が入らない。	●付属のACコードが本機のインレットおよび電源コンセントに接続されていますか？
●前面のキー操作をしてもモニター画面が変わらない。	●キーロックがかかっていませんか？
●モニターテレビにカメラの映像が表示されない。	●カメラやモニターテレビの電源は入っていますか？ ●本機のカメラ／VTRモード選択スイッチは**カメラ**側ですか？ ●カメラのレンズキャップは外しましたか？ ●ケーブルは正しく接続されていますか？ ●BNCプラグは正しくはんだ付けされていますか？ ●モニターテレビの画像、黒レベルは正しく調節されていますか？
●録画したテープを再生すると、映像が全く表示されない。 ●録画した映像が表示されない。	●VTRと本機は正しく接続されていますか？ ●本機のカメラ／VTRモード選択スイッチを**VTR**にして再生しましたか？
●ノイズバーが出る。 ●おかしな色が重なったりする。	●VTRのトラッキングは正しく調節されていますか？ ●逆転再生していませんか？ （逆転再生した場合、選択していないカメラが表示されるときがあります。） ●つなぎ撮りした部分やテープの最初の部分を再生していませんか？ ●再生中にVTRの再生モードを変えたり、VTRを一時停止していませんか？ ●早送り再生したり、巻き戻し再生をしていませんか？ 早送り再生や巻き戻し再生後に、VTRを一時停止させていませんか？
●センサーアラームが動作しない。	●**メニュー画面設定**の**センサーアラーム**は**オン**になっていますか？ ●センサー入力端子の配線は正常に接続されていますか？ ●電源投入後、約15秒以上経っていますか？電源投入後、約15秒間はセンサーアラームは動作しません。
●ビデオロストアラームが動作しない。	●**メニュー画面設定**の**ビデオロストアラーム**は**オン**になっていますか？
●センサーアラーム動作時に、ブザーが鳴らない。	●**メニュー画面設定**の**ブザー**は**オン**になっていますか？
●本機の電源をOFFにしている間に、時刻が極端にくるっている。	●本機に内蔵しているリチウム電池の寿命が近づいている可能性があります。お買い求めになった販売店にご相談ください。

仕　様

品　番		C-MS91S	C-MS161S
電　源		AC100 V 50/60 Hz	
消費電力		13 W	15 W
映像入力		カメラ入力：9系統、VBS1.0 V (p-p)、75 Ω、BNC 接栓、2：1インターレース*2	カメラ入力：16系統、VBS1.0 V (p-p)、75 Ω、BNC 接栓、2：1インターレース*2
		VTR 入力：2系統、VBS1.0 V (p-p)、75 Ω、BNC 接栓	
映像出力		カメラ出力：9系統、VBS1.0 V (p-p)、75 Ω、BNC 接栓、ループスルー出力	カメラ出力：16系統、VBS1.0 V (p-p)、75 Ω、BNC 接栓、ループスルー出力
		モニター出力：2系統、(1系統はスポット出力として設定可能)、VBS1.0 V (p-p)、75 Ω、BNC 接栓 VTR 出力　：2系統、VBS1.0 V (p-p)、75 Ω、BNC 接栓	
アラーム	アラーム入力	9系統、無電圧メイク接点入力、 開放電圧：DC5 V、短絡電流：5 mA、 D-sub コネクター（25 P） メニューによりメイク／ブレイクの選択可能	16系統、無電圧メイク接点入力、 開放電圧：DC5 V、短絡電流：5 mA、 D-sub コネクター（25 P） メニューによりメイク／ブレイクの選択可能
	アラーム出力	1系統、NPN オープンコレクター出力、耐電圧：DC20 V、制御電流：20 mA 以下、 D-sub コネクター（25P）	
	ﾋﾞﾃﾞｵﾛｽﾄｱﾗｰﾑ出力	1系統、NPN オープンコレクター出力、耐電圧：DC20 V、制御電流：20 mA 以下、 D-sub コネクター（25P）	
	アラーム保留出力	1系統、NPN オープンコレクター出力、耐電圧：DC20 V、制御電流：20 mA 以下、 D-sub コネクター（25P）	
	アラーム解除出力	1系統、NPN オープンコレクター出力、耐電圧：DC20 V、制御電流：20 mA 以下、 D-sub コネクター（25P）	
	動き検出出力	1系統、NPN オープンコレクター出力、耐電圧：DC20 V、制御電流：20 mA 以下、 D-sub コネクター（25P）	
	機　能	アラーム時間：手動、10秒、15秒、20秒、30秒、1～5分（1分間隔）、無限 ブザー　：ON-OFF	
リモート	リモート入力	11系統（バイナリー入力6系統）、無電圧メイク接点入力、開放電圧：DC5 V、短絡電流：5 mA、 D-sub コネクター（25P）	
	リモート出力	10系統（バイナリー出力6系統）、NPN オープンコレクター出力、耐電圧：DC20 V、 制御電流：20 mA 以下、D-sub コネクター（25P）	
その他の機能		動き検出機能、動き検出パターン選択機能、キーロック機能、タイムラプス録画時の自動認識機能、録画パターン選択機能、メニュー画面表示の言語選択（日本語、英語）	
VTR 制御		スイッチャーコントロール入力：2系統、無電圧メイク接点入力、開放電圧：DC5 V、短絡電流：0.3 mA 以下、スクリューレスコネクター アラーム出力　：2系統、NPN オープンコレクター出力、耐電圧：DC20 V、制御電流：20 mA 以下、スクリューレスコネクター アラーム解除出力　：2系統、NPN オープンコレクター出力、耐電圧：DC20 V、制御電流：20 mA 以下、スクリューレスコネクター	
音　声		VTR 入力　：2系統、−10 dB*1、50 kΩ以上、RCA ピンジャック モニター出力：1系統、−10 dB*1、ローインピーダンス、RCA ピンジャック	
外部制御		RS-232C　：1系統、D-sub コネクター（9P、オス） リモコン専用端子：入力／出力各1系統、スクリューレスコネクター	
専用リモコン		専用リモコン C-RM100（別売）、C-RM500（別売）による制御可能	
録画出力		最小1フレーム間隔	

*1 0 dB = 1 V

*2 電源同期に設定されたカメラは使用できませんので、ご注意ください。

品　番	C-MS91S	C-MS161S
画面表示 （機器タイプ設定によりマルチスイッチャー機能、マルチチャンネルビューアー機能の選択可能）	● マルチスイッチャー機能 （カメラ画面）　1画面選択　：任意カメラの選択 シーケンス　：1画面（カメラごと）、0～99秒（1秒単位で選択） （VTR再生画面）1画面選択　：任意カメラの選択 多画面選択　：4分割、9分割、16分割（16分割はC-MS161Sのみ） ズーム　：任意のカメラを2倍電子ズーム（ズーム位置可変、オートチルト、オートパン可能） フリーズ（静止画）：各カメラごとのフリーズ （スポット画面）任意カメラの選択、シーケンス：0～99秒（1秒単位で選択） ● マルチチャンネルビューアー機能 （カメラ画面）　1画面選択　：任意カメラの選択 多画面選択　：4分割、9分割、10分割、16分割（16分割はC-MS161Sのみ、すべて間欠表示、分割画面内の配置変更可能） ズーム　：任意のカメラを2倍電子ズーム（ズーム位置可変、オートチルト、オートパン可能） フリーズ（静止画）：各カメラごとのフリーズ シーケンス　：1画面（カメラごと）、4分割（グループごと）、0～99秒（1秒単位で選択） （スポット画面）任意カメラの1画面選択、シーケンス：0～99秒（1秒単位で選択）	
表示	カメラタイトル：最大8文字、英数字、記号、カタカナ、ひらがな、漢字（265種）が使用可 カメラ番号、日付・時刻表示可能	
有効画素数	720×464ピクセル	
使用温度範囲	0～+40℃	
仕上げ	パネル：アルミ押し出し、黒（マンセルN1.0近似色）、3分艶 ケース：表面処理鋼板、黒（マンセルN1.0近似色）、3分艶、塗装	
寸法	420（幅）×51.8（高さ）×334.1（奥行）mm	420（幅）×96.6（高さ）×333.9（奥行）mm
質量	3.4 kg	4.3 kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

電源コード（2 m）　…… 1
D-subプラグ（25P、インチねじ）　…… 2

● 別売品

[C-MS91Sのとき]
ラックマウント金具：MB-15B

[C-MS161Sのとき]
ラックマウント金具：MB-23B

付　録　漢字タイトル作成例

パチンコ店

タイトル	漢字コード
入口	167、54
出口	168、54
金庫	139、119
景品	150、151
売場	85、86
交換	152、153
島	47
駐車場	75、76、86
機械	169、30
両替機	156、37、169
自販機	222、164、169
券売機	56、85、169
計数機	161、158、169
磁気	202、45
電波	197、171
玉洗機	154、155、169
大当り	61、199、り
故障	215、216
通路	80、81
木枠	138、13

工　場

タイトル	漢字コード
入口	167、54
出口	168、54
棟	82
研究	200、201
守衛	95、96
宿舎	65、66
倉庫	118、119
駐車場	75、76、86
新館	132、84
旧館	114、84
新棟	132、82
旧棟	114、82
地下	43、10
正門	23、69
裏門	12、69
工場	109、86
検査	88、89
施設	129、130
通路	80、81
管理	207、79
部屋	91、112
側道	16、92
側溝	16、93
通用門	80、186、69
自動	222、223
手動	221、223
制御室	217、218、90
操作中	181、182、21
動作中	223、182、21
夜間入口	35、34、167、54

スーパー・コンビニ

タイトル	漢字コード
入口	167、54
出口	168、54
商品	67、151
棚	68
用品	186、151
照明	246、188
店内	87、17
家庭	147、120
家電	147、197
台所	263、100
設備	130、98
機器	169、14
金物	139、234
薬局	173、174
娯楽	243、123
店舗	87、124
備品	98、151
店長室	87、32、90
本屋	238、112
食品	103、151

ガソリンスタンド

タイトル	漢字コード
入口	167、54
出口	168、54
計量機	161、189、169
洗車機	155、76、169
灯油	59、60
使用中	185、186、21
出火	168、136
消火	163、136
消防	163、57
放水栓	64、137、55

警　備

タイトル	漢字コード
監視	107、108
警備	97、98
灰皿	41、58
施錠	129、131
火元	136、49
金庫	139、119
通用口	80、186、54
正常	23、53
異常	63、53
ガス栓	ガス、55
確認	159、160
非常	52、53
階段	72、73
共用	242、186
廊下	78、10
警察	97、176
放火	64、136

学　校

タイトル	漢字コード
広場	25、86
校長	117、32
事務	115、143
図書	254、255
音楽	172、123
実験	203、204
学校	116、117
高校	170、117
中学	21、116
小学	62、116
大学	61、116
子供	239、240
校庭	117、120

ビ　ル

タイトル	漢字コード
正面	23、15
警備	97、98
詰所	99、100
窓口	94、54
天井	42、110
本社	238、121
支社	232、121
非常口	52、53、54
階段	72、73
玄関	70、71
廊下	78、10
機械室	169、30、90
屋上	112、9
部屋	91、112
軒下	113、10
会社	106、121
食堂	103、104
電気室	197、45、90
防災	57、50
会議室	106、191、90
管理人室	207、79、190、90

病院・老人福祉

タイトル	漢字コード
宿舎	65、66
詰所	99、100
管理人	207、79、190
薬局	173、174
会計	106、161
診察	237、176
事務室	115、143、90
治療室	187、44、90
内科	17、180
外科	18、180
外来	18、177
待合室	178、224、90
受付	144、145
病棟	101、82
案内	209、17
総合	210、224
特別	27、184
病院	101、102
老人	162、190
特老	27、162
夜間受付	35、34、144、145
娯楽室	243、123、90

倉庫・物流

タイトル	漢字コード
荷物	233、234
商品	67、151
佐川	235、48
日通	135、80
食堂	103、104
保管	206、207
出荷	168、233
倉庫	118、119
準備	175、98
物流	234、46
入荷	167、233

庁舎・議場

タイトル	漢字コード
控室	146、90
議長	191、32
発言	192、193
席	194
議員	191、195
役員	196、195
庁舎	231、66
議場	191、86
役所	196、100
中庭	21、120
内庭	17、120
外庭	18、120

スポーツ

タイトル	漢字コード
駐輪	75、77
庭園	120、265
公園	148、265
道路	92、81
水門	137、69

ホテル

タイトル	漢字コード
受付	144、145
会議室	106、191、90
宴会場	105、106、86
大広間	61、25、34

銀行・証券

タイトル	漢字コード
窓口	94、54
役員室	196、195、90
現金	250、139
支払	232、251

保証書

機 器 保 証 書

型名	製造（ロット）番号		この保証書は、下記記載の内容により無償修理を行うことをお約束するものです。 お買上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証期間	お買上日から１年間 但し、消耗部品を除く（詳しくは下記に記載）		
お買上日	□□□□年□□月□□日		
お客様	ご住所 □□□-□□□□ TEL（　　）　－	販売店	住所・店名・TEL
	お名前 様		

上記保証書は、必ず「お買上日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買上げの日から１年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、下記をよくお読みください。

＜無償修理規定＞

1．上記記載の保証期間内において、取扱説明書、本体注意ラベルなどに従った、正常な使用状態で万一故障した場合、お買上げの販売店に修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。お買上げの販売店が無償修理を致します。

2．保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。
(1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
(2) お買い上げ後の輸送、移転、落下などによる故障および損傷。
(3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
(4) 離島および離島に準ずる遠隔地への出張旅費および壁面・高所・難所に設置されている場合のセットの取り外し・取り付けを行った場合はそれに要する実費。
(5) 自然消耗により部品を交換する場合。
(6) 本製品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障。
(7) 保証書のご提示がない場合。
(8) 保証書にお買上日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または、字句が書き換えられた場合。

3．この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

＊ 本製品の故障に起因する付随的損害についての保証はお受けできません。

＊ この保証書は本書に明記した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合、お買上げの販売店または最寄りの当社営業所・サービスステーションにお問い合わせください。

TOA

TOA インフォメーションセンター
商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
受付時間　9：00 ～ 17：00（日曜・祝日除く）

フリーダイヤル（無料電話）
TEL. 0120 - 108 -117
〒665-0043 宝塚市高松町２番１号
TEL.（0797）72-7567
FAX.（0797）72-1090

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

133-12-798-6C